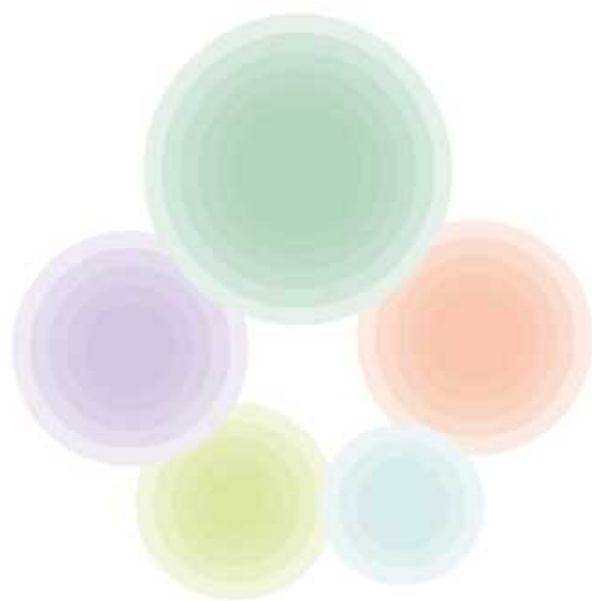


公益財団法人しまね自然と環境財団

— 令和 6 年度 —  
事業報告書



島根県立三瓶自然館サヒメル  
三瓶小豆原理没林公園  
北の原キャンプ場  
しまねエコライフサポートセンター



# はじめに

三瓶自然館は、島根県の指定管理者制度に基づき、令和4年12月に令和5年度から8年間の指定管理者の選定があり、引き続きしまね自然と環境財団が管理運営に当たっております。

令和6年度は新型コロナウイルス感染症の影響もおさまり、県内外の人の動きも活発になったことから、様々な事業についてほぼ制限無く実施することができました。

春には鳥のくちばしをテーマとした企画展を開催し、食べ物や巣作りなどにより様々な種類がある鳥のくちばしについて多数の剥製を展示しながらわかりやすく紹介しました。夏期の企画展では身近な昆虫であるハチをテーマとし、怖いイメージのあるハチが植物の受粉など自然界で大切な役割を果たしていること、その興味深い生態などについて大型の模型や多数の標本及び写真を交えて紹介しました。

このように、財団が運営する三瓶自然館を中心とする施設では、国立公園三瓶山の自然に親しむ場として提供するとともに、展示や普及啓発、資料収集、調査研究などを進めてまいりました。

7～9月は猛暑が続いた影響等により昨年度に比べて来館者数が減ったものの、企画展や野外観察、ドーム映像、天体観察会などを通じて当館に足を運ばれた県内外の小中学生を中心とする皆さんには、博物館を楽しみながら自然科学に親しんでいただけたものと思っています。

また、埋没林公園は大田市内の日本遺産の中核施設に位置づけられ、杉巨木の保存のための表面処理が県により引き続き行われており、加えて地下水位の安定化に向けた検討や展示棟外の埋没木の保存対策についても検討がなされているところです。そのような中、自然や歴史などをテーマとする講座型の「月イチガク」を定期開催しました。

北の原キャンプ場については、「豊かな自然環境を生かし、自然に親しむ場」となるよう管理運営に心がけました。一時期のアウトドアブームが落ち着き、猛暑に加えて7月の週末に悪天候の日が多かったことから、例年に比べて利用者数が減少しました。7月には大田市から令和7年度から5年間のキャンプ場指定管理者の公募があり、引き続き三瓶自然館等との一体的な利活用を図るため、次期の指定管理者に応募し、2月に大田市から次期の5年間の指定管理者に選定されました。

松江事務所(エコサポしまね)では、エコライフの情報の発信や環境保全団体への助成を通じて、地域の環境保全活動が活発となるよう支援を行っているところです。加えて、温室効果ガスをゼロにする脱炭素社会の実現を目指して、次世代育成や、より強力で脱炭素を進めるため電気自動車の普及、省エネで快適な家づくりの啓発に取り組みました。

これからも引き続き、創意工夫しながら運営に取り組み、皆さんから期待され応援いただける施設・団体となるよう職員一同努めて参ります。

令和7年4月

公益財団法人しまね自然と環境財団

理事長 松 浦 芳 彦

# 目 次

I. 運営方針、管理運営の体制	1
1 財団の目的	1
2 財団の事業	1
3 財団の管理する施設の概要	1
4 運営方針	3
5 管理運営の体制	3
II. 各業務の実施状況	6
1 三瓶自然館	6
2 三瓶小豆原埋没林公園	30
3 施設利用許可業務	33
4 施設の維持管理に関する業務	40
5 物品の管理等	45
III. 地球環境の保全に関する活動支援事業(環境保全活動事業)	46
IV. 北の原キャンプ場管理運営事業	66
V. 利便提供事業	69
VI. その他	70
1 数値目標を掲げた運営	70
2 利用者の推移	74
3 資料	75
4 職員の研修等への参加	82
5 評議員会・理事会等	83
6 沿革	85

# I. 運営方針、管理運営の体制

## 1. 財団の目的

公益財団法人しまね自然と環境財団は、島根県内の自然系博物館施設及び自然公園施設等の管理運営を通じ、自然公園の保護と利用の増進に資するとともに、地球環境保全、自然環境の保護及びその他の環境の保全に関する普及啓発事業等を行い、広く県民に対して環境保全の重要性を訴え、もって島根県の環境の保全及び地域の振興に寄与することを目的とする。

## 2. 財団の事業

- (1) 自然系博物館施設及び展示施設の管理運営事業
- (2) 自然保護及び自然環境に関する調査研究、並びに普及啓発事業
- (3) 環境教育及び環境学習に関する事業
- (4) 地球環境の保全に関する活動支援事業
- (5) 自然資源の利用促進等を通じた地域振興事業
- (6) その他、この法人の公益目的を達成するために必要な事業

## 3. 財団の管理する施設の概要

### (1) 島根県立三瓶自然館サヒメル

島根や三瓶の自然、三瓶小豆原理没林、環日本海地域の自然に関する展示、プラネタリウムや大型ドーム映像を映し出すビジュアルドーム、天体観察施設、博物館資料の収蔵庫、研究室などを備えた自然系博物館であり、三瓶山全体をひとつの野外博物館と考える三瓶フィールドミュージアムの中核としてビジターセンター機能も兼ね備えた施設である。

所在地	島根県大田市三瓶町多根1121番地8	
開設年月日	平成3年10月19日(平成14年4月18日拡充開館)	
面積	敷地面積	14,822㎡
	建築面積総計	4,574㎡(令和元年度整備後)
	建物延べ床面積総計	8,678㎡( // )
施設内容	本館	常設展示(ふしぎの森であそぼう、三瓶山と大地ほか)、ビジュアルドーム、受付、売店、事務室など
	別館	レクチャールーム、企画展示室
	新館	常設展示(三瓶埋没林、環日本海の自然、島根の自然と三瓶の自然、フィールド情報コーナー)、天体観察施設、収蔵庫、研究室、文献図書館など
附属施設	三瓶山ヘルシートレイリングコース(北の原～東の原 片道4.5km) 北の原芝生多目的広場	

## (2) 三瓶小豆原埋没林公園

三瓶小豆原埋没林公園は、三瓶山の噴火で埋もれた縄文時代の森林を現地で展示、公開する施設である。

施設は、大小二つの地下展示棟と芝生園地からなる。展示棟では、原位置のままで立ち並ぶ埋没樹を展示している。芝生園地は、発掘調査で確認された埋没林を埋め戻し保存している範囲である。当施設の敷地範囲が天然記念物(国)に指定されており、埋没林の保存管理も施設の役割である。

所在地	島根県大田市三瓶町多根口58番地2	
開設年月日	平成15年5月2日	
面積	敷地面積	約10,000㎡
	延面積	
	・管理棟	142.56㎡
	・ガイダンス棟	120.00㎡
	・大展示棟	1,142.59㎡
・小展示棟	97.09㎡	
(延面積合計)	1,382.24㎡	
施設内容	管理棟	事務室、機械室
	ガイダンス棟	ガイダンス室、受付、物販コーナー
	大展示棟	展示室、機械室
	小展示棟	展示室

## (3) 北の原キャンプ場

北の原キャンプ場は、国立公園三瓶山の恵まれた環境に立地する大田市営のキャンプ場で、広い敷地に一般サイト、オートサイト、ケビン、ドッグバンガローとドッグラン、団体向けの集団サイト、キャンプファイヤー場を備えている。

キャンプそのものを楽しむだけでなく、三瓶山登山などの拠点、学校や企業の研修や親睦活動にも利用されている。

所在地	島根県大田市三瓶町多根1121番地1	
開設年	昭和44年(平成21年まで島根県の施設)	
面積	敷地面積	180,891㎡
	施設内容	
	セントラルロッジ	受付、事務室、多目的ホール、売店など
	オートキャンプサイト	73区画
	一般キャンプサイト	フリーサイト(テント200張可)
	ケビン	大型ケビン3棟 小型ケビン10棟
	バンガロー	5棟
	ドッグラン	2区画、休憩所1棟
	その他(シャワー棟、キャンプファイヤー場、炊事棟、トイレ棟 など)	

## 4. 運営方針

当財団は、島根県立三瓶自然館及びその附属施設(三瓶小豆原埋没林公園)、大田市の施設である北の原キャンプ場の指定管理者として、それぞれ島根県並びに大田市から指定されている。

これらの施設の運営にあたっては、次の6つの基本方針を共有しながら、各施設の特色を發揮させるとともに、法人として「自然に関するシンクタンク」的役割を担い、もって社会に貢献していくことを目指している。

- ・自然とのふれあいの機会を充実させ、持続可能な社会へ向けた人材育成につなげる。
- ・調査研究・資料収集といった、博物館としての役割も着実に進める。
- ・期待以上の接遇で対応し、知的好奇心を満たすことで、満足度の向上を図る。
- ・多くの人々や機関との関わりを大切にする。
- ・感染症対策の実施などにより来館者が安心安全に楽しめる館を目指す。
- ・安定した経営のために、訴求力の高い取り組みなどにより入館者数の確保に努める。

また、松江事務所(しまねエコライフサポートセンター)を中心に展開する環境保全活動では、県民一人ひとりの自発的な環境配慮行動を促すため、行政機関や地域で活動する様々な主体との協働・連携により、地球環境問題に関する普及啓発を行っており、事業実施に当たっては効率的で効果的な事業展開に努めている。

## 5. 管理運営の体制

□評議員・役員名簿(評議員7名、役員7名、計14名)

### <評議員>

評議員	大國晴雄
	國井秀伸
	高瀬寿子
	高橋泰子
	龍善暢
	角森裕子 (R6. 6. 20～)
	成相優 (～R6. 6. 20)
	宮永龍一

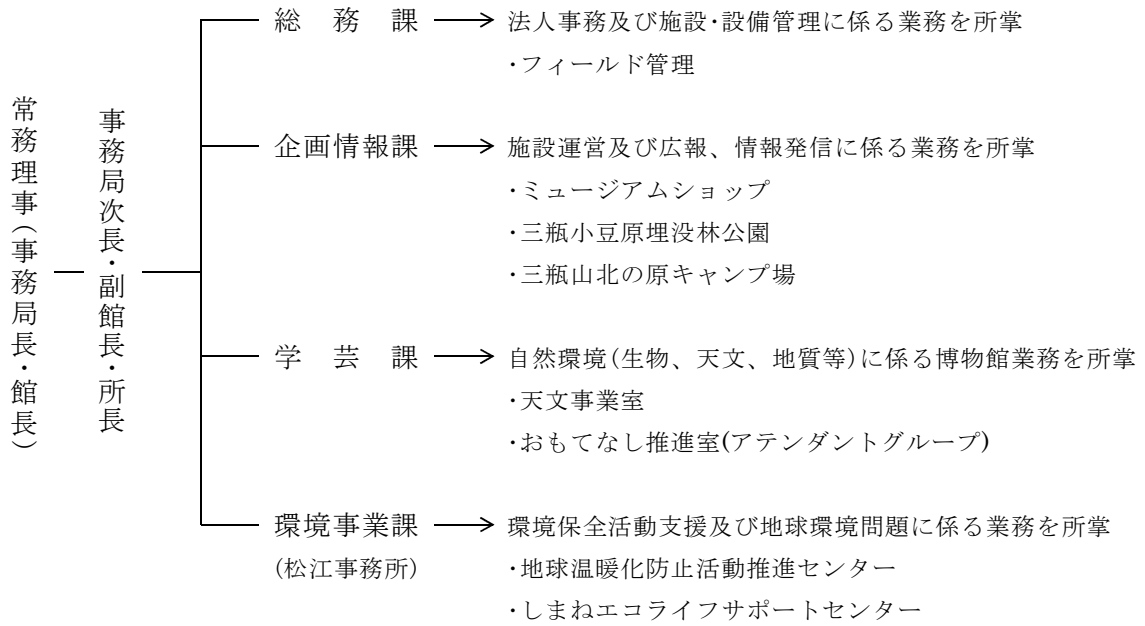
### <役員>

理事長	松浦芳彦
常務理事	酒井浩純 (～R6. 6. 20)
〃	多根純 (R6. 6. 20～)
理事	大屋剛
	神在英寛
	榎恒雄
監事	松村浩
	安井尚之

□三瓶自然館運営委員名簿(9名 自然館の運営について有識者の意見等を徴取する委員会)

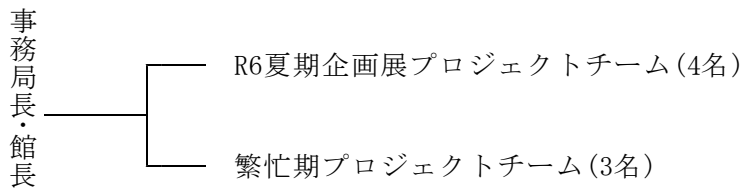
委員長	島田一嗣	委員	竹下和宏
委員	尾原敏則		武田祐子
	勝部浩文 (R6. 5. 23～)		土井善浩
	駒川一彦		原耕資 (～R6. 5. 23)
	澤野崇 (R6. 5. 23～)		松本一郎
	曾田元気 (～R6. 5. 23)		

□事務局



□プロジェクトチーム(令和6年7月1日現在)

重点課題や特定の業務を処理するため、課の枠を超えた職員構成によるプロジェクトチームを設置し対応にあたった。



□職員名簿(令和6年7月1日現在) 55名(役員1名、職員38名、臨時職員16名)

<b>【財団本部】50名</b>		<b>(北の原キャンプ場)</b>		<b>【松江事務所】6名</b>	
事務局長・館長	多根 純	チーフ	岡田 桂	所長・センター長	松本 洋子
事務局次長	石田 浩二	スタッフ	藤原 昌己	<b>&lt;環境事業課&gt;5名</b>	
副館長	井上 雅仁	〃	石田 弓子	課長・副センター長	葎矢 崇司
		〃	山下 貴行	企画幹	野崎 研
<b>&lt;総務課&gt;10名</b>		〃	桐原 信夫	企画員	川本 愛祈
課長	米浦 道子	〃	松浦 恒夫	スタッフ	伊藤 玲子
主事	田原いづみ			〃	門脇 恵美
〃	山本健太郎	<b>&lt;学芸課&gt;20名</b>			
〃	古川 健斗	課長(取扱・植物)	井上 雅仁		
<b>(フィールド管理)</b>		課長代理(鳥類)	星野由美子		
チーフ	高木 保	企画幹(昆虫)	皆木 宏明		
スタッフ	三輪 洋二	主任研究員(哺乳類)	安藤 誠也		
〃	大上 雅史	研究員(地学)	今井 悟		
〃	古谷 利雄	スタッフ(植物)	松村 美雪		
〃	財間 昭典	スタッフ(昆虫)	三島 秀夫		
〃	中山 康博	スタッフ(植物等)	松原 勝志		
		<b>(天文事業室)</b>			
<b>&lt;企画情報課&gt;17名</b>		室長(天文)	竹内 幹蔵		
課長	中村 唯史	主任研究員(天文)	太田 哲朗		
企画員	竹下 瑠美	主任研究員(天文)	矢田 猛士		
〃	石橋 良美	<b>(おもてなし推進室)</b>			
〃	石田 操太	室長	大草 秀美		
〃	佐藤 隆人	チーフ・アテンダント	山本めぐ美		
スタッフ	熊谷 正浩	サブチーフ・アテンダント	小田 佐由香		
<b>(小豆原埋没林公園)</b>		アテンダント	大谷 朗子		
チーフ	大野 志津香	〃	和田 ひみこ		
スタッフ	中山 侑也	〃	西本 芽生		
〃	山下 沙利奈	〃	田中 快		
〃	福田 哲夫	〃	前崎 名摘		
〃	加藤 儀和	スタッフ	細田 須美子		

※「センター」とは、「島根県地球温暖化防止活動推進センター」をいう。

※網掛けは臨時職員として雇用する者。

## Ⅱ. 各業務の実施状況

### 1. 三瓶自然館

企画展は当初の計画どおり、年3回開催した。春期は鳥のくちばし、夏期には身近な生きものであるハチ、冬期は自然写真をテーマとして開催し、県民に向けて自然への興味関心を深める機会を提供した。企画展以外にも、様々なイベントを開催するとともに、調査研究や資料収集の継続、講師派遣などによる学校教育や生涯学習に貢献した。

#### (1) 常設展示

県立の自然系博物館であること、三瓶山地区のビジターセンターであることをふまえ、島根県及び三瓶山の自然、三瓶小豆原埋没林、島根県を中心とした環日本海地域の自然、天文分野の展示パネル、剥製やレプリカ、映像などの展示を行っている。

また、新しい展示として、収蔵庫に保存されている貴重な標本を紹介するコーナーを設置し、博物館としての活動にも興味を深めてもらう工夫をした。

#### □館内案内・テーマ解説

館内案内はアテンダントにより随時実施しているほか、研究員によるテーマ解説(館内展示や特定分野に関する専門的解説)を、予約を受けて実施した。(実施状況は「VI. その他 3. 資料(p. 75)」参照)

実施数：10件 167人(テーマ解説)

#### (2) 企画展・特別企画展等の企画・立案・運営

##### ① 春期企画展

##### 「なぜこうなった!? 鳥のくちばし展」

鳥類の特徴的な器官である「くちばし」に焦点をあて、様々な役割(食べる・捕らえる・運ぶ・作る・掘る等)のなかでも、形と食性や採食方法の關係に注目して展示を行った。解説パネルにはオリジナルのイラスト、たくさんの剥製、動画、各種ハンズオン展示などの参加型アイテムなど、多くの資料類で、鳥の魅力をわかりやすく、楽しく伝えた。

期 間：3月16日(土)～5月26日(日) \*会期：63日間(休館日を除く)

入場者：19,036人(総入館者数、天体観察会除く)

#### ◆ 展示構成

##### □ 導入(本館1階ホール・回廊)

企画展のアイキャッチとして、本館1階ホールにはヒゲワシの剥製を展示した。導入となるギャラリーには、三瓶自然館インタープリターおよび学芸課職員による、鳥を含む様々な「くちばし」の写真を展示した。回廊には、拡大したくちばしの写真から種類を当てるくちばしクイズや、「くちばしが黄色い」などのくちばしを含む慣用句などの解説パネルを掲示するなど楽しく知識や文化を学ぶ展示を行った。

##### □ メイン展示(別館2階 企画展示室)

くちばしの形状と食性や採食方法の特徴に注目し、13のコーナーに分けて展示した。食性は肉食、草食、雑食に大別されるが、これをさらに細分化し、「口を開けて飛ぶ」、「木

に穴を開ける」などの採食方法に注目し、コーナーごとに標本と動画、解説パネルを展示した。また、食べる以外のくちばしの役割として巣作りを紹介し、特徴的な鳥の巣も展示した。

主な展示：オジロワシ(アイキャッチ)、ハシブトガラス(骨格標本)ほか  
標本(剥製、骨格、巣)約90点(標本は、すべて当館収蔵品で構成)、動画24点、  
展示総種数88種

#### □その他の展示

- ・見て、さわって、考えるハンズオンや参加型展示を行った。展示室内の「くちばし」を探すビンゴや、ふわふわ飛ぶ紙製のチョウをキャッチするヨタカのフライングキャッチ、好きな食べものを探してリール状のひもをつなぐものが好評であった。新館4階には関連工作コーナーも設置した。
- ・さまざまな視点で来館者に興味をもってもらえるように、「鳥の鼻はくちばしにある」、「新幹線500系の開発とカワセミのくちばし」などのトピックス的な情報や、近隣で鳥を観察できる施設をパネルで紹介した。

## ②夏期企画展

### 「THE 蜂」

日本に6,500種以上いるとされるハチの仲間のうち、毒針をもつ危険な種類はごく一部で、ほとんどのハチはおとなしく、他の昆虫に寄生する習性をもつものや、クモやバッタを狩るもの、美しい金属光沢を身にまとう種類など多様な生態、姿をした種類がいる。さらに、ハチは植物の受粉を助け生態系にとって重要な役割を担うほか、花蜜を集め、農業害虫の天敵となるなど人との関わりの深いハチもいる。知られざる多様なハチの種類や生態を紹介し、怖いだけではないハチの世界に触れる企画展を開催した。

期 間：7月13日(土)～9月29日(日) \*会期：74日間(休館日を除く)

入場者：33,861人(総入館者数、天体観察会除く)

## ◆展示構成

### □導入(本館1階ホール)

企画展の導入部として、ニホンミツバチの200倍拡大模型を展示した。

### □メイン展示(別館2階 企画展示室)

昆虫の中でも種類の多いグループの1つであるハチについて、進化の順序に合わせてさまざまなハチの種類や多様な生態、毒針の持つ理由を国内外の標本や模型、動画で紹介し、害虫だけではなく送粉や天敵など人にとって有益な昆虫でもあるハチの世界を紹介した。

主な展示：拡大模型3点(オオスズメバチ、オオセイボウ、ニッポンハナダカバチ)、  
標本(国内外のハチ類及び関連した昆虫と巣)約700点、動画9点、展示総種数  
約220種

### □その他の展示

さまざまな視点で来館者がハチに関心を持ってもらえるよう、回廊等でハチに関連した展示を行った。

主な展示：海野和男氏のハチ生態写真展示(回廊ギャラリー)、参加型展示(「蜂のキャラクターといえど?」「ハチの思い出」)、ハチのことわざ・方言・英語、ハチに刺された場合の対処法とシュミット指数の解説パネル、工作コーナー(新館4階)、記念撮影コーナー(本館1階、新館4階)

#### ◆関連イベント

##### □透明フィルムで昆虫標本づくり

実施日：第1回 7月27日(土)

第2回 8月3日(土)

参加者：第1回 21名 第2回 23名

内 容：昆虫の見本画像を透明フィルムに転写して色を塗り、切り取って標本箱風に作成した親子向けイベント。昆虫の体の特徴をじっくり観察して作成した。

##### □ハチの話とハチの巣の観察

実施日：8月24日(土)

参加者：25人

内 容：ハチは多くの種類と多様な生態をもつグループであることを紹介し、スズメバチやアシナガバチ、ドロバチなどのハチの巣の標本も観察しながら、ハチの生態を学ぶ、親子向けのイベント。

##### □昆虫工作まつり

実施日：9月1日(日)

参加者：99人

内 容：ハチのほか昆虫をテーマにした親子向けの様々な工作ができるイベントを実施した。

##### □スズメバチが人を襲うわけ

実施日：9月23日(月・祝)

参加者：49人

内 容：正しいハチの知識を身につけハチに襲われないために、ハチが人を襲う理由をハチの生活史と生態などを踏まえて紹介する講演形式のイベントを実施した。

#### ③冬期企画展

##### 「第45回SSP展 自然を楽しむ科学の眼」

日本自然科学写真協会(SSP)の巡回展を招致し、動物・鳥類・昆虫・植物などの生物写真、山岳・天体などの自然写真を含む計103作品の展示と動画作品14点の上映を行った。会場は本館と新館をつなぐ回廊部分及び企画展示室とし、分野ごとにエリアを分けて展示した。生物たちが見せる一瞬の姿を捉えたもの、国内外の地質的に珍しい風景を撮影したものなど、地球環境の素晴らしさを広く来館者に伝える企画展となった。

期 間：12月21日(土)～1月26日(日) \*会期：27日間(休館日を除く)

入場者：3,314人(総入館者数、天体観察会除く)

#### ④その他の展示

##### □研究員の調査研究を紹介する展示「学芸員のとっておき」

研究員とその調査研究や活動を紹介する別館-新館間の回廊に設置した。1月～6月を前期、7月～12月を後期とし、各2名ずつが研究内容に関するパネルと関連標本や調査道具を展示した。

令和6年前期：井上雅仁「三瓶山の草原が好きで研究や活動をしています」

竹内幹蔵「国旗の中の天体」

令和6年後期：星野由美子「なぜこうなった!? 鳥のくちばし展 ちょっと小話」

太田哲朗「プラネタリウムライブ投影の紹介」  
令和7年前期:皆木宏明「昆虫担当学芸員のお仕事紹介」  
矢田猛士「私たちの身の回りに存在する自然放射線・温泉水を使った霧箱実験」

#### □館蔵標本を紹介する展示「学芸員のとおき～お宝標本のご紹介」

収蔵標本の紹介と博物館における収集保存活動の普及を目的に、収蔵標本を紹介するミニ展示コーナーを本館ホールに設置した。展示期間は2ヶ月として、さまざまな分野の標本を入れ替えていく予定である。

12月～1月 しまねのコウモリたち

2月～3月 島根ゆかりの化石たち

#### □中国四国の国立公園展～アクティブレンジャーが伝える自然と活動

期 間：4月27日(土)～5月22日(水)

入場者：11,741人(期間中入館者数)

場 所：本館1階ギャラリー

内 容：環境省中国四国地方環境事務所が主催し、中国・四国地方の国立公園で活動する環境省のアクティブレンジャーが撮影した自然景観や自然保護活動風景の写真約30点を展示した。

#### □期間展示「わいるどらいふっ!～4コマで知る、身近な野生生物～」

期 間：10月26日(土)～12月8日(日)

入場者：9,094人(期間中入館者数)

場 所：企画展示室

内 容：身近にいるけれど意外と知らない生きものたちのエピソードを、4コマで紹介している書籍「わいるどらいふっ!身近な生きもの観察図鑑」に掲載されている4コマ作品およびコラムのパネルを製作し、当館の標本・剥製等と合わせて展示した。

### (3) ビジュアルドーム

#### ① プラネタリウムの投影

星座案内(プラネタリウム生解説投影)とプログラム番組(テーマ番組)を投影した。オリジナル番組として「台風 天体が生み出す大気の渦」を制作した。

##### ◆星座案内

期 間：通年

観覧者：13,444人

内 容：その日見られる天体や星座などを紹介し、話題となっている天文現象の話などを織り交ぜて、解説員による親しみやすい生解説投影を行った。1回の投影時間は約30分である。

##### ◆テーマ番組

□スタートレイン～宙は十重にも二十重にも～

期 間：通年

観覧者：6,336人

内 容：十重(とえ)にも二十重(はたえ)にも重なるように広がる宇宙。星空に隠れている3つの世界を結ぶ列車に乗って、果てしない宇宙の広がり確かめに出かける番組。(令和5年度制作)

□宇宙をかける地球にのって

期 間：5月1日(水)～5月31日(金)

観覧者：125人

内 容：見える星座が季節ごとに巡っていくようすを、宇宙からと地上からの2つの視点でながめ、地球の公転について考える番組。地元の中学校の理科教員からアドバイスを受けて制作した中学生向け学習番組。(平成23年度制作)

□オーロラ～夜空を彩る光のダンス

期 間：10月5日(土)～10月31日(木)

観覧者：204人

内 容：北極圏、南極圏の夜空にゆらめく神秘の光、オーロラ。フェアバンクス、イエローナイフ、トロムソ、昭和基地などで撮影された美しいオーロラの映像とともにオーロラの科学を紹介する番組。

□島根の星景色～撮ろう!地上と夜空のアート

期 間：12月1日(日)～1月31日(金)

観覧者：92人

内 容：星空と地上の風景を一緒に収めた「星景写真」の撮り方と島根各地の星の風景を紹介するドラマ仕立ての番組。(平成26年度制作)

□一番星の女神～金星の謎に迫る～

期 間：3月8日(土)～3月31日(月)

観覧者：137人

内 容：地球と同じような大きさを持ちながらその環境が大きく異なる金星の謎を最新研究結果をもとに紹介する番組。(平成26年度制作)

□台風 天体が生み出す大気の渦

期 間：3月8日(土)～3月31日(月)

観覧者：652人

内 容：台風の仕組みや私たちの生活との関わり、そして木星や土星、火星で観測される大気の渦について紹介する番組。地元の小学校の教員からアドバイスを受けて制作した学習番組。(令和6年度制作)

□スペースアドベンチャー～ユウトの銀河系探検～

期 間：毎月第3日曜日(きつずサンデーにあわせて上映)

観覧者：85人

内 容：天体観察会に参加した「ユウト少年」が、不思議なお兄さんとともに太陽系や銀河系のいろいろな天体を探検し、宇宙の中の地球や生命について思いを巡らせる番組。字幕メガネ対応作品。(平成21年度制作)

□その他、予約によるライブラリ作品の上映

期 間：随時

観覧者：227人

◆その他

□きつずプラネタリウム

実施日：毎月第3日曜日

観覧者：401人

内 容：小さな子どもがプラネタリウムという非日常的な空間を怖がるため、楽しい空間作りを心がけた投影にした。親子で楽しめる演出で、成長に合わせ宇宙への関心を深めるきっかけになることを目指した。

#### □字幕付きプラネタリウム「月を見上げて」

実施日：9月15日(日)～9月21日(土)、12月7日(土)～12月9日(月)

観覧者：91人

内 容：老人週間および障害者週間にあわせて、聞こえに不安がある人や、聴覚障がいを持つ人を主な対象に、プラネタリウム番組に字幕を付けて解説する番組を投影した。馴染みの深い天体である月をテーマに、星空への親しみを深めてもらう内容とした。

#### ◆プラネタリウム学習投影

実施数：21回

観覧者：617人

学習指導要領に沿った内容として「小学4年生向け投影」、「小学6年生向け投影」、及び保育園や幼稚園等の未就学児を対象に星空に親しむきっかけ作りを目的とした「幼児向け投影」を、学校団体の希望にあわせて投影した。

小学4年生向け投影	9回	(263人)
小学6年生向け投影	2回	(34人)
幼児向け投影	9回	(312人)
その他	1回	(7人)

#### ②大型ドーム映像の上映

デジタル式全天周映像システムにより、オリジナル番組及び特別番組の上映を行った。

#### ◆特別番組

##### □「アニマルキングダム」

期 間：7月13日(土)～9月25日(日)

観覧者：9,105人

内 容：大海原を渡るクジラ、灼熱の大地を進むゾウ、極寒の南極で暮らすペンギンなど、様々な環境で暮らす生き物たちの行動を分かりやすく楽しく解説するとともに、生き物を保護するために人間ができることは何かを紹介する番組。夏期企画展の関連番組として上映した。

#### ◆オリジナル番組

##### □「さんべ自然紀行」

期 間：通年

観覧者：1,003人

内 容：季節の移ろいとともには様々な表情をみせる三瓶山の自然のようすを、俳優・柳生博氏のナレーションで紹介する番組。字幕メガネ対応作品。

##### □「島根 人と自然の原風景」

期 間：4月1日(月)～4月29日(月)、2月1日(土)～3月2日(日)

観覧者：88人

内 容：人が関わりながら育んだ里山の自然が各所に残る島根県。日本の原風景ともいべき島根の情景を、俳優・柳生博氏のナレーションで紹介する番組。

□「煌めきのなかで 水と光の島根路」

期 間：6月1日(土)～7月12日(金)

観覧者：136人

内 容：“水のきらめき”をキーワードに、 隠岐、出雲、石見の県内各地の秋から冬の風景を、隠岐出身の女優・田中美佐子氏の語りで紹介する番組。

□「三瓶冬紀行」

期 間：11月1日(金)～11月30日(土)

観覧者：114人

内 容：視界をさえぎる猛烈な吹雪、霧氷に覆われた林など、雪に包まれた三瓶山の厳しい表情を、冬山をひとり歩く写真家の眼差しを通してとらえた番組。

#### (4) 各種イベントの企画・立案・実施

□ゴールデンウィーク天体観察会

実施日：5月3日(金)、5日(日)

参加者：183人

内 容：ゴールデンウィーク期間中の天体観察会を開催した。3日は晴れて望遠鏡による春の天体の観察、5日は曇りのため代わりにプラネタリウムを投影した。

□バードウォッチング講座

実施日：5月12日(日)

参加者：22人

内 容：荒天のため野外でのさえずりを聴くことはできなかったが、当館の特徴を活かした剥製による鳥類の観察と鳴き声ペン等のツールを活用して基本的な10種の声と姿を観察できるように工夫した。また、鳥類を扱った企画展「鳥のくちばし展」の期間中であったため、解説付きで見学した。

□夏の夜の昆虫観察

実施日：7月20日(土)

参加者：34人

内 容：夜の三瓶の森で活動する昆虫を観察するイベント。参加者と懐中電灯を持って森に入り、アブラゼミやヒグラシの羽化やクワガタムシ類、コガネムシ類など夏の夜に活動している昆虫たちを見つけてその生態を観察したり、ライトトラップに集まった昆虫を観察した。

□ペルセウス座流星群観察会

実施日：8月12日(月)

参加者：116人

内 容：ペルセウス座流星群の極大にあわせて観察会を開催した。集団天体観察会で寝転がりながら出現を待ち、流れ星が流れるとあちこちから歓声が上がった。

□秋の天体観察会

実施日：9月15日(日)、9月22日(日)、10月13日(日)

参加者：143人

内 容：秋の三連休に合わせた天体観察会を開催した。いずれの日も雲が広がり、いくつ

かの天体を観察できた時間もあったが、代替のプラネタリウム投影が中心となった。

#### □秋の七草観察会

実施日：9月15日(日)

参加者：6人

内 容：当館インタープリターの案内で三瓶山西の原の草原を散策し、秋の七草や季節の生きものの観察を行った。

#### □ススキの迷路

実施日：10月12日(土)～11月4日(月)

参加者：7,997人

内 容：北の原に広がるススキの草原を刈り込み、迷路を作成した。本年度は初級、中級、上級の3コースを作成した。

#### □夜のコウモリ観察会

実施日：10月19日(土)

参加者：5人

内 容：コウモリの生態についてのスライドや剥製、骨格標本などを見た後、参加者らは日没後の野外に出てコウモリを探した。バットディテクター(超音波探知機)を使って、飛行中のコウモリが発する音波を探索した。

#### □サヒメルで見るハワイの星空とすばる望遠鏡

実施日：10月19日(土)

参加者：69人

内 容：日本プラネタリウム協議会(JPA)のプラネタリウム100周年記念事業実行委員会と国立天文台ハワイ観測所の共同主催企画。すばる望遠鏡のあるマウナケア山の星空ライブカメラ映像配信と、ハワイ観測所長によるオンライン講演会「すばる望遠鏡のこれから」が行われた。

#### □さんべの森たんけんたい～秋の森であそぼう～

実施日：10月6日(日)

参加者：親子6組24名

内 容：北の原キャンプ場を会場に、親子で野外遊びを体験するイベント。どんぐりを拾ってコマを作り、どんぐりコマ回し大会を開催した。

#### □熟睡プラ寝たリウム

実施日：11月23日(土)～12月1日(日)

参加者：220人

内 容：普段は眠ってしまうことに少し後ろめたさを感じるプラネタリウムだが、逆に寝てもらおうという趣旨でプラネタリウムの投影を実施した。今年は惑星を中心に、今後見られる恒星食などについて紹介し、より星への理解を深められる内容とした。対象者は昨年同様中学生以上とした。

#### □お正月イベント

実施日：1月2日(木)、3日(金)

参加者：570人(有料入館者数)

内 容：今年度は、気軽に参加できる新しい試みとして新年の抱負を付箋に書いて貼ってもらう企画を実施した。また、干支の巳にまつわる関連展示や、お正月限定のプラネタリウム生解説、新春ビンゴ大会を行った。

#### □雪の三瓶でアニマルトラッキング

実施日：1月26日(日)

参加者：17人

内 容：動物たちの痕跡を探して、雪の積もった北の原周辺を散策した。キツネやタヌキ、テンにノウサギなど、様々な動物の足跡が観察できた。解説はインタープリターが担当した。

#### □さんべの森たんけんたい～冬の森であそぼう～

実施日：2月2日(日)

参加者：親子7組24名

内 容：北の原キャンプ場を会場に、親子で野外遊びを体験するイベント。火おこしから始まり、たき火でいつも食べている市販のおやつを焼いて食べてみたり、焼きいも作りにチャレンジした。十分な積雪があったため、ソリ滑りやかまくら作り等をして楽しんだ。

#### □星よりも、遠くへ

実施日：3月9日(日)

参加者：コンサート56人、プラネタリウム60人

内 容：東日本大震災を記憶に留めるためのイベント。震災の星空と被災者たちとのつながりを描いた、仙台市天文台制作のプラネタリウム番組「星よりも、遠くへ」の特別投影と、「まい&れいれい」によるバイオリンとピアノのコンサートを行った。

#### □サヒメル科学探険隊

実施日：5月26日(日)、6月23日(日)、9月8日(日)、10月20日(日)、11月10日(日)

参加者：21人

内 容：小学4～6年生を対象に自然科学に関する体験活動や観察を行った。年度当初に参加者を募集し、21名の申込みがあった。下記の全5回の活動を行い、自然科学への関心を高め理科好きな子供たちが交流し活動する場となるなど有意義な活動となった。なお、第4回の活動は島根大学と共催で実施し、島根大学の研究者を講師に迎え、大学演習林をフィールドに行った。

第1回 国立公園で自然観察／学芸員の仕事体験

第2回 コケの中の生き物とクマムシの採集と観察

第3回 さんべ縄文の森ミュージアム見学と水の生き物観察

第4回 大学の研究者と一緒に活動!大きな樹木はどのように育ってきたのか調べてみよう

第5回 生き物の数を調べるには?/1年間の活動発表

#### □親子で作ろう工作教室

実施日：7月7日(日) カタカタくんだり (13人)

8月4日(日) 竹のかご (19人)

8月25日(日) 木の実の工作 (20人)

9月16日(月) フワフワボール (6人)  
9月29日(日) 羽ばたく鳥のおもちゃ (19人)  
10月27日(日) ドングリコロコロ (2人) ( )内は参加人数。

内 容：自然や科学をテーマにした親子向けのワークで、企画と実施をインタープリターが担当した。

#### □きっずサンデー

実施日：毎月第3日曜日(しまね家庭の日)

参加者：5,849人

内 容：しまね家庭の日に合わせて、子どもたちの自然や環境についての興味関心を高めるため、子ども向けのイベントを全館で実施した。きっずプラネタリウムの投影、デジタル紙芝居、ワークショップ、テンピーとのふれあいなどを実施した。また、保護者同伴での小中高生の入館料を無料とした。

#### □みんなでさわろう♪わくわくワゴン

実施日：毎月第4日曜日

参加者：140人

内 容：三瓶自然館インタープリターが展示室で標本解説を行う活動で、普段さわることができない様々な標本に触れながら、生きものの特徴や生態を紹介するプログラムである。本年度は「テンピーと北の原の動物たち」、「三瓶で会えるかもしれない動物たち」、「チョウとガのちがい」、「この葉なんの木」、「原っぱで牛のウンチを食べる虫たち」、「この子だぁ〜れ(哺乳類の頭骨標本による比較検討)」などに新プログラム「葉っぱ工場のひみつ」を加えて活動した。

### (5) 自然学講座の開催

#### ① 自然科学に造詣の深い講師を招いた講演会

##### □ウクライナの星空の下で

実施日：6月22日(土)

参加者：85人

内 容：ウクライナ・ハルキウ・プラネタリウム解説員オレナ・ゼムリヤチェンコ氏によるウクライナ語のプラネタリウム投影。日本語訳の語りは職員が担当した。ウクライナでの星の見え方や星座の見方の解説、ウクライナの夏至の祭りであるイワナ・クパラと日本の七夕の紹介などが行われた。参加者は、科学、文化、平和といった様々な観点から関心を深めたようだった。

#### ② 学芸課スタッフによる講座型事業

##### □教員のための博物館の日

実施日：サヒメル会場：7月31日(水)

アクアス会場：8月1日(木)

参加者：サヒメル会場：28人(うちプレ期間11人)

アクアス会場：41人

内 容：三瓶自然館およびしまね海洋館を会場として、学校の先生に「博物館に親しみを持ってもらうこと」および「博物館の学習資源を知ってもらうこと」を目的としたワークショップを実施した。また、ポスター発表として、学校と三瓶自然館やしまね海洋館との連携事例の紹介を行った。なお、本事業

は第19回科学教育の普及・啓発助成事業の支援を受けて実施したものである。

## プログラム

ワークショップ		講師
1	ホネから学ぶ生物の進化と適応(会場：三瓶自然館)	三島有紀氏(しまね海洋館アクアス)、当財団職員
2	学校の望遠鏡を使ってみよう(会場：三瓶自然館)	当財団職員
3	企画展「THE蜂」解説(会場：三瓶自然館)	当財団職員
4	畳ヶ浦で化石観察(会場：しまね海洋館アクアス)	当財団職員
5	港でプランクトン採集(会場：しまね海洋館アクアス)	山口慶子氏、梶谷恵美氏(しまね海洋館アクアス)
6	顕微鏡でプランクトン観察(会場：しまね海洋館アクアス)	山口慶子氏、梶谷恵美氏(しまね海洋館アクアス)
7	アクアスのバックヤード見学(会場：しまね海洋館アクアス)	石川佳奈氏、三島有紀氏(しまね海洋館アクアス)
ポスター発表による事例紹介		発表者
ICTでもっとつながろう 水族館と特別支援学校		山口慶子氏(しまね海洋館アクアス)
サヒメルが提供する野鳥観察プログラム		当財団職員
地域の自然を題材にした地元小中学校との自然学習		当財団職員
サヒメルのプラネタリウム学習投影2024		当財団職員
天体学習における360度星空映像のVR体験の試行		当財団職員
地域の温泉水を活用した放射線学習		当財団職員

### □バードウォッチング講座

詳細はp. 12に掲載

### □夜のコウモリ観察会

詳細はp. 13に掲載

## (6)天体観察会の実施

20cmクーデ式屈折望遠鏡4基と60cm反射望遠鏡を活用し、個人向け・団体向け観察会のほか、ゴールデンウィークと夏休みの多客期に観察会を実施した。

合計参加者数：3,706人(天文ミニガイドは除く)

### ①個人向け天体観察会

実施日：毎週土曜日(1回45分)

開始時刻：(4-8月)20:00～、21:00～、(9-11月、3月)19:00～、20:00～、(12-2月)19:00～

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数	156	205	80	271	429	289	240	156	15	28	2	73	1,944

### ②団体向け天体観察会

学校団体・一般団体を対象にした天体観察会で、土曜日と休館日他を除く日に予約により実施

している。曇天・雨天時にはプラネタリウムの投影を行う。(実施状況は「VI. その他 3. 資料(p. 75～76)」参照)

実施数：31団体 1,320人

### ③特別天体観察会

ゴールデンウィーク天体観察会、ペルセウス座流星群観察会、秋の天体観察会

合計参加者数：442人 ※詳細はp. 12～13に掲載

### ④天文ミニガイド

土曜、日曜、祝日の日中に、太陽や昼にも見られる天体を対象とした観察会を実施している。雨天・曇天時には隕石などの展示物の解説を行う。

合計参加者数：1,172人

## (7)自然観察会の実施

### ①定期自然観察会「北の原お散歩ツアー」

実施日：毎週土曜日(4～11月)

内 容：三瓶北の原草原で見頃を迎えた季節の花や景色を楽しみながら行う自然観察会で、来館者が気軽に参加できるよう30分間で実施した。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
参加人数	6(3)	43(4)	15(3)	11(4)	40(4)	24(3)	17(3)	12(3)	168(27)

( )内は回数 ※悪天候時は中止

### ②予約自然観察会

事前の予約に応じて行う自然観察会、学校団体等を中心に好評を得ている。(実施状況は「VI. その他 3. 資料(p. 76～77)」参照)

実施数：46団体 1,167人

## (8)環境学習の推進

### 講師派遣

各種団体や学校、生涯学習施設などの要請に対して、各専門分野の職員が赴き、自然や環境についての講演や観察会を行うなど、環境教育や環境学習に協力した。(実施状況は「VI. その他 3. 資料(p. 77～79)」参照)

実施数：84件 2,801人

### スーパーサイエンスハイスクール・サイエンスセミナーなどへの協力

\* 島根県立大田高等学校 1年生 三瓶サイエンスセミナー

日 時：12月12日(木)

生徒数：22人

内 容：研修①…天体望遠鏡のしくみと太陽黒点の観察

研修②…身近にもある放射線の調査と観察

研修③…ヒトと動物の骨格の比較

### 教員のための博物館の日

詳細はp. 15～16に掲載

## (9) 博物館資料の収集・保管、活用

### ① 各分野の資料収集整理

#### ◆ 指定管理財源における資料収集整理

##### □ 地学標本(岩石標本の収集、分類)

出雲市佐田町、上塩冶町で調査を行い、多数の化石標本を採集した。また自然環境保全地域である三隅海岸地域において、岩石標本を採集した。

- ・化石標本：約50点(出雲市)
- ・岩石標本：20点(浜田市)

##### □ 天体画像(その他有用な資料の収集、分類及び整理)

天体、天文現象を画像・映像資料として記録した。

おもな撮影対象：月とポン・ブルックス彗星の接近、月とプレアデス星団の接近、太陽黒点、紫金山・アトラス彗星、再帰新星かんむり座Tの状況、変光星はくちょう座 $\chi$ 、日中の土星食、ペルセウス座流星群、オルバース彗星、水星と金星の接近、星座、星景 など

##### □ 動物標本(斃死鳥獣の収集と剥製作成)

動物標本として、鳥類5点、哺乳類1点を製作した。

- ・鳥類：ノスリ、ブッポウソウ、アトリ、ウソ、ミヤマホオジロ(すべて本剥製)
- ・哺乳類：ハクビシン本剥製

##### □ 昆虫標本(昆虫標本の収集、分類及び整理)

寄贈及び調査研究等により収集した昆虫類の標本化と同定整理作業を進め、未整理分の寄贈標本や主として県内で採取した標本を中心に計200点の標本データの入力を行った。また、主に企画展展示用としてハチ類を中心に関連する標本を作成し資料の充実に努めた。

- ・購入標本：ミヤマカラスアゲハとチョウトンボの立体標本 2種2点

##### □ 植物標本(植物標本の収集、分類及び整理)

丸山巖氏収集のさく葉標本の整理、アクリル封入標本の製作、各種調査にあわせた植物標本の収集を行った。データベース化された標本情報は、国立科学博物館のS-netでの公開、国際的なデータベースであるGBIFでの公開を予定している。また、島根大学と協力して、館所蔵のさく葉標本のスキャニングを行い、同大学内のホームページ上で画像を公開した。

- ・丸山巖氏収集さく葉標本のデータベース化と登録：1,800点
- ・レプリカ製作：エノキタケ、オサムシタケ、ツチカブリ 計3点

#### ◆ 受託による資料収集整理

##### □ 自然史系博物館所有の生物多様性情報に関わるデータ提供(国立科学博物館より受託)

当館で整理が進められている丸山巖氏収集植物標本のデータについて、所定の様式に変換し、1,800点のデータを提供した。提出したデータは、国立科学博物館が運営するS-netや、国際的なデータベースであるGBIFに掲載される。(井上雅仁)

### ② 自然科学関連図書の収集と保管

自然科学に関する図書や雑誌は、購入などにより収集に努めた。図書や雑誌の一部は常設の図書コーナーなどで来館者が閲覧できるようにしている。

購入図書：50冊

### ③資料の保守燻蒸

資料劣化の原因となる害虫の防除を目的として収蔵庫の燻蒸を行った。燻蒸は、専門業者によって燻蒸ガスを使用して年1回実施した。展示、収集した資料を収蔵庫へ納める前や、常設展示の資料については、大型常圧燻蒸庫を用いて適宜実施した。

#### □収蔵庫の全室密閉燻蒸

対 象：第一乾燥収蔵庫、第二乾燥収蔵庫、液浸標本室の庫内

期 間：6月2日(日)～6月5日(水)

#### □燻蒸設備を用いた燻蒸

対 象：鳥獣剥製、昆虫標本、植物さく葉標本など

期 間：適宜実施した

### ④企画展会場のデジタルアーカイブ

企画展会場の記録はこれまで写真撮影が中心であったが、標本配置などの詳細を記録するために、360度3Dカメラ(マーターポート)を用いて、企画展の様子を撮影した(外部委託)。令和6年度は、春期、夏期の2つの企画展で実施した。

### ⑤博物館資料の貸出・閲覧など

当館で所蔵する博物館資料については、他施設などからの要請に応じて、貸出や閲覧などを行っている。令和6年度は以下の要請に応じて貸出などを行った。

機関名等	種別	期間	資料名
兵庫県立考古博物館	貸出	4/17-6/30	ニホンアシカ剥製の画像
出雲市教育委員会(出雲科学館)	貸出	5/20-7/22	オーケン石、タンポポ拡大模型・樹脂標本
島根県立古代出雲歴史博物館	貸出	6/21-9/30	イノシシ・シカ剥製
岐阜県博物館	貸出	6/29-11/1	ブテラノドンレプリカ、シーラカンス模型他
島根県立しまね海洋館	貸出	7/3-10/10	セアカゴケグモ模型他
島根県竹島資料室	貸出	7/12-9/20	ニホンアシカ(幼獣)剥製
領土・主権展示館	貸出	7/23-9/1	ニホンアシカ剥製「リャンコ大王」画像
個人(日本野鳥の会島根県支部会員)	閲覧	10/31	伊達鳥類標本のモズ類
防府市青少年科学館	貸出	11/1-3/1	ブテラノドンレプリカ、シーラカンス模型他
NPO法人三段峡太田川流域研究会	閲覧	1/20	伊達鳥類標本のヤマセミ仮剥製
福井県立恐竜博物館	貸出	2/25-5/31	ブテラノドンレプリカ、シーラカンス模型他
出雲市教育委員会(出雲科学館)	貸出	3/6-4/18	タルボサウルス頭骨レプリカ
世界文化社	貸出	—	ニホンアシカ剥製「リャンコ大王」画像他

## (10)調査研究

### ①研究項目と成果概要

#### ◆県民や行政の課題となっている調査研究

##### □レッドデータブック掲載植物の現況調査

島根県版のレッドデータブックに掲載されている植物を対象として、既存情報の整理や現地での確認調査を行った。(井上雅仁)

#### □三瓶山半自然草原の管理と草原性希少植物保全に関する研究

希少植物のモニタリング調査、樹林化した草原跡地での伐採後のモニタリングなど、三瓶山の草原保全のための調査を行った。これらの結果は、保全活動の内容を検討するための資料として活用した。(井上雅仁)

#### □自然環境保全地域等(三隅海岸、赤名湿地、隠岐世界ジオパーク)の動植物調査

島根県自然環境保全地域である三隅海岸では、動植物および地質に関する調査を行った。同地域である赤名湿地性植物群落では、保全活動の効果を検証するモニタリング調査を行った。世界ジオパークの登録地である隠岐諸島では、北方系植物の生育環境調査を行った。(井上雅仁・今井 悟・三島秀夫)

#### □県内における希少鳥類等生息調査

旧ふれあいの里奥出雲公園における鳥類の生息状況のモニタリングを目的として、希少鳥類の繁殖状況や構成種の調査を行った。希少鳥類調査では、園内における希少種の生息状況の把握のほか、構成種の調査では、予め定めたルートを毎月踏査し鳥類の出現状況の変化を調査した。また、三瓶山におけるミヤマホオジロ、カラアカハラの繁殖確認、トモエガモの集団越冬調査などを実施した。(星野由美子)

#### □特定外来種ソウシチョウの移動特性調査

島根県内でも生息地が広がりつつあるソウシチョウの移動特性や生息地拡大に関する調査として、繁殖地・中継地・越冬地でのカラーリング装着調査を実施した。(星野由美子)

#### □島根県内における希少昆虫調査

ダイコクコガネの調査は、西の原放牧地と三瓶町上山の放牧地において実施したが、本種は確認できなかった。西の原ではオオセンチコガネなど他の糞虫類は確認できたが本種は発見できず、また上山の放牧地では放牧は短期間で牛舎内での飼育が主とされていたため、牧野内での牛糞が非常に乏しく、現在の状況では本種の生息する可能性は低いと考えられた。他の希少種では、ニッポンハナダカバチを益田川河口域で複数の成虫と営巣活動を確認、キバラハキリバチは浜田市久代海岸で訪花個体を確認した。(皆木宏明)

#### □県版RDB記載の哺乳類調査

島根県版レッドデータブックに記載の哺乳類について、県内での分布状況を把握する目的で調査を行った。ニホンリスについては、県央地域の複数地点での目撃情報があり、食痕の確認調査を行った。ミズラモグラについては過去に死骸が回収された例がある三瓶自然館周辺(三瓶山周回道路上の約1kmの区間)において、死体等がないか確認したが発見には至らなかった。(安藤誠也)

#### □テングコウモリの繁殖生態の解明調査

鳥獣捕獲許可を得て、石見銀山で94頭、久喜・大林銀山で2頭を捕獲し、外部形態の計測や翼帯の装着による個体識別と、メスの妊娠出産履歴の調査を行った。(安藤誠也)

#### ◆自然系博物館としての機能に資する研究

##### □太陽系外惑星を含む連星系及び変光星の観測

令和6年度は三瓶自然館の60cm反射望遠鏡と冷却CMOSカラーカメラにより、接触連星か

に座TX星(TX Cnc)の測光観測を実施した。また、兵庫県立大学の鳴沢真也氏との共同研究により、活動的アルゴル系食連星ケフェウス座U星(U Cep)について、Wilson-Devinney(WD)コードをベースに光度曲線解析を行った。また、当館の4連式クーデ望遠鏡の特徴を發揮できるユニークな観測として、連星系および変光星の光干渉計観測を候補として検討している。令和6年度は、干渉を光遅延線(光路長を変化させて遅延を補償する装置)について、検討を行った。(矢田猛士)

#### □島根県における地震・津波堆積物調査

高知県土佐清水市に分布する巨礫群について、付着生物群および風化構造が示す年代などから津波石であることを示した。その成果は日本地質学会第131年学術大会(山形大学)で発表した。なお本発表はハイライト講演(注目すべき講演)に選定された。また本研究で用いた風化構造による年代推定の検証として、高知県土佐清水市にある砂岩製の繫留遺構について製作年代を試算した。その結果は第8回文化地質研究会(豊岡市)で発表した。(今井 悟)

#### □島根県産生痕化石の古生態学的研究

島根県各地の中新統に見られるエイ類の摂食痕*Pischiichnus*の形成過程と多様性の解明を目的に、水族館で飼育されているイズヒメエイの索餌・摂食行動を観察し、その特徴を明らかにした。研究成果は日本古生物学会2024年年会(高知大学)で発表した。また島根半島の千酌地区では深海性の生痕化石群を、法田地区では淡水性の生痕化石群を発見し、現在調査を進めている。(今井 悟)

#### □三瓶山鳥類調査

三瓶山における鳥類相については、さまざまな調査を実施しているが、令和5・6年度には夜間の鳥類相を把握する目的で三瓶山北麓エリアにデジタル録音機を設置した。この録音データの確認作業を実施し、夜行性鳥類や夜間に渡りをすると考えられている種類の確認を行った。令和6年度に解析したデータには、10種類が記録されていた。(星野由美子)

#### □未確認コウモリの調査

県版RDB改訂などのために隣県で生息が確認されている種について調査を行った。県央地域の複数箇所において、超音波録音機を使った生息確認を実施した他、洞窟などを探索した。(安藤誠也)

### ◆環境教育・環境学習に資する研究

#### □池田鉱泉を含む天然の放射能を利用した放射線学習プログラムの開発

館内において学校団体向けに放射線学習を行ったほか、島根県高等学校文化連盟の自然科学部の研修において実習を行った。また、令和6年度には、新規に出雲養護学校の生徒を対象に放射線学習を実施した。池田鉱泉の現地では、大田高校サイエンスセミナーの高校1年生とサンプリングおよび環境放射線の測定を実施した。令和6年7月31日および8月1日に三瓶自然館およびしまね海洋館で開催した「教員のための博物館の日」において、参加教員向けに学習プログラムの紹介と演示を行った。

簡易ガンマ線測定装置を用いた走行サーベイは、令和6年度はJR山陰本線沿い(大田市から山口市まで)および大田市から北九州市までの中国自動車道沿いを中心に実施した。(矢

田猛士)

#### □プラネタリウムの魅力向上への取り組み

令和3年度に整備された番組に字幕をつけるスマートグラスなど、プラネタリウム全般の魅力向上につながる機器やコンテンツについての検討を行った。(太田哲朗)

#### □島根県の地質資源を活用した学習プログラムの作成

マグマの持つエネルギーや火山の迫力を体験する手法として各地で行われている七輪マグマ実験について、島根県の岩石を利用して実施できるかを検討した。また出雲市佐田町で発見した化石産地を調査し、化石発掘体験場としての利用可能性について検討した。いずれも次年度から当館のイベントとして来館者に提供しつつ、その環境学習的価値について検証していく予定である。(今井 悟)

#### □コウノトリの生息をテーマとした環境教育プログラムの開発

今年度は幼児向けのプログラムを作成してこども園での出前授業を実施した。また、学習教材などは雲南市及び出雲市内の小学校5校に貸出を行った。(星野由美子)

### ◆受託による調査研究

#### □石見銀山遺跡自然環境モニタリング業務(島根県教育委員会より受託)

石見銀山遺跡における世界遺産登録後の自然環境の変化を追跡するために、コアゾーンを中心に動植物のモニタリング調査を実施した。遺跡内では、既往調査で記録された希少動植物の大部分が確認された。大久保間歩では、例年と同じように4種のコウモリ類の冬眠が確認された。(三島秀夫・井上雅仁・安藤誠也)

#### □重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト1000、公益財団法人日本自然保護協会より受託)

環境省が平成15年から提唱しているプロジェクトで、全国に観察サイトを設けて動植物の生息状況を長期的にモニタリングする調査事業である。三瓶山北の原は人為的に維持管理している草地として里地コアサイトとされており、植物と鳥類の調査を実施している。(井上雅仁・星野由美子)

#### □しまねレッドデータブック改訂現地調査業務(島根県自然環境課より受託)

島根県版レッドデータブックの改訂を行うために、現地確認による情報収集が必要となる種について、改定委員、協力者などによる現地調査を実施した。哺乳類、蘚苔類、維管束植物、菌類、地衣類の分野を対象とした。(井上雅仁・安藤誠也)

### ②研究成果の公表(※印は館外の研究者)

#### □論文、報告書

竹内幹蔵(2024)春の星座. 島根県立三瓶自然館ニュースレター「さんべ発!」184: 2.

竹内幹蔵(2024)紫金山・アトラス彗星. 島根県立三瓶自然館ニュースレター「さんべ発!」186: 2.

竹内幹蔵(2025)島根県のプラネタリウム史. 島根県立三瓶自然館研究報告 23: 25-27.

太田哲朗(2024)水星観察にチャレンジ!. 島根県立三瓶自然館ニュースレター「さんべ発!」185: 2.

- 太田哲朗(2024)宇宙ステーションをみよう. 島根県立三瓶自然館ニュースレター「さんべ発!」187: 2.
- 矢田猛士・旭林悠佳\*(2025)大田市立久手小学校における360度星空映像を活用した天体学習. 島根県立三瓶自然館研究報告 23: 63-66.
- 矢田猛士(2025)ハロ～空気中の氷がつくる光学現象～. 島根県立三瓶自然館ニュースレター「さんべ発!」188: 2.
- 矢田猛士(2025)はためく生きもの～国旗に描かれた動植物～. 島根県立三瓶自然館ニュースレター「さんべ発!」189: 1.
- 今井 悟(2024)令和版 島根の自然は生きている(島根県小中学校理科教育研究会編). 195 pp. 山陰中央新報社. 島根. (分担執筆)
- 今井 悟(2024)冬の企画展・SSP展の紹介. 島根県立三瓶自然館ニュースレター「さんべ発!」187: 1-2.
- 今井 悟・安藤誠也(2025)三瓶山姫逃池で確認されたモリアオガエルの特異な死骸集団. 島根県立三瓶自然館研究報告 23: 29-35.
- 今井 悟(2025)鳥井の鷺ノ巣. 島根県地学会誌40: 4.
- 今井 悟(2025)サヒメルで化石を探そう!～コガネムシの穴掘り痕化石～. 島根県立三瓶自然館ニュースレター「さんべ発!」189: 2.
- 安藤誠也(2024)令和版 島根の自然は生きている(島根県小中学校理科教育研究会編). 195 pp. 山陰中央新報社. 島根. (分担執筆)
- 安藤誠也(2025)雪の三瓶でアニマルトラッキング. 島根県立三瓶自然館ニュースレター「さんべ発!」188: 1.
- 星野由美子(2024)秋の鳥たち. 島根県立三瓶自然館ニュースレター「さんべ発!」186: 1-2.
- 星野由美子(2025)三瓶自然館野外観察コーナーで見られた鳥類 –2023年度の調査記録–. 島根県立三瓶自然館研究報告 23: 53-58.
- 皆木宏明(2024)特集–夏の企画展–ハチ. 島根県立三瓶自然館ニュースレター「さんべ発!」185: 1-2.
- 皆木宏明(2025)江の川河口におけるカワラハンミョウの生息状況について. 島根県立三瓶自然館研究報告 23: 37-41.
- 三島秀夫(2025)島根県で採集された蛾数種について2024. 島根県立三瓶自然館研究報告 23: 59-61.
- 井上雅仁(2024)令和版 島根の自然は生きている(島根県小中学校理科教育研究会編). 195 pp. 山陰中央新報社. 島根. (分担執筆)
- 井上雅仁(2024)何れ菖蒲か杜若. 島根県立三瓶自然館ニュースレター「さんべ発!」184: 1-2.
- 井上雅仁(2025)島根県自然環境保全地域「赤名湿地性植物群落」の植生と植物相. 島根県立三瓶自然館研究報告 23: 9-24.
- 井上雅仁・柳浦正夫\*・丹後亜興\*(2025)島根県隠岐諸島の島前地区で確認されたオナモミ. 島根県立三瓶自然館研究報告 23: 49-52.

#### □学会・研究会等での発表

- 矢田猛士・松浦春奈\*・森山尚美\*・松本一郎\*(2024, 12)360度星空映像を活用した保育園年長児の星の学習. 日本理科教育学会中国支部大会. (山口大学)
- 矢田猛士・大國寛和\*・渡部敬太\*・山田宏道\*(2024, 08)天体学習における360度星空映像のVR体験の試行. 日本理科教育学会第74回全国大会. (滋賀大学)
- 鳴沢真也\*・永井和男\*・前原裕之\*・矢田猛士(2025, 01)活動的アルゴル系U Cep: 光度曲線

の大変動と星周物質との関係. 連星系・変光星研究会2024. (九州産業大学)  
今井 悟 (2024, 9) 高知県土佐清水市千尋岬の巨礫群は津波石か?. 日本地質学会第131年  
学術大会. (山形大学)  
今井 悟・新野 大\* (2024, 6) 飼育水槽内におけるイズヒメエイ(アカエイ科)の索餌・摂食  
行動とその生痕の予察的観察. 日本古生生物学会2024年例会. (東北大学)  
今井 悟 (2025, 3) タフォニを用いた石造物の製作年代推定の試み: 高知県土佐清水市千  
尋岬の繫留遺構の事例. 文化地質研究会 第8回総会・研究発表会. (豊岡市)  
安藤誠也・桑原一司 (2024, 9) ニホンキクガシラコウモリはセミ類のなかでも何故ヒグラシ  
ばかりを捕食するのか?. 日本哺乳類学会2024年度大会. (兵庫県立大学)  
森茂晃\*・星野由美子・豊田暁\* (2024, 9) トモエガモの群れが越冬中に採食地へ飛行する  
方向が大きく変わる要因について. 日本鳥学会2024年度大会. (東京大学)

## (11) 広報宣伝業務

### ① 広報営業活動

鳥のくちばしがテーマの春期企画展では、鳥に興味のある人をターゲットに、山陰で鳥を  
テーマとしている3施設に相互PR企画を提案し、それぞれの施設で周遊を促す掲示を行った。

夏期企画展は蜂という限定的なテーマをPRするため、印象に残ることを意図してインパク  
トを重視したポスター・CMを制作した。特にCMはポスターデザインを活かし、ナレーション  
無し・蜂の羽音のみで構成され、見た人の印象に残り大きなPR効果を得た。

夏から秋にかけて、道の駅、近隣施設に自然館および埋没林公園の割引券を設置し、集客  
を図った。

地域連携で実施するものとして、三瓶山広域ツーリズム振興協議会、石見ツーリズムネッ  
トに参画して三瓶山地域のPRを行った。

### □ 営業活動

冬期に近隣の小・中学校及び幼稚園・保育園・児童クラブ等を訪問し、学習プログラムや  
施設の利用方法などを紹介した。

### ② 情報発信

#### □ WEBサイト・SNS

各施設のホームページに施設の情報とイベント等の情報を随時更新し、臨時的な情報  
などはSNSを併用することで効果的な情報発信を行った。

企画展開催時には、スタッフや業者委託による集客エリアや年代を絞った企画展情報の  
投稿を定期的に行った。

三瓶自然館ホームページには、季節に合わせた自然の情報やトピックスについて、学芸  
課スタッフによる発信を「自然情報」として毎週日曜日に定期更新を行った。(掲載記事の  
一覧は「VI. その他 3. 資料(p. 80)」参照)

#### □ ミュージアムニュース発行

三瓶自然館のイベントや島根の自然に関する情報を取り上げ、隔月で年6回、3,000部  
ずつ発行した。館内に配架した他、学校、図書館、県内市町村等に配布した。

#### □ ケーブルテレビ(ぎんざんテレビ)

地元ケーブルテレビ局とタイアップして、当館の情報番組「サヒメルうおっち」を制作し、  
三瓶山や島根の自然情報、イベントなどのPRと情報発信の有力な手段になっている。また、  
大田市内においては、音声告知を活用したイベント告知も継続して実施した。

\*令和6年度「サヒメルうおっち」放送内容

放送日	放送内容	放送日	放送内容
4/19 ～22	春の企画展「鳥のくちばし展」紹介	10/18 ～21	期間展示「わいるどらいふっ!4コマで知る身近な野生生物」紹介
5/17 ～20	マメコバチの生態	11/15 ～18	哺乳類の紹介
6/21 ～24	ユウスゲとその保全	12/20 ～23	昆虫の行動とその化石ーカプトムシのなかまの幼虫編ー
7/19 ～22	360度星空映像で天文学習	1/17 ～20	埋没林公園のオススメ展示
8/16 ～19	夏の企画展「THE蜂」紹介	2/21 ～24	七輪で溶岩実験
9/20 ～23	秋分・昼と夜の長さは同じじゃない?	3/21 ～24	春の企画展「はためく生きもの」の紹介

□新聞への寄稿

読賣新聞「サヒメル研究日誌」、島根日日新聞「学芸員日記」等の連載企画への原稿執筆を通して、三瓶や島根の自然の紹介、自然保護についての啓発、情報発信を行った。(掲載記事の一覧は「VI.その他 3. 資料(p.81)」参照)

(12) 仕様書以外の事業の実施状況

①博物館ボランティア「三瓶自然館インタープリター」の活動

三瓶自然館インタープリターは、三瓶を訪れる人たちが、生きた自然に触れ、自然の不思議さや素晴らしさを感じ、自然を愛する心や守る心を育むことの手助け(インタープリテーション)を目的として設置されたボランティアスタッフである。

館の設置目的を理解し、自然環境の保全に関心を持つ希望者のうち、研修を修了した者に委嘱登録している。また、自然観察の経験が少ない希望者には、研修を積んだ後に委嘱している。

□登録者数

登録種別	人数
委嘱登録者	54人
研修登録者	11人
合計	65人

男女構成	人数
男性	46人
女性	19人
合計	65人

□活動実績

館が実施する各種事業に協力し、主に参加者や来館者に対する解説や案内を行っている。主な活動内容は次のとおりである。

- ・館主催イベントにおける参加者対応や企画、実施、実施補助
- ・外部から依頼を受けた観察会や定期観察会での自然解説
- ・団体向け予約天体観察会や毎週土曜日の定期天体観察会での補助や案内
- ・本館1Fでの工作や来館者対応
- ・北の原の植物・鳥類調査(環境省のモニタリングサイト1000など)

＊令和6年度の主な協力事業

月 日	事 業 名	延べ活動人数
5/12	バードウォッチング講座	8人
5/19	春の三瓶で自然観察登山(下見含む)	18人
7/20	夏の夜の昆虫観察	7人
9/1	昆虫工作祭り(打合せ含む)	16人
9/15	秋の七草観察会(下見含む)	18人
10/19	夜のコウモリ観察会(下見含む)	9人
1/25	アニマルトラッキング	5人
複数回実施 事業等	わくわくワゴン(25回、打合せ含む)	26人
	工作コーナー(準備を含む)	77人
	親子で作ろう工作教室(7回)	22人
	自然観察会(主に学校など団体向け)	40人
	天体観察会(定期・特別・団体)	124人
	お散歩ツアー	2人
	調査(モニタリングサイト1000植物・鳥類)	88人
	総会・研修・保全作業・会議 等	93人
合 計		553人

※複数日に渡るイベントと複数回実施事業等の活動人数は延べ数

□研修

本年度は2回の研修を実施し、1回目は「昆虫標本の作り方」と題して、当館の昆虫担当研究員よりスズメバチを題材にして標本作成方法を学んだ。昆虫の形を整えながら針で固定する方法や、標本ラベルに記載すべき情報などについて習得した。2回目は「哺乳類に遭遇した際の対処方法」についてで、哺乳類担当研究員より、動物の生態や、山野で行動する際に注意すべき点、万が一に備えての熊撃退スプレーの使用方法などを学んだ。

□研修旅行

ボランティアとしての資質向上と他のボランティア団体との交流を目的に研修旅行を実施している。令和6年度は7月27日～28日に岡山県倉敷市を訪問し、倉敷市立自然史博物館のボランティア団体を訪ねた。館内で行われていた昆虫等の生体展示の解説活動や、動物の骨格標本作製を行っているグループの活動を見学した。その後、座談会で意見交換を行った。

②地域との連携

□三瓶地域協育ネットワーク事業(三瓶青少年交流の家)

三瓶青少年交流の家が主管する三瓶地域協育ネットワーク事業に参画して会議(年2回)に出席してさんべ祭等の事業に関する意見交換を行ったほか、三瓶小豆原埋没林公園のイベント「月イチガク」をネットワーク事業として年12回開催した。月イチガクの詳細はp. 30～32に掲載した。

#### □大田市の観光事業

大田市DMO(事務局/大田市観光協会内)が主催する大田市観光戦略会議に2回出席した。

#### □日本遺産事業

大田市日本遺産推進協議会が実施したコーディネーター講座(大田市石見銀山課が主管)に協力した。

#### □第44回クリーン三瓶

実施日：5月20日(日)

参加者：約270人

内 容：三瓶山の関連機関が実行委員会を構成し、ボランティアを募って実施する清掃作業。当財団も財団設立以来、実行委員の一員として協力・参加しており、本年も西の原から三瓶自然館まで周回道路のゴミ拾い等を行った。当財団が担当した範囲では、年々ゴミは減少する傾向にあるものの、倒木や枯れ木、道路に積もった落葉が増えつつあり、景観への影響を懸念している。

#### □姫逃池カキツバタ保全作業

実施日：6月9日(日)

参加者：約50人

内 容：島根県、大田市などの行政機関、国立三瓶青少年交流の家などの周辺施設、大田市内の自然保護団体などと協力して、カキツバタの生育を促すための草刈り作業を行った。

### ③他施設との連携

#### □島根県自然系博物施設交流事業(三館交流)

三瓶自然館サヒメルと宍道湖自然館ゴビウス、しまね海洋館アクアスの県立自然系博物館施設が合同で、情報交換会や研修会を実施している。令和5年度および6年度は当館が幹事館となっており、下記の会議に参加した。

##### \*館長・課長会議

実施日：11月18日(月)

会 場：三瓶自然館レクチャールーム

概 要：職員採用・人材育成の方策、カスタマーハラスメントへの対応などについて情報交換を行った。

##### \*総務・広報系会議

実施日：10月28日(月)

会 場：三瓶自然館レクチャールーム

概 要：施設間の連携状況と入館料割引、オンラインチケットの運用、年間パスポートの特典などについて情報交換を行った。

##### \*技術担当者・学芸員会議

実施日：10月21日(月)

会 場：三瓶自然館レクチャールーム

概 要：近況報告、しまねレッドデータブック改訂版発行に際しての展示予定、周年イベントなどについて情報交換を行った。

□広島市こども文化科学館

広島市こども文化科学館の2階フロアに三瓶自然館のブースを設置している。令和6年度も随時更新を行い、企画展や天文情報、自然情報などを発信した。

□石見銀山世界遺産センター

世界遺産登録記念日イベントに協力し、7月1日(土)にギャラリートークを行った。

④各種研修

□博物館実習の受入

・島根大学 10月10日(木)～10月14日(月) 実習生：8人

⑤行政等への協力

□各種委員会等の受託

名 称	氏 名	期 間	依 頼 元
大田市環境審議会委員(副会長)	多 根 純	R7. 3. 19 ～R7. 3. 31	大田市長
国立三瓶青少年交流の家運営協議会委員	多 根 純	R6. 7. 20 ～R8. 3. 31	国立三瓶青少年交流の家所長
大田商工会議所参与	多 根 純	R6. 7. 1 ～R7. 10. 31	大田商工会議所会頭
三瓶山広域ツーリズム振興協議会監事	多 根 純	R6. 7. 1～	三瓶山広域ツーリズム振興協議会会長
三瓶小豆原埋没林保存検討委員会委員	多 根 純	R6. 7. 8 ～R7. 7. 24	島根県知事
大田市環境審議会委員(副会長)	酒 井 浩 純	H27. 7. 1 ～R7. 3. 18	大田市長
国立三瓶青少年交流の家運営協議会委員	酒 井 浩 純	H28. 4. 1 ～R6. 6. 30	国立三瓶青少年交流の家所長
大田商工会議所参与	酒 井 浩 純	H28. 11. 1 ～R6. 6. 30	大田商工会議所会頭
三瓶山広域ツーリズム振興協議会監事	酒 井 浩 純	H27. 7. 1 ～R6. 6. 30	三瓶山広域ツーリズム振興協議会会長
三瓶小豆原埋没林保存検討委員会委員	酒 井 浩 純	H27. 7. 25 ～R6. 6. 30	島根県知事
男三瓶山頂トイレ維持管理協議会委員	石 田 浩 二	R6. 4. 26 ～R8. 3. 31	大田市産業振興部環境政策課長
出雲市文化財保護審議員	中 村 唯 史	R1. 6. 1 ～R7. 5. 31	出雲市長
江津市文化財保護審議員	中 村 唯 史	H27. 4. 1 ～R7. 3. 31	江津市長
希少野生動植物種保存推進員	井 上 雅 仁	H21. 7. 1 ～R6. 6. 30	環境大臣
島根県自然環境保全審議会委員	井 上 雅 仁	H21. 11. 12 ～R8. 2. 27	島根県知事
島根県環境影響評価技術審査会委員	井 上 雅 仁	H24. 1. 1 ～R8. 12. 31	島根県知事
しまねレッドデータブック改訂委員会委員	井 上 雅 仁	R4. 11. 4 ～R8. 11. 3	島根県知事
島根県農業農村整備事業環境情報協議会委員	井 上 雅 仁	H24. 8. 29 ～R8. 6. 30	島根県農林水産部農村整備課長

神戸川の河川環境等に関する協議会委員	井上 雅 仁	R3. 6. 28 ～R6. 3. 31	島根県土木部長
鳥取県立博物館協議会委員	井上 雅 仁	R6. 4. 1 ～R8. 3. 31	鳥取県教育委員会
石見銀山遺跡整備検討委員会委員	井上 雅 仁	H20. 10. 20 ～R6. 3. 31	大田市教育委員会教育長
大田市文化財保護審議会委員	井上 雅 仁	R6. 2. 1 ～R8. 1. 31	大田市教育委員会教育長
「島根の自然は生きている」編集委員	井上 雅 仁	R5. 5. 9 ～R7. 3. 31	島根県小中学校理科教育研究会
島根県農業農村整備事業環境情報協議会委員	星野由美子	H14. 4. 1 ～R8. 6. 30	島根県農林水産部農村整備課長
自然観察指導員講習会全国講師	星野由美子	H16. 4. 1～	公益財団法人日本自然保護協会
島根県環境影響評価技術審査会委員	星野由美子	H17. 1. 1 ～R8. 12. 31	島根県知事
島根県自然環境保全審議会委員	星野由美子	H26. 1. 16 ～R8. 2. 27	島根県知事
島根県国土利用計画審議委員	星野由美子	H28. 10. 25 ～R7. 10. 24	島根県知事
しまねレッドデータブック改訂委員会委員	星野由美子	R4. 11. 4 ～R8. 11. 3	島根県知事
島根県満喫プロジェクト地域部会委員	星野由美子	H28. 10. 6～	島根県環境生活部長
出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会委員	星野由美子	H30. 2～	協議会事務局(雲南市)
斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類とともに生きる流域作り検討協議会(鳥類ワーキング、環境学習ワーキング)	星野由美子	H31. 2～	協議会事務局(国土交通省河川事務所)
出雲市トキによるまちづくり推進協議会委員	星野由美子	R5. 5. 10～	出雲市長
島根天文協会会長	竹内 幹 蔵	H17. 6～	島根天文協会
日本公開天文台協会理事	竹内 幹 蔵	R5. 8. 1 ～R7. 7. 31	日本公開天文台協会
「島根の自然は生きている」編集委員	安藤 誠 也	R5. 5. 9 ～R7. 3. 31	島根県小中学校理科教育研究会
土佐清水ジオパークアドバイザー	今井 悟	R3. 6. 3 ～R8. 3. 31	土佐清水ジオパーク推進協議会会長
「島根の自然は生きている」編集委員	今井 悟	R5. 5. 9 ～R7. 3. 31	島根県小中学校理科教育研究会
島根県地学会幹事	今井 悟	R6. 7. 2～	島根県地学会

## 2. 三瓶小豆原埋没林公園

埋没林が持つ自然科学的な意義を伝えつつ、来場者が面白さを感じられることを目指して、一般団体等を対象とした展示解説と学校団体を対象とする学習的な案内を積極的に実施した。解説を受けた来場者は合計1,800名を超えた。

利用者数は前年に対してやや減少した。原因ははっきりしないが、夏期を中心に三瓶山地域全体に観光客数が低下しており、ある程度広い範囲での観光動態が関連したとみられる。

利用者の傾向は、県外からの個人客が多いことは以前と変わらないが、近県からの募集型ツアーでの立ち寄りが近年では比較的多く、20件の来場があった。

また、島根県により照明のLED化工事が実施され、これに協力した。

### (1) 普及啓発

#### ① 常設展示

大小2棟の地下展示室において、三瓶小豆原埋没林を発掘状態で現地展示している。大展示棟(縄文の森発掘保存展示棟)では、スギ3本、広葉樹4本の立木のほか、流木群を展示している。観覧者は地表下約12mの見学デッキから見学できる。小展示棟は、三瓶自然館展示標本の根株があり、地表下約13.5mの床面で間近で見学できる。

#### ② 展示解説

職員による展示解説は、事前に予約がある団体の過半数は解説(有料)を希望され、合計969名の利用があった。

学校等の学習利用(解説無料)は下表のとおり利用があり、解説対象人数は852名であった(小学校1件115名は解説不実施)。

#### ※学校団体の利用状況

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
高等学校	1件(86名)	2件(122名)	8件(511名)	3件(155名)
中学校	5件(405名)	8件(618名)	8件(530名)	7件(379名)
小学校	13件(476名)	12件(424名)	23件(1,124名)	24件(1,061名)

#### ③ イベント

講座型のイベント「月イチガク」を12回実施した。ガイドンス室で行う講座は、オンラインでの配信を併用した。実施日と内容は以下のとおり。

##### □月イチガク①「縄文の森出現 ～埋没林発見の物語～」

実施日：4月13日(土)

参加者：会場10人、オンライン2人

内 容：三瓶小豆原埋没林の発見に至るまでの経緯と、調査によって解き明かされた事柄を中村唯史が紹介。

##### □月イチガク②「イノシシ学 ～君はなぜ里に出てくるの?～」

実施日：5月18日(土)

参加者：会場9人、オンライン9人

内 容：イノシシが人家近くに現れ農作物に被害をもたらすことが増えた理由を麻布大学の江口祐輔氏が紹介。

□月イチガク③「石見の銀・銅山Ⅰ ～もうひとつの石見銀山・久喜～」

実施日：6月15日(土)

参加者：会場16人、オンライン2人

内 容：邑南町の久喜銀山について、発掘調査から明らかになった事実とその歴史的な意義を邑南町教育委員会の大野芳典氏が紹介。

□月イチガク④「石見銀山学 ～輝かない石が招いた輝き～」

実施日：7月20日(土)

参加者：会場9人、オンライン37名

内 容：魚津埋没林博物館との共同でオンライン開催。前半では魚津市にあった加賀藩の金山を富山大名誉教授の清水正明氏が紹介、後半は中村唯史が石見銀山を紹介。

□月イチガク⑤「墓場放浪記 ～墓と石の旅路を追って～」

実施日：8月24日(土)

参加者：会場8人、オンライン3人

内 容：石塔から読み解くことができる地域史を、大田市から各地に広がった石(石材)に注目しながら島根県古代文化センターの間野大丞氏が紹介。

□月イチガク⑥「気候が変? どう? ～気候変動の過去未来～」

実施日：9月14日(土)

参加者：会場9人、オンライン1人

内 容：地球史的な気候変動と近年の温暖化の実態、将来予測について、山陰での事例から国際的な取り組みまでを松江事務所の葭矢崇司が紹介。

□月イチガク⑦「大田の海から続く道 ～ワニ、塩鯖そしてワカメの旅路～」

実施日：10月12日(土)

参加者：会場9名、オンライン1名

内 容：五十猛港を中心に、大田市の港で水揚げされた海産物が行商人によって中国山地山間部まで運ばれた歴史を山陰民俗学会の多田房明氏が紹介。

□月イチガク⑧「地図で大田をみる ～地理屋と地質屋の地図談義～」

実施日：11月9日(土)

参加者：会場14名、オンライン2名

内 容：石見銀山の存在が強調された戦国期の絵図や近代の地図に記された鉱山関連施設とその物流経済的な意義などを島根県地理学会の阿部志朗氏が紹介。

□月イチガク⑨「縄文の宝島「隠岐」 ～大地と人の2万年～」

実施日：12月14日(土)

参加者：会場20人

内 容：隠岐島後で旧石器時代から黒曜石を採取してきた歴史を、人と自然の関わり視点で中村唯史が紹介。

□月イチガク⑩「東洋一の金鉱山・瑞芳 ～藤田組が手がけた鉱山～」

実施日：1月11日(土)

参加者：会場6名、オンライン7名

内 容：台湾の瑞芳鉱山の地質、歴史とあわせ、現在も日本企業が経営した時代の面影が残る町の様子を中村唯史が紹介。

□月イチガク⑪「超レアなアナ ～松江のアナ・大田のアナ～」

実施日：2月15日(土)

参加者：会場5人、オンライン2名

内 容：大根島の溶岩洞窟の成因と、ガイドツアーでの見どころを紹介。また、大田市にある海食洞窟や人為による穴の景観を出雲国ジオガイドの会の松原慶子氏が紹介。

□月イチガク⑫「<フィールド>〚火山の谷〛大田町を歩く」

実施日：3月9日(土)

参加者：15人

内 容：大田の町の成り立ちが火山活動と関係してできた地形と関わり深いことを、実際に歩いて観察。

**(2) 埋没木の保存検討に関する事項、保存処理、モニタリング、調査等**

2月20日に島根県自然環境課が主催して開催された埋没木保存検討委員会に出席したほか、日常的な業務として地下水位、溶存酸素濃度、温湿度等の測定とデータ回収を実施した。

本年度は島根県からの委託による保存処理業務は不実施。

### 3. 施設利用許可業務

#### (1) 休館日等

##### 【三瓶自然館】

##### ①開館日

◆令和6年度開館日数：299日 ※条例上は299日

※条例で定められた休館日

- ・7月19日～8月31日までの間を除く火曜日(祝日の場合は翌平日)
- ・6、9、12、3月の第1月曜日から5日間(メンテナンス休館)
- ・12月29日～1月3日まで

□施設の効率的運営のため変更した日(開館：3日、休館：3日)

- ・特別開館：4月30日(火)、1月2日(火)、3日(水)
- ・臨時休館：12月27日(金)、28日(土)
- ・メンテナンス休館：9月第1月曜日から5日間の定めものを9月30日(月)、10月1日(水)～4日(金)(夏期企画展のため)

##### ②開館時間

条例のとおり開館時間は9:30～17:00とした。

##### ③早朝開館

開館時間前の来館を希望された場合、事前の予約に応じて早朝開館をすることとしているが、当年度は利用がなかった。

##### ④開館時間等の変更(指定管理基本協定15条3)

島根県立三瓶自然館及びその附属施設の管理に関する基本協定第15条第3項の規程により、以下の通り開館時間を変更した。

- ・8月25日(日)、倒木による全館停電のため9時58分開館とした。

##### 【三瓶小豆原埋没林公園】

##### ①開園日

◆令和6年度開園日数：307日 ※条例上は298日

※条例で定められた三瓶小豆原埋没林公園の休園日

- ・7月21日～8月31日までの間を除く火曜日(祝日の場合は翌平日)
- ・6、9、12、3月の第1月曜日から5日間(メンテナンス休館)
- ・12月29日～1月3日まで

□施設の効率的運営のため変更した日(開館：11日、休館：2日)

- ・特別開園：4月30日(火)、6月3日(月)、6月5日(水)～7日(金)、9月2日(月)  
9月4日(水)～6日(金)、1月2日(木)、1月3日(金)
- ・臨時休園：12月27日(金)、28日(土)

## (2) 利用料金

「わかりやすいこと」「利用しやすいこと」「合理的であること」を踏まえた、令和6年度の利用料金は下記のとおりである。

施設の種別		利用区分	通常期	春期 企画展 開催期	夏期 企画展 開催期	冬期 企画展 開催期
観覧料 (個人)	三瓶自然館	一般	400	600	700	600
		小中高校生	200			
	天体観察	一般	300			
		小中高校生	100			
	埋没林公園	一般	300			
		小中高校生	100			
施設貸切 (時間あたり)	レクチャールーム		1,300			
	ビジュアルドーム	入場料徴収 無	2,500			
		入場料徴収 有	5,000			
年間パスポート	一般	1,500				
	小中高校生	500				

※20名以上の団体は2割引(観覧料のみ)

## (3) 利用料金の減免

その他の期間の児童生徒の教育課程の来館、身体障害者手帳の交付者など、減免対象者は利用料金を減免した。

## (4) 利用の許可

施設利用の申し出に対して、利用目的等に応じて許可の可否判断を含め、適切な事務手続きを行った。

## (5) 施設の貸出など

- ・施設の貸出を行う場合は、利用者が利用の目的を十分に果たせるように利用方法や設備について丁寧な指導、助言を行った。
- ・受付業務にあたっては、受付窓口においてアテンダントが対応したほか、必要に応じて他のスタッフが補助し、利用者が気持ちよく施設を使用できるよう対応した。
- ・利用施設等に応じて、利用申請の書類を常備し、迅速な手続きを行った。
- ・利用者にはわかりやすいよう、利用方法の手引きを作成し、誰でも閲覧可能な状態で公開した。

## (6) 審査基準の制定

島根県行政手続き条例に準じ、三瓶自然館及びその附属施設について、以下のとおり「不利益処分に対する処分基準」及び「申請に対する審査基準」を制定している。令和6年度では不利益処分の事例はなかった。

## 不利益処分に対する処分基準

(整理番号：001)

令和5年4月1日

1. 根 拠 規 程 等	島根県立三瓶自然館及びその附属施設の設置及び管理に関する条例 第15条
2. 不利益処分の概要	許可の取り消し、条件の変更
<p>3. 処分基準(未設定の場合はその理由)</p> <p style="margin-left: 40px;">使用許可の取り消しについては、施設内の秩序の維持の観点から措置を行うかどうか判断することとなるが、違反者の瑕疵の程度や、他の利用者への迷惑度、自然館等の施設等の棄損の度合いなど、様々な状況を考慮して客観的に判断されなければならない。</p> <p style="margin-left: 40px;">また、管理上の必要性により使用許可条件の変更を要する状況を予測することは困難であり、個別の事例により公益性等を考慮して判断せざるを得ない。</p> <p style="margin-left: 40px;">よって、一律に基準を設定することは困難である。</p> <p>(許可の取消し等)</p> <p style="margin-left: 40px;">第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者が、次の各号のいずれかに該当するときは、その者に対して、同項の許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止若しくは自然館等からの退去を命ずることができる。</p> <p style="margin-left: 80px;">(1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。</p> <p style="margin-left: 80px;">(2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。</p> <p style="margin-left: 80px;">(3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。</p>	
4. 処分を行う施設名	島根県立三瓶自然館
5. 指定管理者の担当部署	公益財団法人しまね自然と環境財団 総務課



## 申請に対する審査基準

(整理番号：003)

令和5年4月1日

1. 法令名・根拠条項	島根県立三瓶自然館及びその附属施設の設置及び管理に関する条例第17条
2. 許認可等の種類	利用料金の減免
3. 審査基準	<p>1 島根県立三瓶自然館及び附属施設の設置及び管理に関する条例施行規則第4条表1から4に定めるもの 判断基準…同規則に定める区分に該当するとき。 減免額…同規則に定める額(全額、1/2の額、2割)</p> <p>2 同条表5に定めるもの (1) 島根県等行政からの要請に基づくもの(例:児童福祉週間、老人週間、身体障がい者福祉週間、遣島使カード等) 判断基準…指定管理施設の経営に支障がないとき。 減免額…観覧料の全額、1/2の額、2割 (2) 広報目的のもの(例:各メディア広報による特典等) 判断基準…広報対象が広く一般であるとき又は県立施設の広報として適切であるとき。 減免額…観覧料の全額又は2割 (3) 指定管理者の事業展開(他施設等との連携含む)又は当該施設の利用促進を図る目的のもの(例:企画展招待券、島根県立施設等との連携割引等) 判断基準…指定管理施設の経営に支障がないとき。 減免額…観覧料の全額又は2割 (4) サービス向上目的のもの(例:観光バス等の運転手、添乗員及びタクシー運転手等) 判断基準…指定管理施設の経営に支障がないとき。 減免額…観覧料の全額又は2割</p> <p>なお、各事例は突発的に要請又は実施の必要が生じることもあり、限定的な列挙は困難である。また、経営への支障は、1を除く減免額総額の年間見込み額が300万円を超える場合に考慮する。</p> <p>(利用料金等の減免) 第17条 指定管理者は、規則の定めるところにより、利用料金等の減免をすることができる。</p>
4. 標準処理期間	10日間
5. 申請先	観覧料：島根県立三瓶自然館又は埋没林公園 利用料：島根県立三瓶自然館
6. 処分を行う施設名	観覧料：島根県立三瓶自然館又は埋没林公園 利用料：島根県立三瓶自然館
7. 指定管理者の担当部署	公益財団法人しまね自然と環境財団 企画情報課

## 申請に対する審査基準

(整理番号：004)

令和5年4月1日

1. 法令名・根拠条項	島根県立三瓶自然館及びその附属施設の設置及び管理に関する条例第18条
2. 許認可等の種類	利用料金等の還付
<p>3. 審査基準(未設定の場合はその理由)</p> <p>第18条第1項については、本人の責めに帰することができない理由の発生状況は、様々なケースが想定され、また全部還付・一部還付を含めた「還付する、しない」の判断は、施設の使用又は観覧行為に対し、時間的、空間的な制約をどれだけ受けたかにより、客観的、合理的に判断されなければならない。</p> <p>しかし現実には、このような判断は非常に相対的、流動的なものとなるため、一律に基準を設けることは困難である。</p> <p>第18条第2項についても、同様に個々の事例により客観的に判断されるべきものであり、一律に基準を設けることは困難である。</p> <p>(利用料金等の不還付)</p> <p>第18条 既に納入された利用料金等は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を還付することができる。</p> <p>(1)利用料金等を納入した者が、その責めに帰することができない理由により、有料施設等を利用することができなくなったとき、天体運行の投影、全天周映画若しくは展示物を観覧することができなくなったとき、自然館の観察施設を利用して天体を観覧することができなくなったとき、又は埋没木等を観覧することができなくなったとき。</p> <p>(2)第21条の規定により有料施設等の利用が禁止され、又は制限されたことにより当該有料施設等が利用できなくなったとき。</p>	
4. 標準処理期間	10日間
5. 申請先	島根県立三瓶自然館
6. 処分を行う施設名	島根県立三瓶自然館
7. 指定管理者の担当部署	公益財団法人しまね自然と環境財団 総務課

## 申請に対する審査基準

(整理番号：005)

令和5年4月1日

1. 法令名・根拠条項	島根県立三瓶自然館及びその附属施設の設置及び管理に関する条例第19条第1項
2. 許認可等の種類	営業行為等の許可
<p>3. 審査基準</p> <p>次の各号の一に該当すると認めるときは、第19条第1項に掲げる行為を許可する。</p> <p>I 第19条第1項第1号及び第2号について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自然館及びその附属施設の設置目的に沿った行事等の開催の案内のための広告物の表示、宣伝活動をする場合。</li> <li>2 利用者への自然に関する情報提供や、啓発を図るための公共性の高い広告物の表示、宣伝活動をする場合。</li> <li>3 国、県、他の地方公共団体、その他の公共団体又は公益財団法人しまね自然と環境財団が主催又は共催の行事開催時において、利用者への便宜供与、利用促進のための物品の販売、その他の営業行為を行う場合。</li> <li>4 自然館及びその附属施設の利用者の便宜供与のため、物品の販売、その他の営業行為を行う場合。</li> <li>5 その他特に必要があると認められる場合。</li> </ol> <p>II 第19条第1項第3号について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自然館及びその附属施設の設置目的に沿った行事等を開催する場合。</li> <li>2 国、県、他の地方公共団体、その他の公共団体又は公益財団法人しまね自然と環境財団が主催又は共催により公用又は公共用の目的で行事を開催する場合。</li> <li>3 国立公園、三瓶フィールドミュージアムの適正な利用の促進に寄与すると認められる行事を開催する場合。</li> <li>4 自然に関する学習・啓発を図る目的で展示会等を開催する場合。</li> <li>5 その他特に必要があると認められる場合。</li> </ol> <p>(行為の制限)</p> <p>第19条 自然館等において、次に掲げる行為をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 広告物を表示し、又は宣伝活動をすること。</li> <li>(2) 寄付金の募集、物品の販売その他これらに類する行為をすること。</li> <li>(3) 集会、競技会、展示会その他の催しをすること。</li> </ol>	
4. 標準処理期間	10日間
5. 申請先	島根県立三瓶自然館
6. 処分を行う施設名	島根県立三瓶自然館
7. 指定管理者の担当部署	公益財団法人しまね自然と環境財団 企画情報課

## 4. 施設の維持管理に関する業務

島根県立三瓶自然館及び小豆原理没林公園の施設と設備の維持管理は、「島根県立三瓶自然館及びその附属施設の管理運営に関する仕様書・協定書(以下「仕様等」)」を遵守し、現指定管理申請時(令和4年度10月)に策定した管理運營業務の基本方針に基づき、各年度当初に事業計画を定め、業務にあたることとしている。

### 【指定管理期間での管理業務基本方針】

- ・管理者の都合ではなく利用者のための管理
- ・県民の財産をお預かりしている意識
- ・自然環境や地球環境に優しい管理

### 【当年の概況】

当年は空調機関連の故障が多かった。本館は、空調機本体は今年度に更新されたが、空調配管は開館当初のままのため、経年劣化による配管破損が2年連続で発生した。

また、別館・新館の空調機は、平成14年に設置後、一度も更新されていないため、既に製造中止となっており部品が手に入りにくい状況で、次回以降の修繕が危ぶまれる。

## (1) 全施設共通業務

### ① 利用者管理業務

令和6年度は、県へ報告すべき規模の事故は発生しなかった。その他の館内外での転倒等による軽微なケガ、利用者からのクレーム、要望等についても適切な対応に努めた。

また、事故を未然に防ぐために、定期的な巡視、点検により危険箇所等の発見や対処も行ったほか、研修により、職員のスキルアップ、危機管理意識の維持に努めている。

- 主な実施内容：職員巡視による利用者の退館・退園チェック、施錠の確認(毎日)  
5S活動、消防・避難誘導訓練(各施設で6月、9月ほか)等

### ② 清掃業務

観覧施設として、利用者にとって快適な衛生環境を維持するよう実施した。実施回数、場所等は、状況に応じて加減し、効率的な費用対効果も図っている。

- 主な実施内容：日常清掃(毎日)  
床洗浄・ワックス塗布(5～6月、9月～10月)  
ブラインド等除塵(10月)  
ガラス等洗浄(4月～5月、9月～10月)  
特別トイレ清掃(6月)  
フィルター清掃等(6月ほか)  
廃棄物処理(適宜)  
モグラの道清掃(6月)※職員による

- 委託先：(株)NTTファシリティーズ(株)中央ビルサービス

### ③ 警備業務

機械警備専門業者により、不審者、火災報知器の遠隔監視を行った。当年では警備員の駆けつけが8回あり、いずれも誤報だったが、その都度、適切な対応を取った。

なお、誤報の原因は停電(電力会社原因)による異常発報のほか、センサーの誤作動によるものとなっている。

また、GWや夏休み期間等の繁忙期には、駐車場に警備員を配置して事故のないように努めている。

- 委託先 機械警備：(株)NTTファシリティーズ(北陽警備保障(株))
- 駐車場警備：(株)NTTファシリティーズ(株)ケイショウ、企業警備保障(株)

#### ④業務車両の管理

各車両は、車検、定期点検、補修等を定期的に行うとともに、万一の事故に備えた任意保険の付保、道路交通法に定められる安全運転管理者の配置など、適切な車両管理、運行管理に努めた。

また、島根県等が実施する「しまね安全ドライブ・コンテスト2024」に全職員で参加し、安全運転意識の徹底を推進した。

- 管理車両 業務車両：12台(県有車両3台(うちバス2台)、財団所有9台)

- 事故等 3件

- 主な実施内容：各車両の点検、法定点検(各車両毎)
- 安全運転管理者講習受講(7月)
- しまね安全ドライブ・コンテストへの参加(7月～12月)

#### ⑤フィールド管理

管理域(三瓶山北の原～東の原)において全3回の刈り払い作業を実施したほか、三瓶山登山道(姫逃コース、名号コース)の定期的な点検、風倒木等の処理作業を行い、来館者・来園者、登山者の快適な利用に資するよう環境管理を行った。

なお、これらの作業にあたっては、自然公園法の指定植物、レッドデータブックに掲載される稀少植物の取り扱いに細心の注意を払っている。

- 主な実施内容：草原域及び公園域の草刈(全刈3回/年、部分刈適宜)
- 登山道の巡視及び軽微修繕(2回/年)
- 林間域、施設周辺の倒木及び危険木処理(適宜)
- 野外歩道類の維持管理(適宜)
- 駐車場等の除雪(適宜)

#### ⑥軽微修繕

障害の発生した設備・備品等について、1件50万円未満のものは指定管理者で対応し、それ以外のものは県へ速やかに報告するとともに、修繕対応案の提示を行った。

- 修繕状況：三瓶自然館……………39件(空調設備修繕など)
- 埋没林公園…………… 3件(消防設備修繕など)

#### ⑦資格者の配置

!常駐配置義務付のもの

- ・防火管理者(三瓶自然館) ……………山本健太郎(総務課)
- ・ 〃 (埋没林公園) ……………大野志津香(企画情報課)
- ・安全運転管理者…………… 石田 浩二(事務局次長)
- ・危険物取扱者…………… 山本健太郎(総務課)

①再委託業者による配置可のもの(カッコ内は直接実施業者)

- ・建築物環境衛生管理技術者 ……………(株)NTTファシリティーズ
- ・専用水道管理者 ……………(株)NTTファシリティーズ(山陰クボタ水道(株))
- ・消防設備点検資格者 ……………(株)NTTファシリティーズ(ホーチキ(株))
- ・浄化槽管理者 ……………(株)NTTファシリティーズ(クリーン(株))
- ・昇降設備管理者(三瓶自然館) ……(株)NTTファシリティーズ((株)日立ビルシステム)
- ・ 〃 (埋没林公園) ……(株)NTTファシリティーズ(三菱電機ビルテクノサービス(株))
- ・電気設備主任技術者…………… (-財)中国電気保安協会
- ・車両管理整備者…………… 米原陵次(自動車整備業者)

## (2) 三瓶自然館関係

### ① 指定管理者による点検

項 目	実 施 状 況
建築物全般、各設備	目視点検、動作確認(随時)
上水道設備管理	上水検査(毎日) 検針(1回/月)
浄化槽管理	三次処理槽草刈(2回/年) 検針(1回/月)
自家用発電機(本館・新館)	目視点検(1回/週)
空調関連設備(全館)	目視点検(毎日)
空調オイルタンク(本館・新館)	目視点検(1回/週)
草刈(自然館周辺、北の原、ヘルシートレーリングコース)	野外草原域及び公園域の芝刈、草刈及び除草(全刈3回/年、部分的に1回/月、5～11月) 野外林間域の倒木及び危険木処理(随時) 野外歩道類の維持管理、危険箇所の報告(随時)
登山道(姫逃コース、名号コース)、山頂小屋	巡視、軽微修繕(2回/年) 野外歩道類の維持管理、危険箇所の報告(随時)
除雪(駐車場、施設周辺等)	随時
館内消毒作業	必要に応じて実施

### ② 委託業者による点検

項 目	実 施 状 況	委 託 業 者
施設清掃(全館)	日常清掃(随時、部分的に1～3回/週) 定期清掃(3回/年、部分的に1～2回/年) 特別清掃(1回/年)	㈱NTTファシリティーズ
衛生管理業務	ねずみ・害虫駆除(2回/年) 空気環境測定(6回/年) 雨水処理層清掃(1回/年)	㈱NTTファシリティーズ
上水道管理	電気計装・制御盤、ポンプ類点検(総合点検1回/年、定期点検6回/年) 配水池の清掃・水質検査(1回/年) 減菌器点検(6回/年)	㈱NTTファシリティーズ
専用水道水質検査	浄水水質検査(項目毎に1～12回/年) 原水全項目検査(1回/年) クリプト指標菌(4回/年)	㈱NTTファシリティーズ
浄化槽維持管理・機能調整	機器点検・清掃・カス抜き取り等(1回/週) 水質検査(流入水2回/年、放流水1回/月) 機能調整(1回/月)	㈱NTTファシリティーズ
	法11条検査(1回/年)	(公社)島根県浄化槽普及管理センター
自家用電気工作物	月次点検(1回/月)、年次点検(1回/年)	(一財)中国電気保安協会
消防設備	外観機能点検(1回/年)、総合点検(1回/年)	㈱NTTファシリティーズ
防火対象物定期点検	定期点検(1回/年)	㈱NTTファシリティーズ
収蔵庫消火システム	機器点検(1回/年)、総合点検(1回/年)	㈱NTTファシリティーズ
非常用発電設備	機器点検(1回/年)、総合点検(1回/年)	㈱NTTファシリティーズ
灯油焚冷温水発生機(本館)	冷房シーズンイン・オン・オフ点検(各1回/年) 暖房シーズンイン・オン・オフ点検(各1回/年)	㈱NTTファシリティーズ

木質ペレット焚冷温水発生機 (本館)	冷房シーズンイン・オン・オフ点検(各1回/年) 暖房シーズンイン・オン・オフ点検(各1回/年)	(株)NTTファシリティーズ
灯油焚冷温水発生機(新館)	冷房シーズンイン・オン・オフ点検(各1回/年) 暖房シーズンイン・オン・オフ点検(各1回/年)	(株)NTTファシリティーズ
空調関連設備(本館・新館)	機器点検(2回/年) 室外機点検(4回/年)	(株)NTTファシリティーズ
空調オイルタンク類(本館・ 新館)	清掃・配管漏洩検査(1回/年) 機器点検、機能試験(2回/年)	(株)NTTファシリティーズ
昇降機設備(本館・新館)	月次点検(1回/月)、総合点検(1回/年)	(株)NTTファシリティーズ
衛生ポンプ設備	機能点検・調整(2回/年)	(株)NTTファシリティーズ
展示設備(本館)	機器点検・調整(2回/年)	(株)ノムラメディアス
展示設備(新館)	機器点検・調整(2回/年)	(株)丹青社
燻蒸設備	機器点検・調整(1回/年)	(株)NTTファシリティーズ
収蔵庫燻蒸	エキヒューム・ブンガノン燻蒸(1回/年)	日本液炭(株)
総合映像システム	機器点検・調整(1回/年)	(株)NTTファシリティーズ
プラネタリウム設備	Gemini Star Σ SANBE 点検・調整(2回/年) 音響設備点検・調整(1回/年)	コニカミノルタプラネタリウム(株)
60cm反射望遠鏡	機器点検・調整(2回/年)	(株)西村製作所
20cmクーデ望遠鏡	機器点検・調整(1回/年)	(株)五藤光学研究所
天体ドーム設備	機器点検・調整(1回/年)	アストロ光学工業(株)
スライディングルーフ	機器点検・調整(2回/年)	(株)角藤 景観建材営業部
駐車場警備	警備員による駐車場整理(260人/年)	(株)NTTファシリティーズ
機械警備	火災・夜間侵入監視(毎日)	(株)NTTファシリティーズ
他建築設備関連	自動ドア点検・調整(1回/年) 排煙窓・非常灯動作点検(1回/年)	(株)NTTファシリティーズ

### (3) 三瓶小豆原埋没林公園関係

#### ① 指定管理者による点検

項 目	実 施 業 務
建築物全般、各設備	目視点検・動作確認(随時)
上水道設備管理	目視点検(1回/週) 塩素投入(随時)
自家用発電設備	目視点検(1回/週)
地下水監視	水位(1回/週) 水質(1回/月)
除雪	駐車場(随時)
園内消毒作業	必要に応じて実施

#### ② 委託業者による点検

項 目	実 施 状 況	委 託 業 者
施設清掃(管理棟、大・小展示棟)	日常清掃(随時、部分的に1~3回/週) 定期清掃(2回/年、部分的に1回/年) 特別清掃(2回/年)	株NTTファシリティーズ
上水道管理	ポンプ類点検、受水槽清掃、滅菌器点検(1回/年)	株NTTファシリティーズ
合併浄化槽維持管理	機器点検・調整、水質検査等(1回/月)	株NTTファシリティーズ
	法11条検査(1回/年)	(公社)島根県浄化槽普及管理センター
自家用電気工作物	月次点検(1回/月)、年次点検(1回/年)	(一財)中国電気保安協会
消防設備	外観機能点検(1回/年)、総合点検(1回/年)	株NTTファシリティーズ
非常用発電設備	機器点検(1回/年)、総合点検(1回/年)	株NTTファシリティーズ
昇降機設備	月次点検(1回/月)、総合点検(1回/年)	株NTTファシリティーズ
地下水ポンプ	機器点検・調整(2回/年)	株NTTファシリティーズ
機械警備	火災・夜間侵入監視(毎日)	株NTTファシリティーズ
酸素濃度計	機器点検・調整(1回/年)	株NTTファシリティーズ

## 5. 物品の管理等

(1) 協定書第25条により、令和6年度に本事業用として購入等により取得した物品は次のとおりである。

□ 令和6年度取得物品 (取得単価100,000円以上のもの。財団保有)

(金額単位:円)

品名	規格等	数量	単価	取得価額	備考
模型	オオセイボウ・ニッポンハナタカバチ	2	200,000	400,000	博物標本・展示用
ハンマーナイフローター	オーレック H751X	1	164,890	164,890	施設管理用
ノートパソコン	HP250RG9/CT 9R4K9AV-AAEC	4	145,200	580,800	
除雪機	ホンダ SB800JVT	1	261,800	261,800	施設管理用
剥製	ハクビシン	1	143,000	143,000	博物標本・展示用
大型プリンター	SC-P95550PS	1	1,067,000	1,067,000	
プラネタリウム番組	「台風 天体が生み出す大気の渦」	1	3,190,000	3,190,000	
標本庫	施設付標本庫・台座	1	245,269	245,269	地学標本用
レプリカ	エノキタケ	1	133,870	133,870	博物標本・展示用
レプリカ	オサムシタケ	1	133,870	133,870	博物標本・展示用
レプリカ	ツチカブリ	1	124,960	124,960	博物標本・展示用
展示バーチャルデータ	R6夏期企画展	1	561,000	561,000	企画展デジタルアーカイブ用
展示バーチャルデータ	R7春期企画展	1	561,000	561,000	企画展デジタルアーカイブ用
合計 (税込額)				7,567,459	

※償却資産は、取得単価10万円以上の物品(決算書上は固定資産に分類)。

(2) 県に帰属する物品は島根県会計規則に基づいて管理を行った。

(3) 廃棄した物品は次のとおりである。

□ 令和6年度廃棄物品 (県有備品)

備品番号	備品名	規格等	数量	配置場所	備考
1-1-5 32	冷蔵庫	ナショナルNR-B22T1	1	三瓶自然館	
1-2-5 243	ノートパソコン	NEC VersaProタイプVL	1	三瓶自然館	

## Ⅲ. 地球環境の保全に関する活動支援事業

### 1. 事業概要

当財団は、島根県の豊かな自然環境を守り、自然と調和した持続可能な地域づくりを進めるために、2015年に国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」を念頭に置いて、地球環境保全に関する普及啓発を行ってきた。そのため、行政組織や教育機関をはじめ、様々な地域課題の解決に自ら率先して取り組むNPO法人や任意団体、各種ボランティアなどを支援する中間支援組織として、多様な主体との協働を進め、活動の充実を図った。

また、2001年には島根県知事より島根県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受け、これまで地球温暖化対策に取り組んできた。2015年のパリ協定の発効を受け、国が進める温室効果ガス削減目標の達成に向けて、県民一人ひとりに脱炭素・循環型社会の実現につながる意識や行動の変化を促すため、様々な主体と協働・連携しながら活動を進めた。

### 2. 各事業の詳細

#### (1) 家庭向け地球温暖化対策事業

##### ① しまねエコライフ推進会議(地球温暖化対策地域協議会)生活部会の運営

概要：県地球温暖化対策協議会生活部会の事務局として、県民に生活の中で取り組む脱炭素・循環型社会の実現に向けた環境配慮行動を推進すべく、参加団体の活動について情報共有を行い、今後の連携を確認した。

実施日：3月25日(火)

場所：島根県市町村振興センター3階 特別会議室

参加団体：環境とエネルギーを考える消費者の会、島根県連合婦人会、島根県地球温暖化防止活動推進員、NPO法人コアラッチ、グリーンコープ生活協同組合(島根)

内容：生活部会新体制の概要説明と財団の事業説明、参加団体の活動情報共有

##### ② 親子で取り組む環境活動促進

未就学児や児童とその保護者に対して、親子で簡単に取組むことができるメニューを提供することにより、未来を担う子どもだけでなく、その親世代や祖父母世代といった幅広い年齢層へ持続可能な社会の重要性やゼロカーボンを認識してもらうプログラムを実施した。

##### □ 親子で取り組むワークシート

期間：4月～2月

実施園：83園(参加園児数：1,935人、ワークシート回収数：807枚)

削減量：2,621 kg-CO<sub>2</sub>

概要：幼稚園児、保育園児とその保護者がカーボンニュートラルについて関心を持ち、家庭で自発的に取り組んでもらえるよう「しまねっこチャレンジ」ワークシートを制作し、希望する幼稚園及び保育園に配布した。各園で実施したワークシートを回収し、その取組結果を表彰(園には賞状、取組園児には感謝状

と粗品)することでフィードバックプログラム参加への満足感を高めた。

#### □幼・保育園向け親子で取り組むミニエコ講座

期 間：4月～2月

実 施 園：79園(参加者数：1,591人)

スタッフ：島根県地球温暖化防止活動推進員(以下、推進員)、財団職員

概 要：県内の全幼稚園・保育園を対象に、希望があった園でミニエコ講座を実施した。今年度は例年を大幅に超える申し込みがあった(約30園の増)。講座では、環境負荷低減につながる行動の絵本等の読み聞かせの後、各自で布製のバッグに絵を描き自分だけのマイバッグを製作したり、資源ごみ釣りゲームを行うなどして、ごみのリサイクルについて体験を通した啓発を行った。ミニエコ講座を体験した園の先生や園児の保護者等から夏休み中の学童保育等で実施の希望があり、4か所で同様の活動を行った。

#### □小学生向けの取組

概 要：松江市・出雲市・浜田市が、小学生等を対象として独自に実施する家庭向け省エネワークシート事業を支援するため、脱炭素につながる具体的行動やCO<sub>2</sub>削減量データなどワークシート作成に必要な情報の提供を行った。

#### □ゼロカーボンチャレンジブック授業

期 間：10月～1月

実 施 校：出雲市立遙堪小学校(1クラス17人)、大田市立大田小学校(3クラス80人)  
松江市立大野小学校(1クラス10人)、浜田市立長浜小学校(2クラス42人)

講 師：島根県地球温暖化防止活動推進員3名、財団職員

概 要：子どもたちが冬休みに家庭でワークブック「しまねゼロカーボンチャレンジブック」に取り組めるよう、家庭での取組み前に事前授業、取組み後に事後授業を行うことで、学習効果を補強するとともに環境配慮行動の定着を図った。

#### □ゼロカーボンチャレンジブック事業勉強会

実 施 日：8月22日(木)

場 所：島根県立男女共同参画センター あすてらす 研修室3(大田市)

参 加 者：推進員8名

概 要：「しまねゼロカーボンチャレンジブック」を用いた児童向け講座の内容について、変更点と授業内容について協議した。

#### □ゼロカーボンチャレンジブック事業振返会

実 施 日：3月4日(火)

場 所：ビッグハート出雲 茶のスタジオ(出雲市)

講 師：広瀬和代氏、深水敦子氏(認定NPO法人気候ネットワーク)

参 加 者：推進員10名

概 要：今年度のチャレンジブック授業の取組み内容を、講師として参加した推進員から発表。広瀬氏と深水氏からは、島根県での取組みのヒントとなるよう京都の事例を紹介いただき、参加者で来年度に向けた改善点について話し合った。また講師からは児童への接し方についてあらためて説明を受けた。

### ③学校等を対象とした環境教育プログラム

学校教育や社会教育の現場において環境教育プログラムのニーズが高まることを想定し、幅広い年代を対象に気候変動やSDGsをテーマとした環境教育プログラムを実施した。

#### □気候変動ミステリーの実施

参加者：67名

講師：葭矢崇司(財団職員)

概要：気候変動について、コミュニケーションを取りながら、複数の事象を結びつけて、主体的に理解できるプログラムである気候変動ミステリーを多様な世代を対象に実施した。気候変動ミステリーに加えて、地球環境や気候変動についての講義や事後授業を行うなど、より理解が深まるように配慮するとともに、発達段階や興味関心に応じて、プログラムに補足的な内容を加えるなどの工夫も新たに行った。

実施日	対象	人数	備考
6月11日	島根大学建築デザイン学科 建築環境実験受講生	21	7月2日にカードゲーム「2050カーボンニュートラル」を実施
7月 3日 10日	松江市立大野小学校 5,6年生	10	10日にまとめと発表を実施
11月13日 14日	浜田養護学校高等部 2年生	20	13日に気候変動ミステリー、14日に事後授業を実施
11月21日 1月26日	Nacs-J自然観察指導員	16	講義を含め、同内容を2回実施

#### □カードゲーム「2050カーボンニュートラル」の実施

参加者：317名

講師：葭矢崇司(財団職員)

概要：カーボンニュートラルをどのように地域で実践し、地域脱炭素化を実現するか、グループワークを行いながら、体験的に理解できるプログラムであるカードゲーム「2050カーボンニュートラル」を様々な団体を対象に実施した。

実施日	対象	人数	備考
4月27日	島根大学地域人材育成コース 学生	72	
5月24日	島根県環境生活部 職員	24	
7月 2日	島根大学建築デザイン学科 学生	17	6月11日に「気候変動ミステリー」を実施
8月21日	島根県メンター、メンティー	19	
10月30日	山陰合同銀行 行員	26	
12月12日	横田高校 2年生	26	
3月12日	出雲商業高校 2年生	65	
3月18日	出雲商業高校 2年生	68	

#### □安来市小学生環境学習

実施日：6月13日(火)～7月7日(金)(8回実施)

場所：さんそ学習館ケイオス(安来市)

対 象：安来市内の小学校4年生

参 加 者：295名

講 師：葭矢崇司、野崎研(財団職員)

概 要：安来市で実施している小学生向けの環境学習の一環として、安来市の「さんそ学習館」と連携し、地球温暖化について講義を行った。

実施日	対 象	人数	備 考
6月 4日	十神小学校	61	
6月 7日			
6月11日	広瀬小学校	35	
6月13日	飯梨小学校、布部小学校、安田小学校	34	3校合同
6月17日	宇賀荘小学校	19	
6月21日	能義小学校、荒島小学校	38	2校合同
6月24日	社日小学校	36	
6月25日	島田小学校	28	
6月27日	赤江小学校	44	

#### □松江養護学校安来分校の環境学習の支援

実 施 日：9月12日(木)

学 校 名：県立松江養護学校安来分教室(安来市)

参 加 者：17人

講 師：野崎研(財団職員)

概 要：生徒を対象に、3R(スリーアール)の実践例として調理くずの減量及び堆肥化を学ぶ授業を行った。容器に床土、ミミズコンポスト、野菜くずを入れる作業を教員、生徒と共に体験する内容とした。

#### □博物館、水族館と連携した学校向け環境学習

対 象：大田市立大田小学校 4年生

参 加 者：75人(のべ300人)

講 師：葭矢崇司(財団職員)、星野由美子(三瓶自然館サヒメル)

山口慶子(しまね海洋館アクアス)、梶谷恵美(しまね海洋館アクアス)

概 要：小学校の総合的な学習の時間に、SDGsの複数の目標につながるテーマを分野横断的に学べるプログラムを提供するため、しまね海洋館アクアスや三瓶自然館サヒメルと連携して、環境学習プログラムを企画した。学校の要望により、SDGsの目標のSDG14「海の豊かさを守ろう」、SDG15「陸の豊かさを守ろう」に焦点をあて、身近な自然環境や地球環境における生態系のつながりを知り、自ら自然環境を守る方法を考え、行動を促す一助とするため、一連のプログラムを実施した。

実施日	内 容	講 師
9月 4日	SDGsって何だろう？	葭矢崇司
9月12日	陸の生きもののつながりを感じてみよう！	星野由美子、葭矢崇司
9月20日	海の生きもののつながりを知ろう！	山口慶子、梶谷恵美、葭矢崇司
9月24日	私たちにできることって何だろう？	葭矢崇司、梶谷恵美、星野由美子

#### □益田市クールチョイスアンバサダー事業の支援

対 象：益田市立都茂小学校5, 6年生

参 加 者：11名(のべ33名)

講 師：葭矢崇司(財団職員)

連携団体：益田市環境衛生課、益田市地球温暖化対策地域協議会

概 要：益田市が実施する「クールチョイス事業」の一環として、益田市長が小学生を地球温暖化の伝道師として認定する「益田市クールチョイスアンバサダー」の支援を行った。毎年、益田市内の小学校1校を対象に、児童が主体的に地球温暖化について学び、伝える、地域に活動を広げていく取り組みを実施した。実施にあたっては、学習プログラムの企画・運営を行った。また、学習プログラム実施にあたっては、財団職員がコーディネータとして支援するとともに、講師となって授業を行った。

実施日	内 容
9月19日	第1回講座「地球ひとつ分の暮らしとは?」
10月7日	第2回講座「作戦会議!私たちにできること」
11月26日	成果発表会

#### □浜田市教育委員会生活部会研修会

対 象：小学校教員

場 所：山村開発センター・みどりかいかん(浜田市)

参 加 者：6名

講 師：葭矢崇司(財団職員)

テ ー マ：SDGsと3R

概 要：学習指導要領の改訂にともない小学校のカリキュラムに組み込まれるようになったSDGsについて、基礎的な知識を解説を行った。また、4年生で学習する3RとSDGsの関連について、簡単なプログラムを体験しながら、授業での活用について講義を行った。

## (2)地球温暖化防止活動推進員の支援

令和6年12月に第12期の島根県地球温暖化防止活動推進員(以下「推進員」という)が島根県知事より委嘱を受け、現在34名(令和7年3月31日)が県内各地域で活動を行っている。

地球温暖化対策の推進に関する法律(平成十年法律第百十七号)第38条第1項の規定に基づき地球温暖化防止活動推進センターの指定を受けている当財団では、同法に基づき推進員の資質向上のための研修の企画・実施を行うとともに、推進員への支援及び協働・連携し温暖化防止活動を行った。

### ①推進員の能力向上

推進員の活動に必要な資質や知識、スキルの向上を図るため研修を実施した。実施にあたっては、ワークショップや新たなツールの紹介など多様な内容とし日頃の活動に役立つよう工夫した。

#### □第1回研修

実 施 日：7月19日(金)

場 所：アースサポート株式会社(松江市)

実施内容：①視察 太陽光パネルリサイクル事業の視聴と意見交換

講師：西村圭介(アースサポート取締役管理本部長)

場 所：松江テルサ中会議室(松江市)

実施内容：②講演 「早わかり!太陽光発電のこれまでとこれから」

講師：梅 伸夫(しまね環境アドバイザー)

参加者：14名(推進員11名・行政3名)

概 要：島根県内では初の廃太陽光パネルのリサイクル施設を持ち、適正処理を行う(株)アースサポート社の事業の概要説明を受け、施設の見学を行った。また梅講師からは太陽光発電のこれまでの歴史と仕組み、また太陽光パネルの循環サイクルが確立されることが脱炭素社会の実現につながることなどを学んだ。

#### □第2回研修(島根県地球温暖化防止活動推進員養成研修及び推進員研修)

実施日：11月24日(日)

場 所：島根県立男女共同参画センター あすてらす 研修室1(大田市)

講 師：石川博康氏(山陰放送株式会社・気象予報士)

講 演：「気象予報士が見た気候変動と身近な影響」

参加者：13名(推進員11名 行政2名)

概 要：推進員養成研修は推進員となるための要件となっており、研修受講をもって推進員に委嘱される。新規の申込者で当日参加できなかった方には、研修の録画動画の視聴とその感想の提出により受講されたこととし、委嘱を行った。また、講座では、今後は、冬期においても「ゲリラ豪雪」の可能性があるなど、暑さだけではなく気候変動の影響等についての講義を受けた。

#### □第3回研修

実施日：2月19日(水)

場 所：くにびきメッセ 601大会議室(松江市)

講 師：木原浩貴(京都府地球温暖化防止活動推進センター副センター長)

講 演：「脱炭素型のステキな暮らしや地域に伝える工夫」

参加者：18名(推進員11名 行政7名)

概 要：地域で活動する推進員が地域の方に理解され、いかに周りの人を引き込んで、浸透させていく取組みができるか、その手法について、京都府センターの取組みの具体例の紹介と効果的な伝え方を学ぶ研修を行った。研修では実際にゲームを使い、楽しみながら考えたり、行動するきっかけを作る実践的な手法を学んだ。

## ②推進員の活動支援

県内で活動する推進員が連携し、地域での温暖化防止活動を主体的に企画・実施できるよう、推進員のネットワーク化(グループ作り)と活動支援を行った。

#### □グループ間の情報共有

実施内容：サポーターズ連絡会の実施

活動グループ：地域グループ(松江・出雲・大田・浜田・奥出雲・津和野)

連絡会の実施：第1回 実施日：5月30日(木)

内 容：地域グループの企画書について

・奥出雲地区「省エネ、循環型社会、豊かな自然環境の保全と啓発」

- ・出雲地区「ごみの減量化・再資源化勉強会」他
- ・大田地区「幼保、小学校の環境学習と森林保全活動」

第2回 実施日：3月21日(金)

内 容：地域グループの実施報告

- ・松江地区「松江環境市民会議との活動」等
- ・出雲地区「講演会・防災とエコストーブ」等
- ・浜田地区「はまだエコライフ推進隊との活動」等

地域グループの活動の現況と活性化についての意見交換

概 要：より地域に密着した温暖化防止活動を促進するため、「しまねエコライフサポーターズ連絡会」で情報共有を行い、推進員の連携を促した。

#### □グループによる活動

実施内容：①松江市内小学校での省エネチャレンジシート活動への協力、まつえ環境市民会議事業への協力(松江市)

②町報への毎月の普及啓発コラムの寄稿・掲載、文化祭への出展(奥出雲町)

③生ごみの減量化・再資源化の勉強会、出雲西高校インターアクト部との海岸清掃(出雲市)

④保育園でのミニエコ講座(大田市)

⑤保育園でのミニエコ講座、浜田市から依頼された児童クラブや公民館でのミニエコ講座の実施(浜田市)

⑥保育園でのミニエコ講座の実施(津和野町)

概 要：地域に密着した温暖化防止活動を行うため、推進員が地域別やテーマ別にグループを構成し、連携することで主体的に活動を企画・実施した。活動にあたっては、各グループが企画書及び予算書を作成し、連絡会で情報共有などを行い活動を実施した。当財団は、事務局として経費の執行や事務処理等を行うとともに、活動へのアドバイスなども行いグループの円滑な活動を支援した。

### ③しまエコユースサポーターの活動支援

若年層による普及啓発効果を期待し、多様な世代との活動の連携を促進すべく設置されたしまエコユースサポーターに登録している3団体に名簿の更新を依頼し、制度の活用を呼びかけた。

登録団体：島根大学環境委員会、島根大学エコロジー・ネットワーク、島根県立大学環境倶楽部「しまえっこ」

## (3) 家庭の省エネ促進支援

### ①住まいの省エネ推進事業

新築や既築住宅の断熱・気密性能の向上や、住宅への省エネ家電や再エネ設備の導入により、民生家庭部門における大幅な脱炭素化を促すため、建築業界や消費者に向けて情報発信や意識啓発を行った。

また、各家庭においてエネルギー消費の見える化と効果的な削減を促すため、家庭向け省エネ診断の普及と診断支援を行った。

#### □「健康で快適な家づくりセミナー(事業者と意見交換)」

実施日：4月24日(水)

場 所：益田市立市民学習センター(益田市元町11-26)

参加者：18名

- 実施内容：①情報提供 これからの健康・省エネ住宅について  
講師：坪倉菜水氏(島根県建築士会)
- ②情報提供 益田市スマート・ヘルスケア推進事業について  
岩本 香奈子氏(益田市健康増進課)
- ③情報提供 建築物省エネ法 改正法制度について  
金築慶子氏(島根県建築住宅課)
- ④意見交換 健康で快適な家づくりについて  
コメンテーター：坪倉菜水氏(島根県建築士会)  
進行：葭矢崇司(財団職員)

概要：主に県内の住宅業界関係者を対象に、改正建築物省エネ法による省エネ対策の加速化にあわせ健康で快適な省エネ住宅の普及を進める方法について意見交換し、直接住まいの断熱に関わる方々の意識改革を促した。

#### □「健康で快適な家づくりセミナー(心地よいエコハウスのつくり方)」

実施日・場所：11月4日(月・祝) 益田駅前ビルEAGA(益田市)  
11月5日(火) 雲南市木次経済文化会館(雲南市)

参加者：45名

- 実施内容：①講 演 心地よいエコハウスのつくり方  
講師：辻 充孝氏(岐阜県立森林文化アカデミー)
- ②意見交換 心地よいエコハウスについて～疑問質問  
アドバイザー：坪倉菜水氏、宇田川孝浩氏、松倉慎治氏(島根県建築士会)  
進行：葭矢崇司(財団職員)
- ③実 習 結露の計算方法について  
講師：辻 充孝氏(岐阜県立森林文化アカデミー)

概要：主に県内の住宅業界関係者を対象に、断熱等級6以上の住宅を提供するため、パッシブデザインを取り入れた住まい心地が良く省エネ性能が高い住宅の設計や施工例などを紹介し、直接住まいの断熱に関わる方々へ実践を促した。

#### □「健康で快適な家づくりセミナー(動きたくなる家と健康)」

実施日：2月17日(月)  
場 所：雲南市役所(雲南市)  
参加者：35名

- 実施内容：①講 演 動きたくなる家と健康  
講師：小熊 祐子氏  
(慶應義塾大学スポーツ医学研究センター)
- ②事例紹介 住み続けられるいえを提案する  
講師：坪倉菜水氏(島根県建築士会)
- ③意見交換 健康になれる家づくり  
進行：北湯口純氏(身体教育医学研究所うなん)  
坪倉菜水氏(島根県建築士会)  
宇田川孝浩氏(島根県建築士会)

概要：主に県東部の住宅業界・健康分野関係者を対象に、断熱住宅のメリットや健康との関わり、健康に配慮した住宅リフォームの在り方などを周知し、住まいの断熱性能向上に向け、分野を超えて情報交換を行いそれぞれに意識改革を促した。

### □学校の教室断熱プロジェクト

参画団体：おおだ未来づくり会議、渡邊建築工房株式会社、縁パワーしまね、公益財団法人しまね自然と環境財団

協力：大田市教育委員会、大田市環境政策課

会議：計6回開催

概要：学校の教室へのエアコンの導入が進む中、断熱化されていない教室のエネルギー消費を抑えるとともに、よりよい学習環境を確保し、気候変動対策の一助とする学校の教室断熱プロジェクトが全国で広がりを見せている。島根県においても同様の取組みを進めるため、おおだ未来づくり会議が主体となり、プロジェクトを立ち上げた。当財団も気候変動対策の一環として、住宅を始めとした建築物の断熱を進めるため、本プロジェクトに参画した。プロジェクトでは、地域住民や民間の企業などが学校と連携し、学校の教室をワークショップ形式で断熱施工を行うことをめざし、大田市教育委員会や大田市環境政策課と連携し、候補となる小学校を選定し、学校との協議を重ねた。

### □うちエコ診断士のフォローアップ研修

実施日：5月17日(金)

実施場所：100満ボルト松江店(松江市)

講師：100満ボルト社員 2名

参加者：うちエコ診断士 6名 松江事務所職員 1名 県環境政策課職員 2名

概要：うちエコ診断を円滑に実施し、診断技術の向上を図るため、うちエコ診断実施事務局(エコサポしまね、コアラッチ)に登録している診断士を対象に、家電量販店に出向き、太陽光、冷蔵庫、エアコンなど省エネにつながる機器について最新の状況や、消費者の動向について、担当社員より直接説明を受けた。

### □うちエコ診断の広報

概要：うちエコ診断を広く県民に周知し、受診者拡大を図るため、WEB版うちエコ診断について説明したチラシ等をイベント等で配布した。

### □島根県委託によるうちエコ診断業務の実施

実施件数：41件

場所：2市3会場(松江市、出雲市)

削減量：144,462 kg-CO<sub>2</sub>/年(一世帯あたり、約13,132.9 kg-CO<sub>2</sub>/年・世帯。但し、事後調査の回答を得た11件によるもの。)

診断士数：4名

概要：県環境政策課、各市環境担当課等と連携して受診の機会を設け診断を実施した。受診者には、診断結果に基づき対策の提案を行うとともに、事後調査を実施し、対策状況を把握した。

### □飯南町委託によるうちエコ診断業務の実施

実施件数：14件

場所：3会場

削減量：36,874.34kg-CO<sub>2</sub>/年(一世帯あたり、約2,836.48kg-CO<sub>2</sub>/年・世帯。但し、事後調査の回答を得た13件によるもの。)

診断士数：1名

概要：飯南町エコリフォーム補助金申請者に対し、町の依頼を受け診断士を派遣し

診断を行った。診断結果に基づき対策の提案を行うとともに、事後調査を実施し受診者の対策状況を把握した。

## ②デコ活セミナーの実施

脱炭素社会の実現に必要なライフスタイル転換(「省エネ行動」「製品等の買い換え」「再生可能エネルギーの導入」)など、地球温暖化対策につながる「賢い選択」を広く県民に知っていただくため、「デコ活セミナー」を県内市町村及び地球温暖化対策地域協議会と連携し実施した。

### □地球温暖化啓発パネル展

実施期間：11月14日(木)～28日(木)

場 所：出羽公民館(邑智町)

概 要：地球温暖化の現状の解説、次世代自動車や省エネ住宅など地球温暖化防止活動を紹介した啓発パネル等を、県内の各施設に掲出した。

### □エコドライブセミナー

実施日：10月27日(日)、11月9日(土)～10日(日)

場 所：安来市役所、出雲ドーム(出雲市)

概 要：エコドライブシミュレーターを用い、燃料の無駄を抑える運転方法を学び体験できるセミナーを開催した。

## (4)市町村事業の支援

市町村温暖化対策担当課が、効果的に地球温暖化対策事業を実施できるよう事業の企画支援(相談・助言・協力)を行った。

### □市町村環境担当者へのヒアリング

対 象：安来市、松江市、出雲市、雲南市、大田市、江津市、浜田市、益田市、奥出雲町、飯南町、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町、隠岐の島町

概 要：各市町村と連携を密にし、地域における課題やニーズを把握するため、年度当初に16市町の環境担当課にヒアリングを行い、市町村支援の参考とした。特に「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」の対象事業や「地域脱炭素のための促進区域設定」に関する情報、地球温暖化対策実行計画の策定、改訂状況などについて聴取し、当財団の支援について提案を行った。

### □市町村環境担当者 テーマ別研修(高津川流域の取組)(県西部沿岸の取組)

対 象：大田市、江津市、浜田市、益田市、津和野町、吉賀町

実施日：8月20日(火)

場 所：江津ひと・まちプラザ(江津市)、津和野町役場本庁舎(津和野町)

参加者：16名

実施内容：①事例紹介 重点対策加速化事業で進める再エネ

講師：中尾幸夫氏(出雲市環境政策課)

②事例紹介 再エネ電気のリバースオークションに関すること

講師：野坂洋佑氏(益田市環境衛生課)

概 要：各自治体担当者を対象に、域内・市内で再生可能エネルギーを普及していく具体策について学び、連携可能な取組みについて意見交換した。

#### □エコ通勤・エコウォークチャレンジ

実施期間：6月～1月

対象：出雲市、雲南市の各職員

概要：各自治体職員向けの温室効果ガス排出削減取組として、自家用車利用以外の通勤方法を取り入れる「エコ通勤」の試行を呼びかけた。エコ通勤の実施にあたっては、両市が連携することで効果が高まるよう財団職員が支援した。

#### □エコドライブ推進にかかる啓発

実施日：10月27日(安来市)(益田市)、11月6日(大田市)、11月7日(浜田市)、11月8日(松江市)、11月9から10日(出雲市)、11月14日(邑南町)、随時(江津市、奥出雲町)

場所：松江市各支所公民館、出雲ドーム、イオン大田店、道の駅みずほ など

配布数：1,940部

協力団体：安来市、松江市、出雲市、大田市、江津市、浜田市、益田市、奥出雲町、邑南町、安来市地球温暖化対策地域協議会、まつえ環境市民会議、出雲市地球温暖化対策協議会、大田市地球温暖化対策地域協議会、江津市地球温暖化対策地域協議会、浜田市地球温暖化対策地域協議会、益田市地球温暖化対策地域協議会、奥出雲町地球温暖化防止対策地域協議会、邑南町地球温暖化対策地域協議会

概要：エコドライブの普及啓発及びエコドライブの実践によるCO<sub>2</sub>削減を目的とし、各市町地球温暖化対策地域協議会及び島根県地球温暖化防止活動推進員と協力し、県内の4市町で啓発リーフレットを配布するPR活動を行った。

#### □島根県内地方公共団体環境担当者研修の実施

実施日：2月25日(火)

場所：島根県庁講堂(松江市)

実施内容：講演「地域脱炭素のためのナッジを活用した普及啓発」  
ワークショップ「ナッジをわが町の施策に実装するには?」

講師：平山翔氏(株式会社住環境計画研究所)

参加者：20名

対象：市町村環境担当課職員、島根県地球温暖化対策協議会行政部会構成員

概要：地域脱炭素の実現に向けて、県民1人ひとりの脱炭素型ライフスタイルへの転換を目指し、行動変容を促す効果的な情報発信を行うため、行動科学の知見(ナッジ等)を活用した普及啓発の手法について学んだ。また、気候変動対策や省エネにナッジを実装するため、具体事例を学ぶとともに、ワークショップ形式で実装ためのプロセスを体験した。

### (5) 全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)との連携

全国センター(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット、平成22年8月設立)との連携に努め、中四国ブロックや他県センターとの共通事業への取組み、情報交換を図った。

#### □全国センター会議

実施日：6月25日(火)

場所：日本教育会館(東京都千代田区)

備考：オンラインにて参加

#### □全国連絡調整会議

実施日・場所：(第1回)4月18日(木)、オンライン開催

(第2回)10月16日(水)、AP市ヶ谷(東京都千代田区)

備考：オンラインにて参加

#### □中四国ブロック会議

実施日・場所：(第1回)7月11日(木)、TKPガーデンシティ岡山(岡山県岡山市)

(第2回)1月24日(金)、TKPガーデンシティ岡山(岡山県岡山市)

備考：第1回はオンライン、第2回は会場参加

## (6)複数の情報媒体を活用した情報発信

生活者の価値観・ライフスタイルの多様化が進む中、県民一人ひとりが生活の中で自分のライフスタイルに合った脱炭素にも繋がるアクションを具体的に実践できるよう、さまざまな世代や思考を踏まえた多様な手段を用いた情報発信を行った。

発信にあたっては、「エシカル消費」、「SDGs」、「丁寧な暮らし」等を啓発のテーマとし、地域や風土に根ざし、地域の自然資源を活用した暮らしを実践する人のライフスタイルを紹介した。その人の取り組みや環境に対する考え、未来の地域への思いを引き出すことで、県民に自分らしく脱炭素にも繋がる暮らしに興味を持ってもらえるよう努めた。

また、幅広い年齢層の県民に、楽しみながら脱炭素に繋がる活動を行う機会を提供するため、県内でも比較的規模が大きなイベントに出展しワークショップを行った。

### ①SNSを用いた情報発信

情報が届きにくい対象者への発信力を高めるため、FacebookやXなどSNSを活用し、県内外の環境情報を発信した。

実施数：週1回程度(Facebook)、週1～2回程度(X)

概要：当財団が実施する環境事業や地域・企業が行うゼロカーボンアクション、暮らしの中で実践できるエシカル消費や島根県の四季を感じる情報等についてわかりやすく発信した。

### ②WEBコラムによる情報発信

脱炭素社会の実現に繋がる「エシカル消費」や「SDGs」、個人の多様な価値観やライフスタイルをもとに、地域に根ざした暮らしや地域活動を行う人物を取材し、取り組みや環境に関する考え方、未来の地域に対する思いを紹介したWEBコラムを制作し、SNSやHPなどで発信した。また、コラムには活動に関連するSDGsの関連するアイコンを掲載し、地域における持続可能な取り組みへの関心が高まるよう工夫した。

タイトル：「しまねを楽しみ、未来へ繋ぐコラム」 テーマ：循環

内容	取材先
次世代にリレーできる小さな「循環型農業」 コージーテラス 小松原さん	CozyTerrace(コージーテラス) 小松原幸二(こまつばら こうじ)氏(出雲市)
自由に歩く「牛がつくる風景」と循環 ダムに見える牧場 大石さん	ダムの見える牧場 大石亘太(おおいし こうた)氏(奥出雲町)
日本建築の伝統の延長線上に新しい文化をつくる 「解く」守山さん	株式会社 エブリプラン 守山基樹(もりやま もとき)氏(松江市)

### ③ケーブルテレビ・オンライン配信用番組の制作

#### □しまねFuture2030

タイトル：しまねFuture2030 第10回 自由に歩く「牛がつくる風景」と循環

出演：大石亘太氏(ダムの見える牧場)

配信方法：ケーブルテレビ、エコサポしまねのYouTubeチャンネル内で配信

内容：牛を舎に繋がず自由に歩かせる「放牧酪農」を行う大石氏の取り組みを映像で紹介することで、近年注目されるアニマルウェルフェア(動物福祉)や、地域産飼料の活用、牛糞堆肥の循環、放牧による輸入飼料の抑制と里山の景観保全、地域の観光資源の創出等、牛から地域・家庭・未来に広がる循環の様子を紹介した。

### ④紙媒体を用いた情報発信

発行部数12,000部、毎号8割以上の売り上げ実績があり地域性の高い雑誌「さんいんキラリ」に「フェアトレード」や「バードフレンドリー」等の認証を取得した珈琲豆を扱う「ナマケモノ珈琲」(浜田市)を紹介する記事広告を掲載した。雑誌のメインターゲットである30代以上の女性を中心に、環境や社会に配慮して作られた商品を選ぶことで、たった1杯の珈琲からでもより良い未来に繋がることを紹介した。

掲載誌：さんいんキラリNo. 57(有限会社グリーンフィールズ発行)

内容：しまねを楽しみ 未来へ繋ぐ 第7回

取材先：「ナマケモノ珈琲」中村聡(なかむら あきら)氏

### ⑤実践活動の機会提供

幅広い年齢層の県民に、楽しみながら脱炭素に繋がる活動を実践する機会を提供するため、県内でも比較的規模が大きなイベントに出展し、ワークショップを行った。

#### □「次世代のためにはじめよう!脱炭素アクション2024」工作コーナーの運営

三瓶のまつぼっくりでミニクリスマスツリーをつくろう

イベント名：次世代のためにはじめよう!脱炭素アクション2024(いずれも産業未来博同時開催)

期間：11月9日(土)・10日(日) 10:00~16:00

場所：出雲ドーム(出雲市)

対象：一般県民

主催：島根県

WS参加者：150人

概要：イベントの運営を行う山陰中央新報社から依頼を受け、工作コーナーにて「森と脱炭素」を大きなテーマに、三瓶山北の原キャンプ場エリアで採集したまつぼっくりを使用したクリスマスツリーづくりを実施した。参加者に森林の二酸化炭素を吸収する役割を紹介すると共に、可能な限り天然素材の材料を揃えることで暮らしの中で実践できる脱プラスチックを呼びかけた。

(参考)イベント総来場者数：16,500人

#### □しまねの冬を楽しむエシカルワークショップ

益田市の「みつろう」で万能クリームづくり 開催

イベント名：益田市の「みつろう」で万能クリームづくり

期間：12月15日(日) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00

場所：Fruit moritani(益田市)

対象：一般県民

WS参加者：22名

概要：益田市で「エシカル」をテーマに養蜂を行う「空水土(クーミード)」副代表 石田樹

理氏を講師に招き、脱炭素社会の実現にも繋がる「エシカル消費」の基礎講座を行った。ミツバチの生態から気候変動を始めとする環境問題を紹介し、益田市産の蜜蝋を使用した保湿クリームを作ることで、各自が今後実践する「マイエシカル」について考える機会を提供した。

#### □春のBSSまつり

##### かんなくずのボンボンづくり

イベント名：春のBSSまつり

期 間：令和7年3月15日(土) 9:30～16:00

場 所：くにびきメッセ大展示場(松江市学園南1丁目2-1)

対 象：一般県民

主 催：株式会社山陰放送

WS参加者：100名

概 要：主に島根県産の木のかんなくずを使用したボンボンづくりのワークショップを行い、木の香りや手触りを楽しみながら、脱炭素社会の実現にも繋がる地域の木の活用や森林資源の循環について考える機会を提供した。また、先着35組に島根県防災危機管理課より提供された「災害救助用クラッカー」を配布することで、気候変動により増える自然災害への備えとフードロスの削減について呼びかけた。これらの取り組みをイベントのテーマ「世界陸上」に併せて世界陸上財団が開催に掲げる環境配慮「使い捨てプラスチックの削減」、「3Rの推進」、「フードロスの削減」と関連づけて紹介した。

(参考) イベント総来場者数：14,000人

## (7) 脱炭素アクションの創出 再エネ広報

地球温暖化対策として脱炭素を加速させるためには、行政や企業だけでなく県民一人ひとりの取組、行動変容が不可欠である。県民が脱炭素を「知る」「理解する」だけにとどまらず、脱炭素アクションの一步を踏み出すため「再生可能エネルギー(再エネ)」について理解し、生活の中に取り入れることが必要である。

今年度は家の住み替えや新築により、再エネ設備を導入する機会がある20～40代の一般県民をメインターゲットに、再エネの認知度と印象を向上させ、生活の中での活用を促すために、再エネの基本情報をまとめて紹介する内容のWebコラムとショート動画を制作し、Instagram・Facebook・YouTube広告を使用した広報を行った。

### ①Webコラム、ショート動画の制作

「脱炭素＝我慢」というイメージを変え、敷居が高い印象のある再エネを「自身の暮らしを豊かにする手段の一つ」として生活の中に取り入れることを促すため、大きく3つのテーマから再エネの基本情報を簡易に紹介するWebコラムを3本、関連ショート動画を6本制作した。

コラムタイトル	ショート動画タイトル	取材先・内容
特別連載1 「再生可能エネルギーとは？」をまるっと解説	1-① 謎多き「再エネ」のキホン	再エネの特徴や概要をまとめて紹介
	1-② ほとんどの人が知らない!? 再エネのキホンクイズ!	
特別連載2 これからの家の主流!? 島根発の「再エネ住宅」ルームツアー	2-① これからの主流!? 再エネハウスRoomtour	美郷町が運営する再エネ設備を装備した家「みさと。サステナブルハウス」の様子を紹介
	2-② 再エネハウスのとある休日編	

特別連載3 再エネ、実は新しくない!? 島根「最古の再エネ」見に行ってみた!	3-① 島根「最古の再エネ」行ってみた!	島根県最古の水力発電「窪田発電所」 (出雲市)の様子を紹介
	3-② 島根の「再エネフォトスポット」	

## ②SNS広告を使用した広報

制作したコラムやショート動画がより多くの県民の目に留まるよう、「Instagram」、「Facebook」、「YouTube」の広告機能を利用した広報を行った。ターゲットは島根県全域の10～50代男女とし、広告にはSNSのデザインを考慮して上記動画のうち1-②、2-①、3-②を使用した。

## (8) 自動車販売店等と連携した次世代自動車の普及

温室効果ガス排出削減に向け、ガソリン車等からの転換を図る次世代自動車(EV等)に不可欠な充電器等に注目し、様々な充電方法や公共の充電器を利用する場合の注意点等に関する情報発信を行った。

### □学習会「まだ早い!? EVを選ぶためのヒント」の実施

実施日：8月7日(水)

場 所：オンライン

参加者：13人

実施内容：①意見交換 EV&充電器の基本と検索サイト

講師：宗像佑典氏(株式会社ゴーゴーラボ 代表取締役)

②意見交換 EV等の普及を進める次の一手とは?

進行：野崎研(財団職員)

概 要：中国四国ブロックの各地球温暖化防止活動推進センター担当者を対象に、EV等の普及に関する課題や取組アイデアについて意見交換した。

### □ワークショップ「EV等の普及を進める情報交換」の実施

実施日：10月11日(金)

場 所：くにびきメッセ601会議室(松江市)

参加者：自動車販売担当者、自治体担当者 計14人

実施内容：①情報提供 自宅充電の仕組みと導入例

講師：原田湧悟氏(東洋ソーラー株式会社)

②情報提供 外出先充電の手順とこれから

講師：窪田明弘氏(ENEOS株式会社)

③意見交換 「EV充電器」×「みんなのもやもや」

進行：葭矢崇司(財団職員)

概 要：日本自動車販売協会連合会島根県支部と連携し、自動車販売担当者と自治体担当者向けにEV等に関する主に充電に関する基礎知識を提供・共有し、EV普及に向けた手法の可能性について意見交換した。

### □チラシ「Let's EVあるあるQ&A」の作成と配布

発行部数：8,000枚

配 布 先：各市町村担当課、島根県地球温暖化防止活動推進員、県内の各自動車販売店、道の駅等

内 容：EV等に充電する方法について親しみやすいイラストを用いたQ&A方式で解説するチラシを作成し配付した。

## □動画「Let's EV充電」の配信

タイトル：Let's EV充電

配信方法：エコサポしまねのYouTubeチャンネル内で配信

再生時間：5分59秒

内 容：これからEVを検討する自動車ユーザーに向けて、一番の疑問点である充電について、動画を用いた啓発素材を作成、エコサポHPで紹介した。動画では「お家で充電」「お出かけ前のプランニング」「出先で充電」「EV充電あれこれ」「充電ステーションのマナー」の各キーワード毎に実写などを交え簡潔にわかりやすいよう工夫した。

## (9) 地域の多様な主体との協働の推進

地域のニーズを踏まえた取組みを促進するため、地域の多様な主体と協働・連携をすすめ、行政や環境団体とともに、活動の企画・運営・支援等を行った。

### ①持続可能な地域づくりを考えるワークショップ

#### □SDGsカフェの実施

期 間：4月～3月(6回実施)

場 所：島根県立しまね海洋館アクアス(浜田市)

主 催：島根県立しまね海洋館アクアス

参画団体：公益財団法人しまね自然と環境財団、EPOちゅうごく、中国地方ESDセンター、浜田市環境課、一般社団法人イワミノチカラ

概 要：SDGsに取り組む各団体が連携し新たな活動の機会を創り出すことを目的に、活動の企画を行うワークショップを定期的に開催した。ワークショップの成果として、SDGオープンカフェやESDプログラムを企画し、カフェ参加者がスタッフとして、海の問題や気候変動問題をテーマとした地域版SDGsにつながる一般向けのプログラムを行った。

#### □トークイベント「あつうみ～あつまれ海のなかまたち」の実施

場 所：島根県立しまね海洋館 アクアス(浜田市)

講 師：梅野恭範氏(渡辺鮮魚店株式会社)

沖野晃氏(島根県水産技術センター)

福島利一氏(真和漁業生産組合)

佐々木俊和氏(写真家)

主 催：島根県立しまね海洋館アクアス

共 催：公益財団法人しまね自然と環境財団、EPOちゅうごく、中国地方ESDセンター、一般社団法人イワミノチカラ

対 象：一般県民

参加人数：56名

概 要：地域のSDGsについて、広く知る機会を提供するため、「SDGsオープンカフェ あつうみ～あつまれ海のなかまたち」と題して、トークイベントをシリーズで開催した。海に関わる仕事を生業としている様々な分野のプロを講師に招へいし、海の問題や気候変動問題をテーマとした地域版SDGsにつながる一般向けのプログラムを行った。当日は、中学生、高校生から海に興味のある一般市民、魚の小売業を営む方、漁業関係者など、幅広い年代と属性の方々の参加があった。

実施日	内 容	講 師	参加者
6月 9日	あつまれ うみのなかまたち	梅野恭範、沖野晃、 福島利一、 佐々木俊和	20
9月 1日	「いわみの海を食べる」を語ろう!	梅野恭範、沖野晃	22
1月19日	あんな魚 こんな魚 食べてみたらうまかった!!	梅野恭範、沖野晃	16

## ②持続可能な環境学習プログラムの協働実施

### □島根県環境教育ワーキングネット研修の実施

実 施 日：2月23日(日)

場 所：ホシザキ野生生物研究所(出雲市園町)

講 師：志賀誠治氏(有限会社人間科学研究所)

対 象：県内の環境教育を行う博物館、水族館等

参加人数：14名

概 要：アクアス、ゴビウス、サヒメルをはじめ、県内の環境教育プログラムを提供する団体のスタッフを対象に、環境教育を実施する上で重要な地球環境や生物多様性について知見を学び、地球環境について体系的に学ぶことができる共通の概念や視点を共有することで、島根県内で各団体が提供する環境教育プログラムを連携して企画、実践するための基盤づくりを行った。

### □イベント「おおだ自然エネルギーパーク2025」の実施

実 施 日：3月30日(日)

場 所：大田市民センター(大田市)

主 催：おおだ自然エネルギーパーク実行委員会

共 催：公益財団法人しまね自然と環境財団、大田市地球温暖化対策地域協議会、国立三瓶青少年交流の家

後 援：大田市、株式会社山陰合同銀行、縁パワーしまね

事 務 局：おおだ未来づくり会議

参加人数：130名(講演会110名、分散会20名)

実施内容：①講演会 テーマ：「人類は、何を失いつつあるのか」

講師：山極壽一氏(総合地球環境科学研究所 所長)

②分散会 テーマ：「山極壽一氏講演会を振り返って」

ファシリテーター：葭矢崇司

概 要：霊長類学者でゴリラ研究の第一人者である山極壽一氏を迎え、地球環境問題や人類社会のさまざまな課題について学ぶ講演会を実施した。講演では、人類とゴリラやチンパンジーなど他の霊長類の生態的特徴や社会性を比較するとともに、現代ではデジタル社会の発展によって、人類が共感を基盤としたコミュニケーションを喪失しつつあるなど、幅広い内容でご講演いただいた。

講演終了後、参加者の一部が集って分散会を開催し、講演会で話された内容について意見交換を行うとともに、私たちが未来に向かって何をすべきか、議論を行った。

### □三瓶小豆原埋没林公園との連携

実 施 日：9月30日(日)

場 所：三瓶小豆原埋没林公園(大田市)

対 象：一般県民

参 加 者：10人

テ ー マ：月イチガク「気候が変?どう?～気候変動の過去未来～」

概 要：三瓶埋没林公園において地理や地質など地学に関わるテーマについて学ぶ「月イチガク」の一環として、地史的な地球の気候変化と現在の気候変動にどのような関連や相違があるのか、わかりやすく学べる内容の講義を実施した。

#### □協働によるESDプログラムの実施

イベント名：釣ったらわかる いわみのSDGs

実 施 日：10月19日(土)

場 所：唐鐘漁港(浜田市国分町)

対 象：一般県民

主 催：いわみん実行委員会

共 催：公益財団法人しまね自然と環境財団、公益財団法人しまね海洋館、EPOちゅうごく、中国地方ESDセンター、一般社団法人イワミノチカラ、

概 要：地域におけるSDGsの実践として、身近な海の環境について知り、学び、体験するESDプログラムを協働で企画した。海を体験するアクティビティとして、魚釣りを通して、海の生物やその活用法、海ごみの現状やいかにして環境に負荷をかけずに自然と触れあう内容を盛り込んだイベントであったが、荒天により実施を見送った。

### ③その他団体等との連携および協力、支援

#### □EPOちゅうごくの支援・連携

概 要：地域における環境団体の協働・連携を進めるため、環境省が設置・運営する環境パートナーシップオフィスであるEPOちゅうごくと協力するため、運営委員として助言を行うとともに、島根県内でのSDGsやESD、地域循環共生圏に関わる事業について支援を行った。

### ④一般向け講師派遣

#### □川本町生涯学習講座

実 施 日：7月18日(木)

場 所：川本中央公民館(川本町)

対 象：川本町町民

参 加 者：18名

講 師：葭矢崇司(財団職員)

テ ー マ：SDGsの基礎講座～未来へのみちしるべSDGs～

概 要：SDGsの基礎や消費者としてSDGsを意識した消費行動を行う「エシカル消費」について解説した。

#### □出雲市生涯学習講座

実 施 日：9月28日(土)

場 所：出雲市役所(出雲市)

対 象：出雲市市民

参 加 者：30名

講 師：葭矢崇司(財団職員)

テ ー マ：今日からできるゼロカーボンチャレンジ!～未来のために今考えよう～

概 要：エネルギー価格の高騰に対応するために、費用対効果が高い省エネ対策について解説するとともに、根本的な対策となる省エネ住宅について、建築にあたってのポイントや省エネ効果を消費電力量や室温の測定データを元にわかりやすく解説した。

#### □奥出雲町地球温暖化対策地域協議会研修

実 施 日：10月26日(土)

場 所：雲州そろばん伝統産業会館(奥出雲町)

対 象：奥出雲町町民

参 加 者：10名

講 師：葭矢崇司(財団職員)

テ ー マ：光熱費の安い快適な家を建てた話し

概 要：住む人の健康や快適性を確保しつつ、光熱費などを押さえることで、地域の脱炭素化に寄与する省エネ住宅について、住宅建築にあたってのポイントや省エネ効果を消費電力量や室温の測定データを元にわかりやすく解説した。

### ⑥企業向け講師派遣

#### □カードゲーム「2050カーボンニュートラル」の実施(再掲)

参 加 者：69名

講 師：葭矢崇司(財団職員)

概 要：カーボンニュートラルをどのように地域で実践し、地域脱炭素化を実現するか、グループワークを行いながら、体験的に理解できるプログラムであるカードゲーム「2050カーボンニュートラル」を様々な団体を対象に実施した。

実施日	対 象	人数
5月24日	島根県環境生活部 職員	24
8月21日	島根県メンター、メンティー	19
10月30日	山陰合同銀行 行員	26

## (10) 環境に係る展示や出展・教材の貸出

県民に環境問題についての普及啓発を行うため、様々な団体が実施するイベントや展示会の機会を活用して、地球温暖化やごみ問題、身近なエコ活動など、さまざまな分野の環境学習資機材の貸出や啓発パンフレットの提供を行った。

#### □環境学習資機材の貸出

概 要：県民のニーズを考慮した環境学習資機材の整備等を図るとともに、希望する団体に年間を通じて貸出を行うことで、地域で行われるイベントや展示会で県民に環境問題について普及啓発を行った。

- ・資機材の貸出、啓発パンフレットの提供 ……18件
- ・貸出図書を購入 ……7冊
- ・環境教育ビデオの購入 ……1本
- ・貸出啓発機材の購入 ……1件
- ・配布用啓発物の印刷 ……1件

□環境学習資機材を使用した展示

- 概要：島根県立図書館とのタイアップ事業として、温暖化に関する啓発タペストリーを始めとする環境学習資機材を使用した啓発展示を行った。
- 期間：6月7日(金)～7月3日(水)
- 場所：島根県立図書館1階ホール(松江市)
- 対象：一般県民
- 概要：6月の「環境月間」をテーマに、気候変動に関するタペストリーやエシカルグッズの展示、関連図書の陳列を行い、県民に環境配慮行動の実践を呼びかけた。

**(11)環境保全活動支援事業**

県内のボランティア団体や法人による自然環境の保全や持続可能な社会を次世代に引き継ぐ活動を目的とした主体的な取組みを促すため、取組みの開始又は継続に要する費用の一部を助成した。

□令和6年度事業の実施

- 概要：自然環境の保全や持続可能な社会を次世代に引き継ぐ活動に対し助成を行い、伴走支援を行った。
- 助成内容：対象……ボランティア団体、NPO法人等  
助成額……事業費の2/3以内助成で、80万円を上限
- (参考)：令和6年度事業は、前年度中(令和5年度)に募集・審査を行った。
- 募集期間：令和5年11月1日(水)～12月26日(火)
- 審査会：令和6年3月19日(火)

	申請件数	申請事業費	申請助成額	交付決定件数	交付決定額	交付額(清算後)
計	8件	4,037千円	2,686千円	5件	1,623千円	1,123千円

□令和7年度事業の審査及び採択

- 概要：令和7年度事業について、助成事業の実施期間を確保するため、今年度(令和6年度)に募集・審査を実施した。
- 助成内容：対象……ボランティア団体、NPO法人等  
助成額……事業費の2/3以内助成で、80万円を上限
- 募集期間：令和6年11月1日(金)～12月23日(月)
- 広報：募集チラシ及び申請の手引きの配布(2,700部、200部)、エコサポしまねHP、SNS
- 審査会：令和7年3月17日(月)
- 審査委員：学識経験者、県関係課、婦人団体関係者 計3名

	申請件数	申請事業費	申請助成額	交付決定件数※	交付決定額※
計	8件	3,267千円	2,175千円	7件	1,900千円

※いずれも内定(令和7年度において正式採択、交付決定)

## IV. 北の原キャンプ場管理運営事業

本年度は、大田市から指定管理者に指名されて3期目5ヶ年度の5年度にあたる。これまで蓄積された運営経験に基づき、「豊かな自然環境を活かし、自然に親しむ場を提供する」を基本理念として、国立公園三瓶山の自然に囲まれた施設の魅力を最大限に引き出すことを意識して管理運営にあたった。その前提として、来場者の安全・安心への配慮を行い、イベント実施、キャンプ用品貸出、キャンプ場SNSのフォロワーへのキャンペーンなど、各種サービスにより満足度向上にも努めた。

また、三瓶自然館の指定管理者としての利点を活かして、イベント等の一体的な事業展開により効率的な運営に努めた。

売り上げの実績は、消費税増税による利用料金の改定以降、最も低い利用料金収入となった。今シーズンは異常ともいえる猛暑が晩秋まで続き、川などの避暑的要素のない当キャンプ場にとっては、集客の面で非常に厳しい状況であった。コロナ禍にやや増加した学校団体による利用も熱中症の懸念などから敬遠され、結果として売上が減ることとなった。

### 1. 営業日等

#### ◆令和6年度年間開場日数：331日

※開場日数は当初予定のとおりだが、令和6年8月31日の台風接近に伴い、キャンプサイトのみを臨時休場とした。

### 2. 利用促進業務

主な利用促進業務の実施内容は次のとおり。

- ・西部勤労者共済会と提携した各種割引サービスの実施。
- ・自社ホームページ及びキャンプ関連WEBサイトに、施設情報やイベント紹介記事を掲載。
- ・Facebook、Instagramによる施設PRや周辺自然情報など発信。
- ・県内のまちづくりセンターや道の駅にパンフレットを配架。
- ・インターネット予約システム及びオートキャンプ協会と連動した広報の実施。

### 3. 管理体制

繁忙期や閑散期の状況に応じて、効率的なスタッフの人員配置を行った。

通常期は臨時職員を含めて6名の体制により、利用者の応対、施設・設備の安全点検及び環境美化等に万全を期したほか、場内の除草作業には専門のスタッフ6名を配置し、景観維持に努めた。

繁忙期は3名程度の臨時アルバイトを雇用し、宿泊施設ならびに屋外共用棟の清掃、大量に排出されるゴミの処理等にあたらせ、衛生管理を徹底した。

一方、冬季閑散期には正規・臨時職員4名で対応することにより、人件費の節減を図った。

## 4. 施設維持管理

昭和44年に開場した当施設は、施設・設備の老朽化、経年劣化に伴う不具合が加速度的に多発している。設置者である大田市と協議を重ね修繕計画に沿った対策を講じているが、予期せぬ事態が続発するなど、修繕が追いつかない状況にあり、喫緊の課題となっている。

本年度も多数の故障及び不具合が発生し、1件30万円未満の修繕は指定管理者において可能な範囲で実施した。また、30万円以上の修繕については、大田市に修繕を要請している。利用者の快適で安全な利用環境の確保を第一に修繕を実施しているが、高額な修繕費を要する箇所が多くあり、思うように修繕が進んでいない現状にある。

### ■修繕状況……………17件

- ・キャンプ場ドッグランにおける漏水工事、水回りの漏水修繕、施設設備修繕、場内整備用機器の修繕など

### ■復旧できていない主な施設・設備

- ・オートゲートシステム(出口側)……………令和元年5月に故障
- ・第1女子トイレの排水不良(4箇所)……………令和3年1月に発生
- ・第2トイレ、第3炊事棟の屋根……………令和3年4月に一部破損
- ・オートゲートシステム(入口側)……………令和5年10月に故障
- ・ケビン・バンガロー火災報知器……………令和6年電池交換期限切れ
- ・屋根付きファイヤー場水漏れ……………令和6年10月に発生
- ・セントラルロッジ電気設備の故障……………令和6年10月に故障
- ・第1トイレ棟配管バルブの破損……………令和6年12月に発生
- ・高圧ケーブル不具合(第1・第2キュービクル間)……………令和6年12月に確認
- ・セントラルロッジ空調機……………令和7年3月に故障

## 5. 自主事業

### (1) イベントの実施

#### □SNSフォロワーキャンペーン

実施月：7月～9月

内 容：SNSのフォロワーの増加により情報拡散効果を高める目的で実施。期間中、キャンプ場公式SNSのいずれかをフォローしている宿泊者にオリジナルステッカーを配布した。Instagramは目標のフォロワー1,800人を達成した。

#### □モルック体験会in北の原キャンプ場

実施日：10月12日

参加者：7組20人

内 容：第1ファイヤー場で話題のニュースポーツモルックを体験するイベントを実施。モルックの体験会や大会を主催している島根県モルック協会を講師に招いた。家族連れなどの利用があった。

### (2) 利便提供事業

キャンプ場宿泊者の利便性向上のため、食料品の販売や、キャンプ用具の貸出を行った。

## 6. その他の事業

### (1) 大田市全体及び三瓶山周辺観光のインフォメーション機能を担う事業

SNSを活用して天候や登山情報を定期的に提供したほか、管理棟内の情報コーナーにおいて観光案内を行っている。温泉津温泉や石見銀山、三瓶小豆原埋没林など主要観光地へのルート案内、食事どころや大田市の見どころ紹介なども積極的に行った。

### (2) 地域連携による観光推進活動

大田市、飯南町、美郷町の1市2町が連携する「三瓶山広域ツーリズム振興協議会」と石見地域の観光・宿泊施設等により組織される「石見ツーリズムネットワーク」に参画し、地域一体での観光促進事業に自然館と連携して取り組んだ。

## V . 利 便 提 供 事 業

### 1. 物販事業

#### (1) 三瓶自然館

自然科学に関するものや三瓶山来訪の記念となる商品のほか、館のキャラクター「テンピー」のオリジナル商品など、当館らしい商品展開で販売を行った。

また、企画展開催期間にはそのテーマに合う商品の特集やクラフトイベントを行い、展示と連動した売上げ拡大を図った。例えば夏期企画展の期間には、企画展のオリジナルパッケージの蜂蜜を販売し好評を得た。

#### (2) 三瓶小豆原埋没林公園

受付周辺に物販棚を設置し、埋もれ木の派生材(発掘時に出土した倒木等)を利用した独自商品や近隣の製菓子店と共同開発した商品のほか、鉱物や化石、木工品など、埋没林のイメージを意識した商品を販売した。

#### (3) 北の原キャンプ場

北の原キャンプ場の「キャンパーズショップ北の原」では、宿泊者の利便向上を目的に、キャンプに関連する商品と食料品を販売した。また、夏期はバーベキューなどの食材セットを販売することで、手軽にキャンプができるイメージによる施設利用の促進を図った。

また、大田市在住のデザイナーが制作したキャラクター「SANBE Genjin3(サンベゲンジン3)」のグッズを販売し好評を得た。

### 2. 貸出事業

北の原キャンプ場において、テントや毛布、炊事用品等のキャンプ用品の貸出を行った。用品の貸出は、ビギナーだけでなく利用者が用品を準備する負担が軽減されることによる利用拡大が期待される事業である。

キャンプ用品のほか、夏期はノルディックポールの貸出を行った。

# VI. そ の 他

## 1. 数値目標を掲げた運営

### (1) 入館者目標、収入目標の設定

各施設毎に利用者数目標又は利用料金収入目標を設定し、運営を行っている。

三瓶自然館は収入目標を22,469千円とし、この目標の達成に必要となる利用者数を95,100人と設定した。夏期企画展を中心に、その他の各種事業と広報を展開して88,805人の利用があったが目標値には届かなかった。最大集客期の夏の猛暑が利用低迷の一因と予想され、その対策とともに年間をとおして集客する方策の検討が次年度以降の課題となった。

埋没林公園は年間の利用者数を15,900人として利用者確保に取り組んだ。見学時の満足度が新たな利用者につながることから、スタッフが直接案内する解説に注力した。利用者数は目標を若干下回り、次年度の目標達成に向けてPR活動とSNSを活用した情報の拡散策の検討を進めた。

北の原キャンプ場は令和2年度から5年度までのキャンプブーム以前の利用水準を下回り、目標に届かない結果であった。その原因としてキャンプスタイルの変化に対応できていないことが推定され、令和7年度からの新規指定管理に向けた準備とあわせて、運用方式の見直しを含めた検討を始めた。

### (2) 全施設の目標値と達成状況

令和6年度 施設別月別目標達成率一覧表

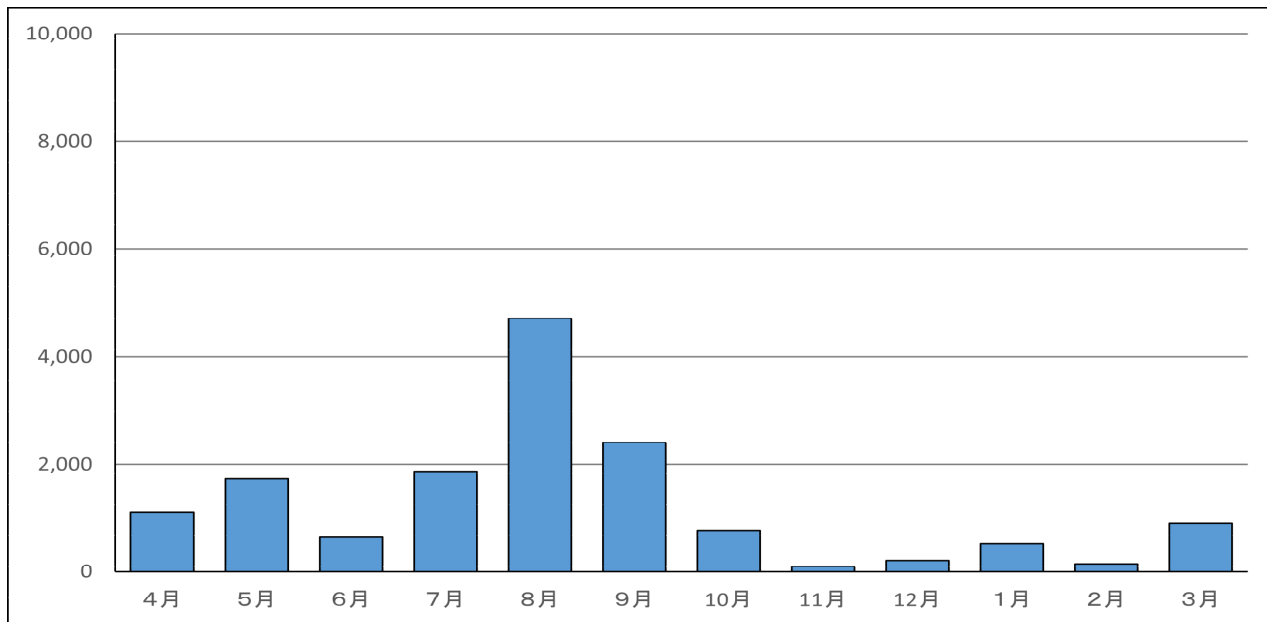
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
三瓶自然館 (天体含む) 入館者数 (人)	R6目標	5,000	12,000	4,800	11,000	22,000	14,000	9,000	9,000	1,500	2,000	2,000	2,800	95,100
	R6実績	6,176	11,768	5,550	8,121	18,467	10,865	8,338	8,122	1,491	3,367	1,852	4,688	88,805
	達成率	123.5%	98.1%	115.6%	73.8%	83.9%	77.6%	92.6%	90.2%	99.4%	168.4%	92.6%	167.4%	93.4%
天体観望会 入館者数 (人)	R6目標	200	650	200	400	800	600	600	350	50	50	50	50	4,000
	R6実績	345	590	130	281	770	632	498	300	15	43	2	100	3,706
	達成率	172.5%	90.8%	65.0%	70.3%	96.3%	105.3%	83.0%	85.7%	30.0%	86.0%	4.0%	200.0%	92.7%
埋没林公園 入館者数(人)	R6目標	1,200	2,200	1,200	1,300	2,500	2,000	2,000	1,900	250	200	250	900	15,900
	R6実績	1,100	2,089	1,115	1,057	2,400	2,038	1,703	1,670	334	278	185	624	14,593
	達成率	91.7%	95.0%	92.9%	81.3%	96.0%	101.9%	85.2%	87.9%	133.6%	139.0%	74.0%	69.3%	91.8%
キャンプ場 利用料金(千 円)	R6目標	1,700	3,600	1,450	2,800	5,400	2,200	2,300	1,600	160	250	200	340	22,000
	R6実績	1,559	2,284	1,265	1,627	4,080	1,727	1,736	1,326	69	162	137	276	16,248
	達成率	91.7%	63.4%	87.3%	58.1%	75.5%	78.5%	75.5%	82.9%	43.3%	64.7%	68.6%	81.2%	73.9%
物販・貸出 売り上げ(千 円)	R6目標	1,200	2,300	800	3,500	6,500	4,000	1,500	1,800	200	200	300	300	22,600
	R6実績	1,247	2,249	874	1,831	4,112	2,058	1,354	1,372	287	467	232	697	16,780
	達成率	103.9%	97.8%	109.3%	52.3%	63.3%	51.4%	90.2%	76.2%	143.3%	233.6%	77.4%	232.3%	74.2%

※キャンプ場、物販・貸出は補正予算後の目標数値を記載

### (3) 収入実績

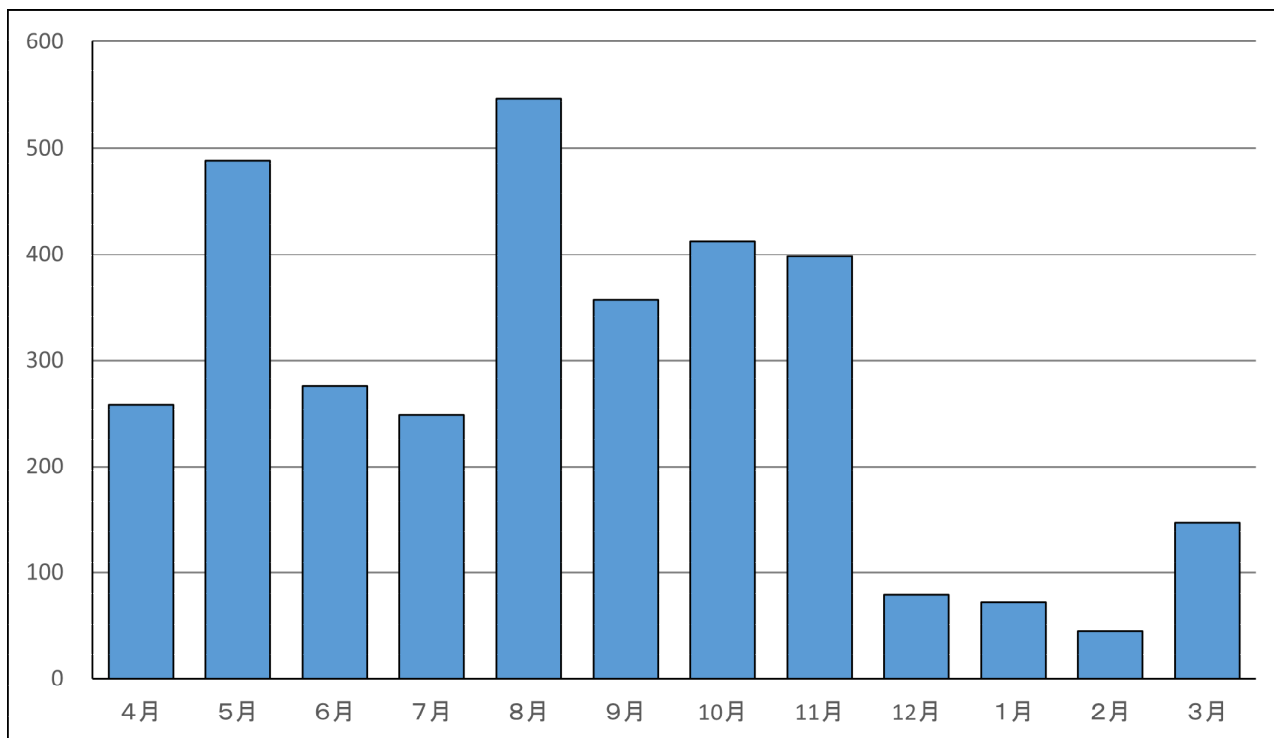
#### □三瓶自然館収入状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収入額(千円)	1,149	1,808	660	1,925	4,850	2,507	851	1,042	213	535	144	935	16,619



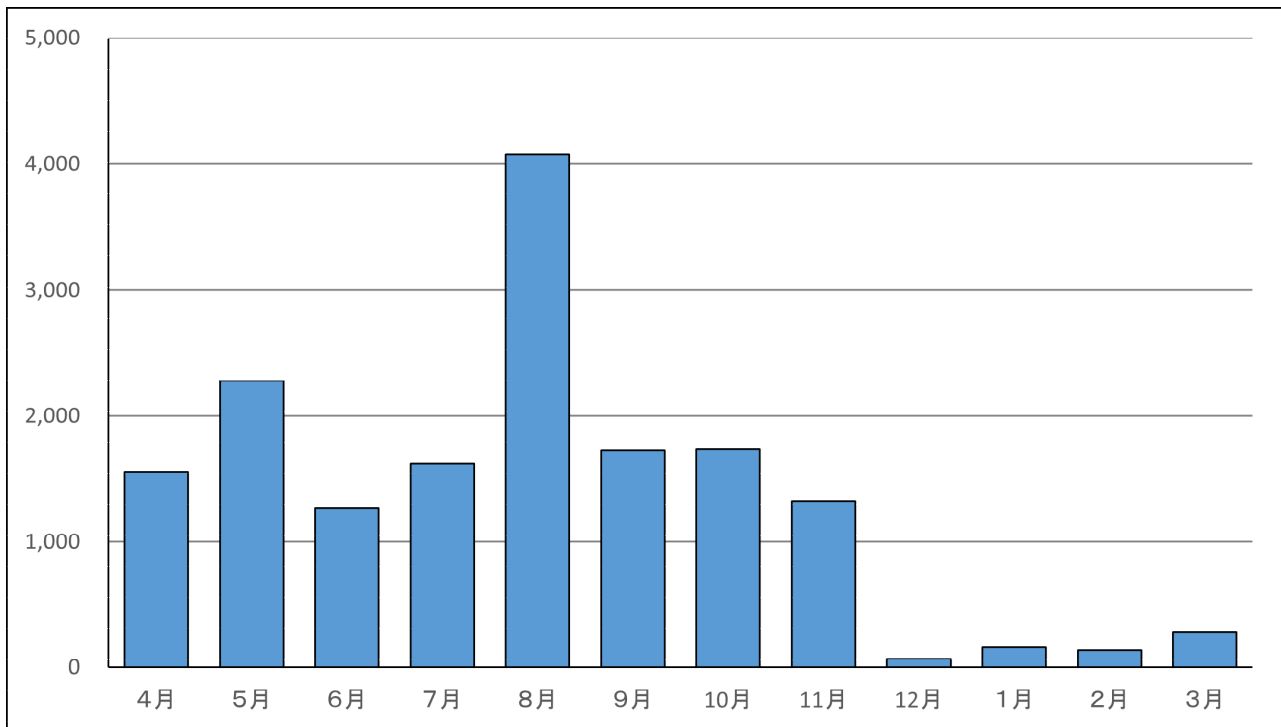
#### □埋没林公園収入状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収入額(千円)	270	490	276	250	548	358	413	398	79	72	45	147	3,346



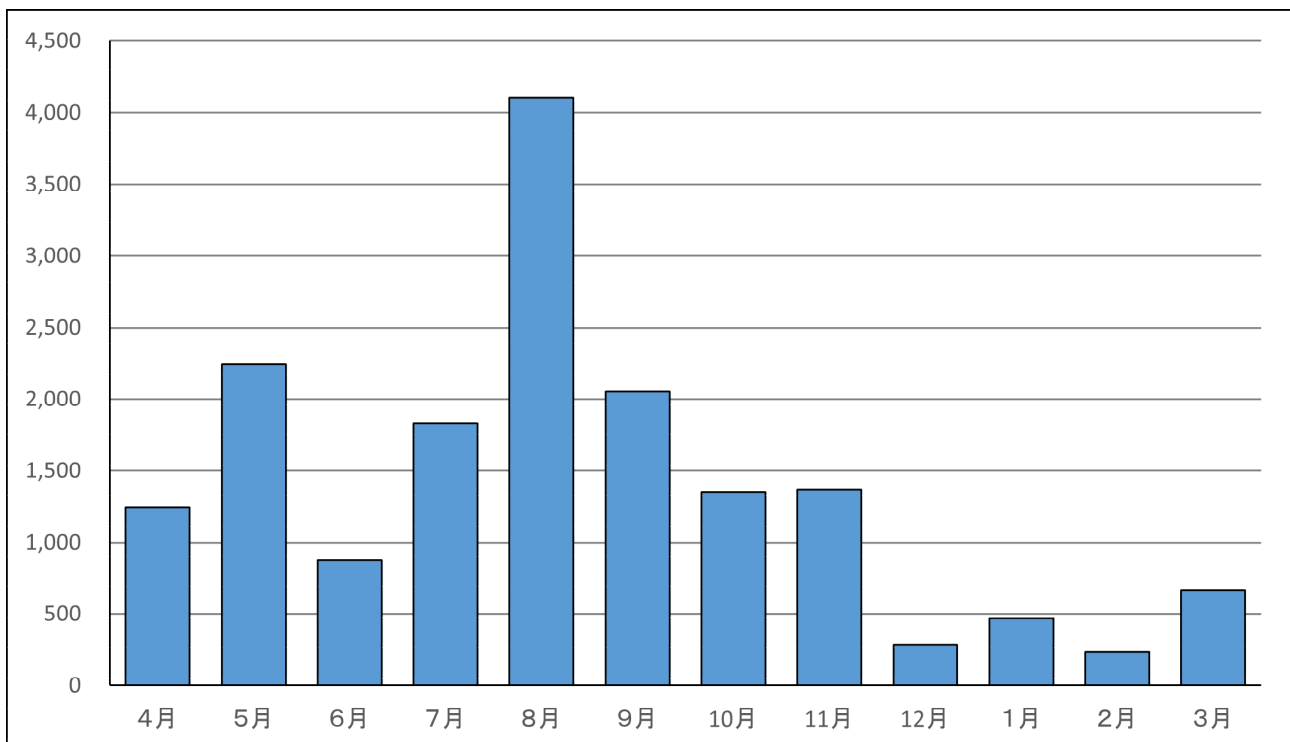
□北の原キャンプ場収入状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収入額(千円)	1,559	2,284	1,265	1,627	4,079	1,727	1,736	1,326	69	162	137	277	16,248



□利便提供事業収入状況

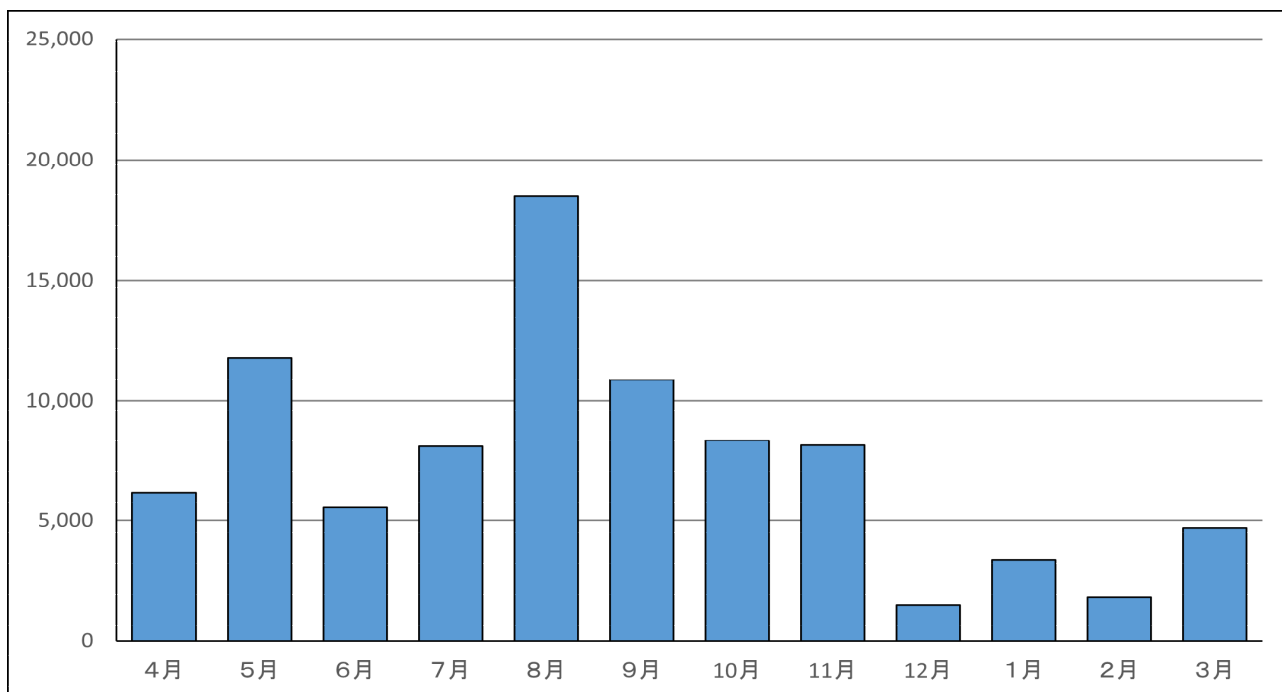
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収入額(千円)	1,247	2,249	874	1,831	4,112	2,058	1,354	1,372	287	467	232	697	16,780



#### (4) 利用者数

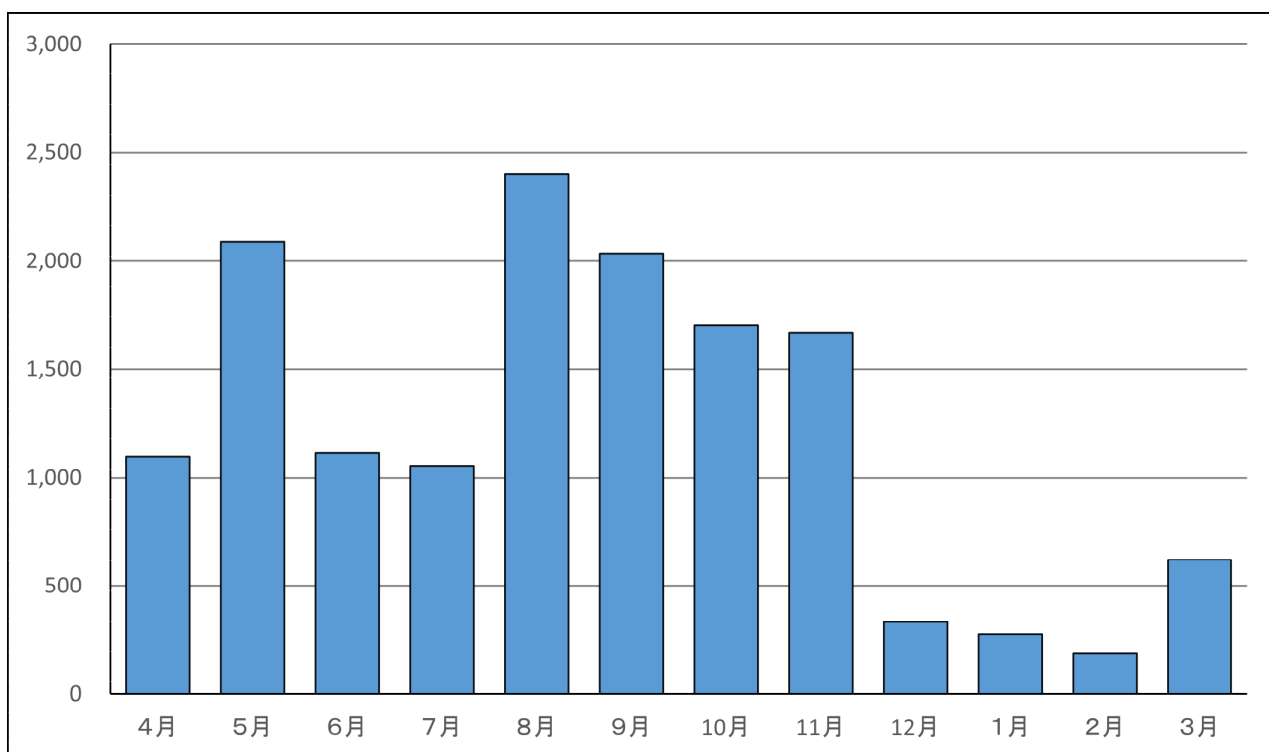
##### □ 三瓶自然館利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数(人)	6,176	11,768	5,550	8,121	18,467	10,865	8,338	8,122	1,491	3,367	1,852	4,688	88,805



##### □ 埋没林公園利用状況

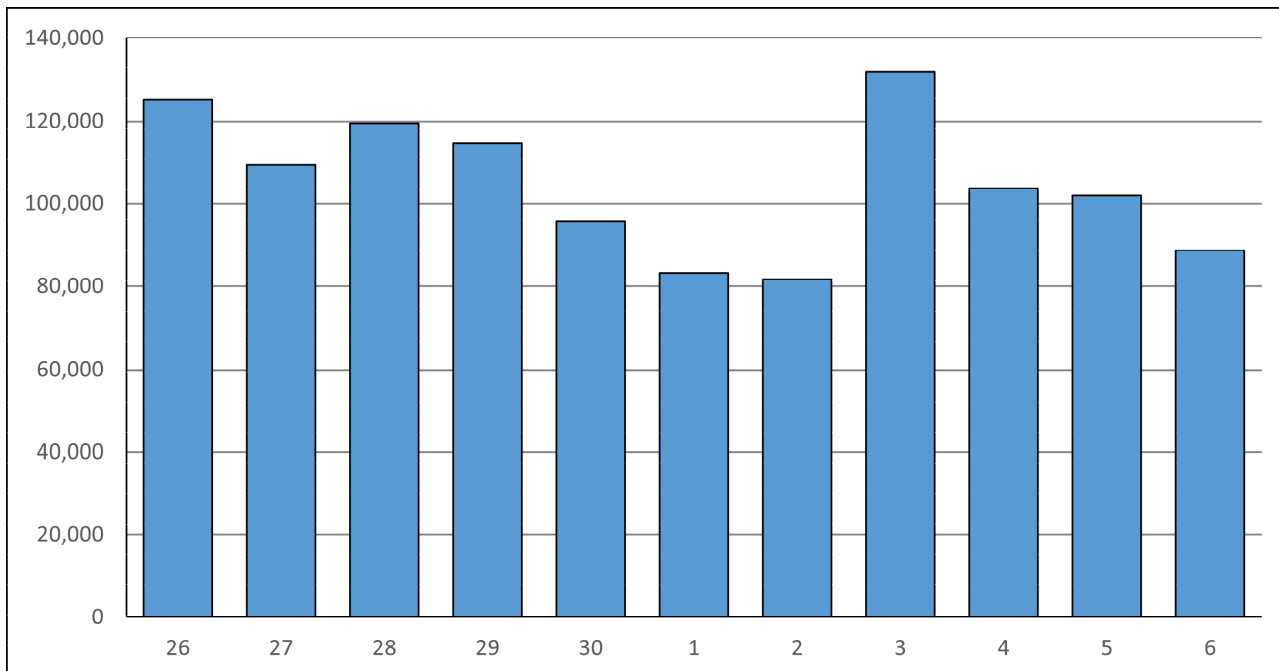
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数(人)	1,100	2,089	1,115	1,057	2,400	2,038	1,703	1,670	334	278	185	624	14,593



## 2. 利用者数の推移

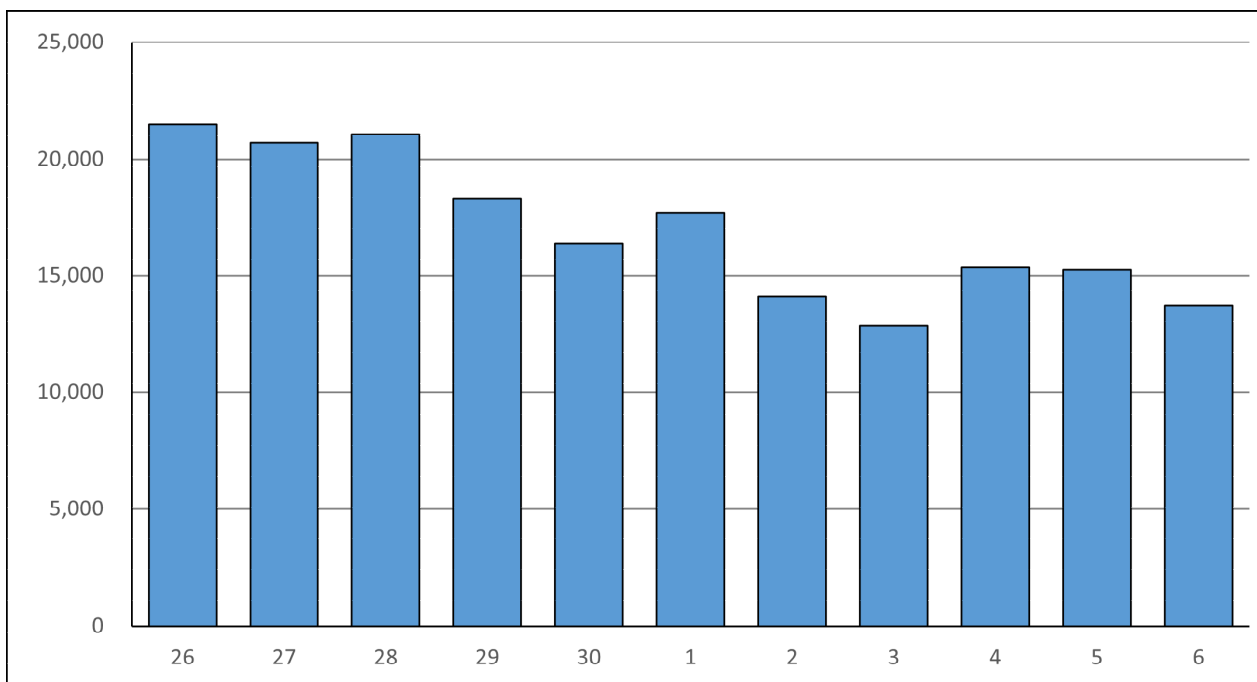
### □三瓶自然館

年度	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
総入館者(人)	125,225	109,478	119,571	114,717	95,520	83,203	81,739	131,822	103,722	101,987	88,805



### □三瓶小豆原埋没林公園

年度	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
総入館者(人)	21,505	20,681	21,075	18,292	16,366	17,694	14,082	12,851	15,339	15,235	14,593



### 3. 資料

#### □テーマ解説実施状況(Ⅱ-(1)常設展示(p.6)関係)

月	日	団 体 名	人数
5	18	大田市立第三中学校	17
8	1	大田わんぱく児童クラブ	37
	7	広島県立広島国泰寺高校	22
9	18	広島大学	23
	18	大田市立朝波小学校	15
	19	大田市立志学小学校	7
	25	大田市立北三瓶小学校	4
	26	大田市立久屋小学校	17
11	4	川跡コミュニティセンター	20
3	26	島根大学GSC研究会	5
合 計		10件	167

#### □団体向け天体観察会実施状況(Ⅱ-(6)団体向け天体観察会(p.16)関係)

月	日	団 体 名	人数
4	24	山陽女学園	114
	25	広島文教大学附属高等学校	75
5	19	国民宿舎さんべ荘主催イベント	9
	22	広島市立井原・志尾小学校	14
	23	出雲市立西野小学校	108
	29	出雲市立長浜小学校	71
6	20	石見智翠館高等学校	38
	27	雲南市立西日登小学校	12
7	14	個人グループ	10
8	7	広島国泰寺高校	86
	16	大田市山村留学センター	14
	21	庄原市立高野小学校	13
		庄原市立東小学校	30
	22	(福)ねむの木福祉会キッズ内中原	82
9	5	浜田養護学校	30
	11	広島市立石内北小学校	118
	18	庄原市立高小学校	18
	19	美郷町立邑智中学校	24
	23	大森天文部	26
	26	安芸高田市立向原小学校	18
	29	個人グループ	10
		呉市民生委員児童委員協議会	21
10	9	飯南町小学校連合	43
	10	大田市1班三校連合(小学校)	58
	17	大田市立志学小学校	17
	23	まなびキャンパスひろしま	33
	24	大田市2班四校連合(小学校)	42
11	8	美郷町公民館活動	64

	21	学校法人鶴学園なぎさ公園小学校	80
1	12	久留米山岳会	15
3	2	大森天文部	27
合 計			31件 1,320

□ 予約自然観察会実施状況(Ⅱ-(7) 予約自然観察会(p. 17)関係)

月	日	団 体 名	人数
4	22	大田市立北三瓶小学校	4
	26	出雲市立鱒淵小学校	20
5	13	大田市立大田小学校	26
	15	大田市立大田小学校	26
	16	大田市立大田小学校	27
	17	相愛保育園	50
	26	伊波野コミュニティセンター	20
	30	大田市立静間小学校	17
	31	出雲市立多岐小学校	40
6	12	大田市立朝波小学校	38
	13	安田学園安田小学校	7
	21	大田市立大田小学校	69
7	14	呉市広子ども会連合会	31
8	2	ハマナス保育園	27
	7	広島県立広島国泰寺高校	22
	8	広島県立広島国泰寺高校	86
	25	せら夢公園サポーターズクラブ	13
9	9	大田市立鳥井小学校	11
	13	大田市立静間小学校	21
	20	大田市立高山小学校、大森小学校	32
	20	大田市職員退職者会	16
	26	大田市立静間小学校	8
	27	大田市立北三瓶小学校	4
	27	出雲市立灘分小学校	35
10	9	大田市立静間小学校	12
	11	大田市立仁摩小学校	17
	11	美郷町立邑智小学校	32
	16	大田市立長久小学校	34
	18	出雲養護学校みらい分教室	8
	21	大田市立久手小学校	23
	23	大田市立大田小学校	26
	24	大田市立大田小学校	27
	24	美郷町立大和小学校	45
	25	川本町立川本小学校	28
	30	大田市立大田小学校	25
11	7	出雲乳児保育所	22
	13	大田市立五十猛小学校	8
	14	大田市立志学小学校	5
	20	雲南市立大東小学校	38

	21	大田市立仁摩小学校	27
	22	なぎさ公園小学校	80
	25	大田市立北三瓶小学校	4
	27	大田市立志学小学校	7
	29	大田市立長久小学校	30
1	31	あすなる教室	12
3	26	島根大学GSC研究会	7
合 計			46件 1,167

□講師派遣実施状況(Ⅱ-(8)講師派遣(p.17)関係)

月	日	団体名	場所	内容	講師	人数
4	3	雲南市立西小学校	雲南市立西小学校	教員向けコウノトリの講話・学習相談	星野	12
	11	雲南市立西小学校	雲南市立西小学校	コウノトリの講話(5、6年生)	星野	51
	17	雲南市立西小学校	雲南市立西小学校	コウノトリの講話(3、4年生)	星野	38
	24	キリスト教愛真高等学校	キリスト教愛真高等学校	植物の自然観察	安藤 松原	15
	27	銀山嶺33ヶ寺巡る会	温泉津金剛院・高野寺	植物の自然観察	井上	32
5	1	大東自治振興協議会	大東地域交流センター	コウノトリの講話	星野	30
	10	浜遊の森の自然を守る会(浜遊自然館)	浜遊自然館	春の星座観察会での講話	竹内	15
	11	末日聖徒イエス・キリスト教会浜田支部長	浜田市立石見まちづくりセンター	毒のある植物・食べられる植物勉強会	井上	35
	18	銀山ホテル復活プロジェクト	大森まちづくりセンター	ホテルの講話	皆木	35
	20	雲南市立西小学校	雲南市立西小学校	コウノトリの講話(1・2年生)	星野	37
	22	大東町退職公務員連盟協議会	大東地域交流センター	コウノトリの講話	星野	27
	23	大田市立北三瓶中学校	姫逃池周辺	カキツバタの講話と自然観察	井上	17
	26	津和野中央公民館	地倉沼	チョウジソウ観察会	井上	40
	30	大田市立高山小学校	大田市立高山小学校	自然学習における講話	井上	20
6	8	島根県高等学校文化連盟自然科学専門部	国立三瓶青少年交流の家	自然科学/実験観察指導	井上 竹内 皆木 太田 矢田 安藤 今井	81
	14	日御碕コミュニティセンター	日御碕コミュニティセンター	植物の自然観察	井上	7
	15	島根県造園協会	島根県立ふるさと森林公園	樹木の検索研修	井上	13
	22-23	島根県環境生活部自然環境課	国立三瓶青少年交流の家	自然観察指導員養成	星野	61
	23	日本古生物学会	高知大学	生痕化石についての講話	今井	54
	28	来島公民館	ふるさと回想館	ホテル観察会	皆木	25

	30	希少生物ギフチョウの保護及び下熊谷地域遺産を守る会	雲南市木次下熊谷交流センター	ギフチョウに関する講話	皆木	10
7	6	島根大学国際観光教育推進センター	島根大学	石見銀山と火山に関する講話	中村	26
	13	大田市	三瓶山西の原	ユウスゲ観察会	井上	50
	24	長久地区ふれあい協議会	長久まちづくりセンター	三瓶の自然について	矢田	20
	27	大田市石見銀山課	大田まちづくりセンター	日本遺産講座	中村	3
8	3	浜田市	三隅中央公園等	昆虫しらべ	皆木	18
	4	コウモリの会	WEB	コウモリについての講話	安藤	20
	5	雲南市小中学校教頭会	チェリバホール	コウノトリについての講話	星野	65
	5	大田市教育研究会	大田市民センター	日本遺産と地域特性に関する講話	中村	20
	7	島根大学国際観光教育推進センター	三瓶山周辺	日本遺産フィールドワーク	中村	25
	8	大田市教育委員会	大田市役所	日本遺産についての講話	中村	35
	24	出雲国ジオガイドの会	松江市市民活動センター	ジオパークの植物についての講話	井上	14
	28	島根大学国際観光教育推進センター	三瓶山周辺	日本遺産活用について	中村	25
9	6	出雲市立多伎小学校	出雲市立多岐小学校	昆虫についての講話	皆木	25
	12	大田市立大田小学校	大田市立大田小学校	SDGsについての学習	星野	80
	13	雲南市立西小学校	雲南市立西小学校	コウノトリについての講話	星野	25
	13	西ノ島町コミュニティ図書館	西ノ島町コミュニティ図書館ほか	天体観察	竹内	27
	14	西ノ島町コミュニティ図書館	西ノ島町コミュニティ図書館ほか	天文の講話	竹内	10
	19	島根大学	国立三瓶青少年交流の家	昆虫についての指導	皆木	23
	20	あけぼのこども園	あけぼのこども園	星空観察会	矢田	35
	24	大田市立大田小学校	大田市立大田小学校	SDGsについての学習	星野	80
	27	大田市立志学中学校	ヘルシートレイリングコース	三瓶の自然等についての学習	井上	13
10	6	島根県地学会	出雲市佐田町	化石と鉱物の巡検	今井	26
	9	大田市立仁摩小学校	仁摩小学校・仁摩海岸	仁万の珪化木について	中村	26
	11	大田市立久手小学校	久手小学校	石見銀山学習	中村	32
	12	子どもと生活科・総合的な学習を考える会	三瓶山北の原キャンプ場	自然遊びについて	井上	6
	16	全国科学館連携協議会中四国ブロック	出雲科学館	小さな宝探しワークショップ	今井	25
	18	島根大学	島根大学	地域博物館へのいざない	中村	220
	22	島根県立横田高等学校	島根県立横田高等学校	横田で生まれた自然と人の関わり	井上	9
	23	大田市	大田市役所	日本遺産などについての講話	中村	16
11	1	大田市立久手小学校	大田市立久手小学校	月と星の見え方について	矢田	30
	2	島根県立少年自然の家	島根県立少年自然の家	森の豊かさの話と体験活動	星野	26
	3	三瓶こもれびの広場木工館	三瓶こもれびの広場木工館	野鳥の講話	星野	16
	7	大田市立大田小学校	大田市立大田小学校周辺	地層学習	中村	77

	9	島根わくわくサイエンスクラブ	松江城椿谷公園	葉っぱの自然観察	井上	45
	10	大田市教育委員会	大田市立大田中央図書館	宇宙に関する講話	太田	50
	13	大田市立朝波小学校	大田市立朝波小学校周辺	地層観察	中村	16
	14	島根県立大田高等学校	国立三瓶青少年交流の家	地学学習	中村	30
	15	島根県立大田高等学校	国立三瓶青少年交流の家	地学学習	中村	30
	17	大屋まちづくりセンター	大屋まちづくりセンター	大田市の鉱山について	中村	30
	20	あけぼのこども園	あけぼのこども園	石に関する講話	今井	21
	22	あけぼのこども園	あけぼのこども園	石に関する講話	今井	21
	23	大田市日本遺産推進協議会	大田まちづくりセンター	日本遺産の講話	中村	6
	25	島根県立松江清心養護学校	島根県立松江清心養護学校	星空の撮影	矢田	5
	28	あけぼのこども園	あけぼのこども園	石に関する講話	今井	21
	28	大田市立仁摩小学校	大田市立仁摩小学校	流れる水のはたらきの学習	今井	24
	29	大田市立志学小学校	大田市立志学小学校	月と星の見え方について	矢田	15
12	1	石見銀山魅力化・持続化実行委員会	大森町鄙屋	石見銀山の森を考える	井上	35
	17	静間地区しずのいわや協議会	静間まちづくりセンター	三瓶の自然について	矢田	22
1	22	大田市立朝波小学校	大田市立朝波小学校	宇宙旅行について(全校)	太田	58
	22	大田市立朝波小学校	大田市立朝波小学校	星空の学習(3・4年生)	太田	15
2	3	雲南市立西小学校	雲南市立西小学校	コウノトリに関する講話	星野	25
	4	仁万・天河内ふれあい協議会	仁摩農村環境改善センター	「冬の星空」体験	矢田	32
	11	米子市児童文化センター	米子市児童文化センター	プラネタリウム投影	太田	104
	13	島根県立松江清心養護学校	島根県立松江清心養護学校	星空の学習	矢田	15
	13	(一社)隠岐ジオパーク推進機構	オンライン	隠岐ジオパーク環境保全について	井上	15
	15	子どもエコクラブ上津探検隊	上津コミュニティーセンター	トノサマガエルの講話	皆木	60
	17	雲南市立西小学校	雲南市立西小学校	コウノトリに関する講話	星野	15
3	1	出雲市	出雲弥生の森博物館	石こう鉱山に関する講話	中村	60
	19	雲南市立西小学校	雲南市立西小学校	コウノトリに関する講話	星野	23
	20	川本町自然大好きネットワーク	イズモコバイモ自生地	イズモコバイモの観察	井上	35
	26	松江市美保関町法田地区自治会	法田地区集会所	地域の地形・地質・鉱石の講話	今井	15
	25-28	日本自然保護協会	国立女性教育会館	自然観察指導員講習会	星野	90
	28	市山コミュニティー交流センター	千丈溪・市山交流センター	千丈溪の成り立ちについての講話	中村	65
	合計				84件	2,801

□ホームページ「自然情報」執筆状況(Ⅱ-(11)WEBサイト・SNS(p.24)関係)

月	日	担当	テーマ	月	日	担当	テーマ
4	7	竹内	ポン・ブルックス彗星が見ごろ	10	6	太田	後の月(のちのつき)
	11	竹内	月に近づいたポン・ブルックス彗星		13	皆木	ノシメトンボ
	14	星野	くちばし		20	今井	コンクリーション
	21	太田	連休は何が見える?		27	安藤	夜の森・ムササビ
	28	皆木	テングチョウ	11	3	矢田	紫金山・アトラス彗星
5	5	今井	玉ねぎ状風化		10	井上	ヤマラッキョウ
	12	安藤	マツボックリ大の獣(けもの) ジネズミ		17	竹内	土星食
	19	矢田	ソングレロ銀河		24	星野	オオアカゲラ
	26	井上	カサスゲ	12	1	太田	夏の名残?夏の大三角
6	2	竹内	かんむり座		8	皆木	ナカオビアキナミシヤク
	9	星野	コゲラ		15	今井	黒い軽石
	16	太田	夏至		22	安藤	コウモリ
	23	皆木	キイロクチキムシ	29	矢田	テンの小屋	
	30	今井	蟬の塔	1	5	井上	ヘビノネゴザ
7	7	安藤	地下空間のトイレ		12	竹内	冬の澄んだ空気
	14	矢田	上弦の月		19	星野	ハギマシコ
	21	井上	オカトラノオ		26	太田	鼓星
	28	竹内	はくちょう座X(カイ)星	2	2	皆木	コロギス幼虫の越冬
8	4	星野	ヒヨドリの卵		9	今井	ムラサキゴカクガニ
	11	太田	ペルセウス座流星群		16	安藤	雪上の足跡
	18	皆木	オオスズメバチ		23	矢田	幻日 ハロ
	25	今井	夜の水辺で生き物観察	3	2	井上	ヤマハンノキ
9	1	安藤	イノシシ		9	竹内	土星の環の消失
	8	矢田	薄明光線		16	星野	アマツバメ
	15	井上	エゾミソハギ		23	太田	金星が内合
	22	竹内	小さな星座たち	30	皆木	コマルハナバチ	
	29	星野	ノビタキ				

□新聞寄稿状況(Ⅱ-(11)新聞への寄稿(p. 25)関係)

月	日	掲 載 紙	タ イ ト ル	執 筆 者
4	3	島根日日新聞	待ち焦がれた春	安藤誠也
	13	読賣新聞	鳥の生態 はじめて迫る	星野由美子
	17	島根日日新聞	くちばしの魅力	星野由美子
5	1	島根日日新聞	春に香るスマイレのなかま	井上雅仁
	18	島根日日新聞	宝石のできた家	今井 悟
	15	読賣新聞	コウモリの超音波	安藤誠也
	29	島根日日新聞	自然観察会	安藤誠也
6	8	読賣新聞	かんむり座に注目	竹内幹蔵
	12	島根日日新聞	星の動き	矢田猛士
	26	島根日日新聞	剥製標本の表札	星野由美子
7	10	島根日日新聞	砂浜生痕学のススメ	今井 悟
	13	読賣新聞	水族館生痕学のススメ	今井 悟
	24	島根日日新聞	200倍のミツバチ模型	皆木宏明
8	7	島根日日新聞	公開天文台	竹内幹蔵
	21	島根日日新聞	三瓶山と天の川	矢田猛士
	24	読賣新聞	チャイロスズメバチ	皆木宏明
9	4	島根日日新聞	月見	太田哲朗
	14	読賣新聞	マツムシソウを訪れる虫たち	井上雅仁
	18	読賣新聞	ハチに化ける虫	皆木宏明
10	2	島根日日新聞	夜のコウモリ観察会	安藤誠也
	2	読賣新聞	津波石を探して	今井 悟
	16	島根日日新聞	話題のほうき星	太田哲朗
11	6	島根日日新聞	一期一会のムギマキ	星野由美子
	9	読賣新聞	紫金山・アトラス彗星	矢田猛士
	13	島根日日新聞	紫金山・アトラス彗星	竹内幹蔵
	15	島根日日新聞	コバネイナゴ	皆木宏明
12	11	島根日日新聞	ムササビとモモンガ	安藤誠也
	14	読賣新聞	フィールドワークとその道具	安藤誠也
	25	島根日日新聞	大みそか	太田哲朗
1	7	島根日日新聞	スノーロール	矢田猛士
	18	読賣新聞	ふくらすずめ	星野由美子
	22	島根日日新聞	お宝標本のご紹介	井上雅仁
2	5	島根日日新聞	色違いの島	今井 悟
	7	読賣新聞	クロルリトゲハムシ	皆木宏明
	19	島根日日新聞	外部寄生虫マダニ	安藤誠也
3	5	島根日日新聞	金星の内合	太田哲朗
	8	読賣新聞	オリオン大星雲	矢田猛士
	19	島根日日新聞	小惑星リュウグウとイトカワのかけら	竹内幹蔵

#### 4. 職員の研修等への参加

職員の資質向上、施設の管理運営にあたって必要となる知識の取得等を目的に、研修の実施及び外部が主催する研修会に職員を派遣した。(詳細は下表参照)

##### □研修会等への参加

月	日	名 称	場 所	参加者
4	25-26	新入社員研修(大田地域人材確保促進協議会)	職業訓練センター等	前崎・田中
7	5	令和6年度安全運転管理者講習	あすてらす	石田浩
8	26	令和6年度公正採用選考推進セミナー	大田市役所	石田浩
8	27	社会保険実務講座	出雲市民会館	米浦
8	28	令和6年度第1回健康保険委員セミナー	オンライン(協会けんぽ)	米浦
9	11	島根県メンタルヘルスケア研修	出雲市民会館	米浦・竹下
9	13	島根県自治研修所 条例規則の読み方・作り方講座	浜田教育センター	古川
9	24	JPA中国四国プラネタリウムWG研修会in久万高原	久万高原天体観測館	太田
10	25	県央地域行政関係者人権・同和問題研修	川本合同庁舎	石田浩
11	7	官製談合防止説明会及び下請法基礎講習会	松江テルサ(公正取引委員会)	古川
10	31	島根県自治研修所 若手職員育て方講座	浜田教育センター	和田
12	5	島根県自治研修所 クレーム対応力向上講座	浜田教育センター	山下貴
12	6	あいサポーター研修	三瓶自然館(大田市社会福祉協議会)	職員37名
12	16-18	全国プラネタリウム研修会2024富山	富山市立科学博物館	大草
1	29	しまね観光若手人材ゼミナール	くにびきメッセ	石田操・佐藤・西本
1	29	インスタグラム講座	大田まちづくりセンター	山下貴
1	31	改正育児・介護休業法等説明会	オンライン(島根労働局)	米浦
2	17	島根県自治研修所 インバケット(案件処理実践)研修	島根県民会館	山本・中山
2	17	JPA中国四国プラネタリウムWG研修会in広島	広島市こども文化科学館	太田
2	27	令和6年度第2回健康保健委員セミナー	オンライン(協会けんぽ)	米浦
3	6-7	接遇研修	三瓶自然館	職員14名
3	12	育休後も活躍するためのキャリア支援セミナー(管理職編)	あすてらす	米浦
3	12	心のバリアフリー認定制度説明会及びバリアフリー接遇研修	三瓶自然館(島根県)	館長他職員8名

## 5. 評議員会・理事会等

### (1) 評議員会

#### ① 第18回評議員会(令和6年度定時評議員会)

- ・開催日：令和6年6月20日(木)
- ・開催場所：島根県立三瓶自然館 レクチャールーム
- ・出席数：評議員7名(開会時6名)、監事2名
- ・議題：報告事項 事業概況について
  - 第1号議案 辞任に伴う評議員選任の件
  - 第2号議案 評議員改選に伴う評議員会議長選定の件
  - 第3号議案 令和5年度事業報告及び決算報告の件
  - 第4号議案 辞任に伴う理事選任の件
- ・結果：各号とも原案どおり承認

### (2) 理事会

#### ① 第35回理事会(令和6年度第1回定時理事会)

- ・開催日：令和6年5月23日(木)
- ・開催場所：島根県立三瓶自然館 レクチャールーム
- ・出席数：理事5名、監事2名
- ・議題：報告事項1 理事長及び常務理事の職務執行状況
  - 第1号議案 令和5年度事業報告及び決算報告の件
  - 第2号議案 第18回評議員会招集の件
  - 第3号議案 辞任に伴う三瓶自然館運営委員選任の件
- ・結果：各号とも原案どおり承認

#### ② 第36回理事会(臨時理事会)

- ・開催日：令和6年6月20日(木)
- ・開催場所：島根県立三瓶自然館 レクチャールーム
- ・出席数：理事5名、監事2名
- ・議題：第1号議案 辞任に伴う常務理事選定の件
  - 第2号議案 重要な職員の任免の件
- ・結果：原案どおり承認

#### ③ 第37回理事会(令和6年度第2回定時理事会)

- ・開催日：令和7年3月17日(月)
- ・開催場所：島根県立三瓶自然館 レクチャールーム
- ・出席数：理事4名、監事2名
- ・議題：報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況
  - 第1号議案 令和6年度予算補正の件
  - 第2号議案 令和7年度事業計画及び予算の件
  - 第3号議案 重要な職員の任免の件
- ・結果：各号とも原案どおり承認

### **(3) 三瓶自然館運営委員会**

本委員会は、島根県立三瓶自然館及びその附属施設を運営するにあたり、島根県の自然系博物館としてのあり方や、広く県民に親しまれ利用される方策について協議するための、外部委員による会である。

#### **① 第14回運営委員会**

- ・開催日：令和6年10月30日(水)
- ・開催場所：島根県立三瓶自然館 レクチャールーム
- ・出席数：運営委員5名
- ・概要：事業の実施状況や入館者数の推移など、報告事項を踏まえた意見交換が行われた。

## 6. 沿 革

- 昭和63年度 「三瓶フィールドミュージアム構想」が、先導事業開発構想推進会議で「リフレッシュリゾートしまね構想事業」として決定。同じく、自治省の「ふるさとづくり特別対策事業」として決定。
- 平成元年度 「三瓶フィールドミュージアム整備事業」開始。  
三瓶自然館(以下「自然館」)中心とする三瓶フィールドミュージアムの基本・実施設計の作成。
- 平成2年度 自然館及び附属施設、着工。
- 平成3年度 財団法人三瓶フィールドミュージアム財団設立(7月1日、以下「財団」)。  
自然館完成、全国育樹祭にともない皇太子殿下御来館。  
自然館オープン(10月19日)。
- 平成4年度 財団、新たに「三瓶山北の原キャンプ場(以下「キャンプ場」)」の管理運営を受託。
- 平成5年度 三瓶フィールドミュージアム整備終了。  
三瓶フィールドミュージアムが「三瓶山自然体験ゾーン」として島根県の長期計画(1994～2010年)の戦略プロジェクトに位置づけられる。
- 平成7年度 島根県、「三瓶山自然体験ゾーン拡充整備検討委員会」を設置。
- 平成8年度 三瓶山自然体験ゾーン拡充整備検討委員会、自然館の機能強化を求める報告書を提出。  
キャンプ場、過去最高の年間5万4千人の利用者を記録。
- 平成9年度 自然館名誉館長として俳優の柳生博氏を起用、委嘱(平成15年度まで)。  
常陸宮殿下、妃殿下御来館。
- 平成10年度 三瓶町多根小豆原で、約3,500年前に埋没したスギ林の存在を確認。調査方法及び保存方法の検討を開始。
- 平成11年度 島根県、「三瓶埋没林調査保存検討委員会」を設置。あわせて埋没スギの自然館での展示を検討。
- 平成12年度 三瓶山自然体験ゾーン拡充整備事業、整備着工。  
キャンプ場新管理棟(セントラルロッジ)、完成。  
三瓶埋没林調査保存検討委員会、埋没林の保存を求める報告書を提出。
- 平成13年度 島根県知事、小豆原埋没林の保存方針を発表。  
自然館拡充工事開始。工事進捗にともない11月末をもって自然館閉館。
- 平成14年度 自然館拡充工事完了。「三瓶自然館サヒメル」として再オープン(4月18日)。  
自然館、通算100万人の来館者を達成。  
秋篠宮殿下、妃殿下御来館。  
小豆原埋没林現地の公園化整備開始。  
自然館、過去最高の年間22万人の来館者を記録。
- 平成15年度 キャンプ場へ利用料金制導入。  
新たに「三瓶小豆原埋没林公園」の管理運営を受託。  
「三瓶小豆原埋没林公園(以下「埋没林公園」)」オープン(5月2日)。  
自然館、日本博物館協会に加盟。
- 平成16年度 「三瓶小豆原埋没林」国の天然記念物指定(2月27日)。  
新たに「ふれあいの里奥出雲公園(以下「ふれあいの里」)」の管理運営を受託。  
埋没林公園来園者10万人達成。
- 平成17年度 指定管理者制度が導入され、財団が自然館及び附属施設の指定管理者となる(平成17年度～平成21年度)。
- 平成18年度 7月豪雨によりふれあいの里が被災し、臨時休園となる。  
自然館開館15周年(10月19日)。
- 平成19年度 高円宮妃殿下、自然館及びふれあいの里御来訪(4月30日)。
- 平成20年度 旧島根ふれあい環境財団21の事業及び財産を継承(4月1日)。  
松江事務所開設。環境保全活動への助成、地球温暖化を含む環境問題の啓発等の事業を開始(4月1日)。  
埋没林公園入園者30万人達成(4月12日)。  
法人名称を「財団法人しまね自然と環境財団」に改称(7月1日)。  
高円宮妃殿下御来館(1月22日)。
- 平成21年度 自然館、通算200万人の来館者を達成(7月12日)。  
ふれあいの里、営業終了(12月。3月をもって正式閉鎖)。  
自然館、プラネタリウム設備更新のためビジュアルドームの運営を休止(12月～3月)。3月末から新型プラネタリウムの運営開始。  
キャンプ場、大田市へ移譲譲渡(3月)。
- 平成22年度 島根県から2期目となる自然館及び附属施設の指定管理者指名を受ける。また、大田市施設となったキャンプ場の指定管理者として、大田市から指名を受ける(いずれも平成22年度～平成26年度)。

- 平成23年度 財団、公益財団法人へ移行(4月1日)。これに伴い法人名称を「公益財団法人しまね自然と環境財団」に改称。  
自然館、開館20周年。記念式典(7月15日)のほか、関連イベントを一年を通じて開催。  
財団、自然館運営の検討機関として「三瓶自然館運営委員会」を設置(8月1日)。  
平成24年度 神々の国しまねプロジェクトへの協力として、三瓶自然館の小中高校生入館料を無料化(平成26年9月まで)。  
“三瓶山”国立公園指定50周年記念事業実行委員会(会長:大田市長)が設置され、財団が事務局を務め、一年を通じて関連イベントを開催。
- 平成25年度 埋没林公園、開園10周年。記念式典(4月27日)ほか、関連イベントを一年を通じて開催。  
特別企画展「さんべ恐竜王国(7月13日～9月29日)」を開催。現在の企画展期間(2ヶ月半)としては過去最高となる99,203人の来館者を達成。  
財団研究員が隠岐で巨大ワニの化石を発見。
- 平成26年度 大田市からキャンプ場指定管理者として指名を受ける(平成27年度～平成31年度)。  
島根県から3期目となる自然館及び附属施設の指定管理者指名を受ける(平成27年度～平成34年度(令和4年度))。
- 平成27年度 自然館、大型ドーム映画設備更新のため、ビジュアルドームの運営を休止(2月～3月)。3月末から新映画設備の運営開始。
- 平成28年度 自然館、大型ドーム映画リニューアル式典(4月21日)。  
自然館、開館25周年。記念式典(7月15日)のほか、関連イベントを一年を通じて開催。  
自然館、入館者累計300万人を達成(11月5日)。
- 平成29年度 第71回全国植樹祭(令和2年)が三瓶山北の原で開催されることが決定(11月15日、島根県・(公社)国土緑化推進機構)。
- 平成30年度 4月9日未明、大田市を震源とする島根県西部地震(M6.1、震度5強)が発生し、自然館、キャンプ場施設で多数の被害があった。自然館では開設以来初めて、災害による臨時休館(4月9日)をし、復旧にあたった。  
大田市からキャンプ場の次期指定管理者として更新指名を受ける(令和2年度～令和6年度)。
- 令和元年度 自然館、ビジターセンター機能強化工事(7月～3月)。  
自然館、展示改修工事のため休館(11月～3月)。  
埋没林公園、ガイダンス棟建設工事(10月～3月)。
- 令和2年度 北の原多目的広場で当年5月に開催が予定されていた第71回全国植樹祭が、新型コロナウイルスの全国的な流行により、1年延期が決定(4月1日)。  
県内での新型コロナウイルス感染症患者発生確認に伴い、県・市からの要請を受け、自然館・埋没林公園、キャンプ場とも5月末まで休業。6月1日運営再開。
- 令和3年度 自然館、開館30周年。記念式典(7月17日)のほか、関連イベントを一年を通じて開催。  
巡回展「ポケモン化石博物館(10月9日～1月30日)」を国立科学博物館等と協働で開催。  
県の新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置適用に伴う休業要請を受け、自然館・埋没林公園、キャンプ場とも1月27日～2月20日休業。2月21日運営再開。  
自然館、ビジュアルドーム鑑賞環境向上業務のため、同施設の運営を休止(11月25日～3月11日)。3月12日から運営開始。  
埋没林公園、解説展示機能強化業務のため、2月14日～3月11日休業。3月12日から運営開始。
- 令和4年度 自然館及び附属施設の第三期指定管理期間最終年として積極的な事業を実施。  
第四期指定管理者の指定を目指し、プロジェクトチームを中心に事業計画書・予算書を作成し、10月のプレゼンテーションを経て、12月に次期指定管理者として正式な指定を受けた。  
ビジュアルドームのプラネタリウム投映機器及び映像・音響システム更新のため、同施設の運営を休止(11月24日～3月10日)。3月11日から運営開始。
- 令和5年度 新型コロナウイルス感染症の5類移行(5月8日)に伴いイベント、ビジュアルドーム等の制限を解除。
- 令和6年度 キャンプ場の第4期指定管理者の指定を目指し、10月のプレゼンテーションを経て、12月に次期指定管理者として正式な指定を受けた。



公益財団法人しまね自然と環境財団   
Shimane Nature and Environment Foundation